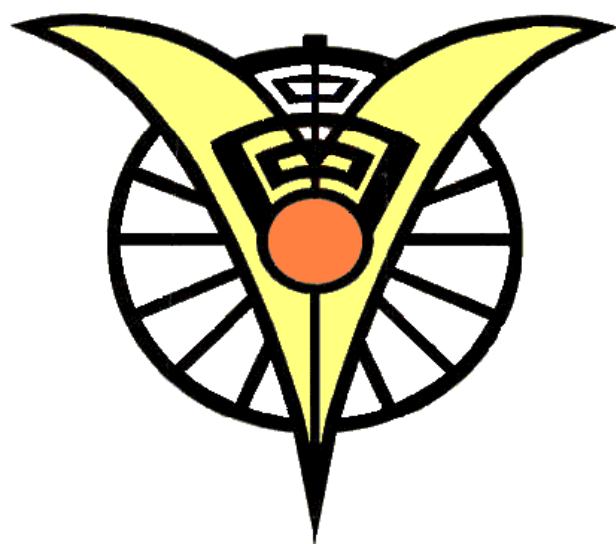


2023（令和5）年度 年間指導計画



沖縄県立陽明高等支援学校

令和5年度 1年 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	1学年 生徒20名		くらしに役立つ国語

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりするようにする。 (思判表力)社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをひろげることができるようにする。 (学・人)言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしていその能力の向上を図る態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期 (26)	6	(知及技) ・社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。 (思判表力) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。 (学・人) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えいことを明確にしようすることができる。	(知・技) ・社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。 (思・判・表) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 (主学) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えいことを明確にしようすることができる。	・自己紹介文をつくろう	・自分についての紹介文を作成し、互いに発表する。 ・インタビューを通して互いのことを知る。
	6	(知及技) ・情報と情報との関係付けの仕方を理解し使うことができる。 (思判表力) ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。 (学・人) ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめようすることができる。	(知・技) ・情報と情報との関係付けの仕方を理解し使っている。 (思・判・表) ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。 (主学) ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめようとしている。	・新聞を読もう	・グループを編成し、地域に関わるさまざまなことをタブレットなどで調べる。 ・興味ある記事を選び、要約し感想をまとめる。
	4	(知及技) ・用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列など決めて書くことができる。 (思判表力) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。 (学・人) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようすることができる。	(知・技) ・用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列など決めて書いている。 (思・判・表) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 (主学) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようとしている。	・暑中見舞い	・暑中見舞いを書くことをとおして、はがきや封書など、郵便について理解する。 ・手紙や SNS などの利用の仕方を学び、コミュニケーションの大切さや楽しさを理解する。
	10	(知及技) ・表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、語や文章の中で使うとともに、語意を豊かにすることができる。 (思判表力) ・話し手の目的や自分の聞きたいことの中心を捉えることができる。 (学・人) ・社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高めようすることができる。	(知・技) ・表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、語や文章の中で使うとともに、語意を豊かにしている (思・判・表) ・話し手の目的や自分の聞きたいことの中心を捉えている。 (主学) ・社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高めようとしている。	・言葉の学習①	・小学校高学年程度の漢字を学習する。 ・慣用句・四字熟語・ことわざを学習する。
	4	(知及技) ・親しみやすい古文の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 (思判表力) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。 (学・人) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようすることができる。	(知・技) ・親しみやすい古文の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。 (思・判・表) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 (主学) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようとしている。	・俳句を作ろう	・17音の形式を理解し、俳句を詠むことができる。

2 学期 (28)	8	(知及技) ・目的に応じて使用する筆記用具を選び、その特徴を生かして書くことができる。 (思判表力) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。 (学・人) ・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫しようすることができる。	(知・技) ・目的に応じて使用する筆記用具を選び、その特徴を生かして書いている。 (思・判・表) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 (主学) ・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫しようとしている。	・自分新聞を作ろう	・自分に関わる事柄の中から、記事の材料やレイアウトなどを決める。 ・模造紙1枚にまとめて清書し、発表する。
	6	(知及技) ・用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列など決めて書くことができる。 (思判表力) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。 (学・人) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようすることができる。	(知・技) ・用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列など決めて書いている。 (思・判・表) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 (主学) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようとしている。	・お礼状を書く	・お礼状の形式に則って文章を作成する。 ・封筒の表記の仕方を覚える。
	10	(知及技) ・表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、語や文章の中で使うとともに、語意を豊かにすることができる。 (思判表力) ・話し手の目的や自分の聞きたいことの中心を捉えることができる。 (学・人) ・社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高めようすることができる。	(知・技) ・表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、語や文章の中で使うとともに、語意を豊かにしている。 (思・判・表) ・話し手の目的や自分の聞きたいことの中心を捉えている。 (主学) ・社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高めようとしている。	・言葉の学習②	・小学校高学年程度の漢字を学習する。 ・慣用句・四字熟語・ことわざを学習する。
3 学期 (16)	4	(知及技) ・親しみやすい古文の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 (思判表力) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。 (学・人) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようすることができる。	(知・技) ・親しみやすい古文の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。 (思・判・表) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 (主学) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようとしている。	・百人一首かるた	・短歌の形式を理解し、有名な作品を鑑賞する。 ・百人一首でゲームを行う。
	4	(知及技) ・社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。 (思判表力) ・話し手の目的や自分の聞きたいことの中心を捉えることができる。 (学・人) ・互いの立場や意図を明確にしながら、計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしようすることができる。	(知・技) ・社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。 (思・判・表) ・話し手の目的や自分の聞きたいことの中心を捉えている。 (主学) ・互いの立場や意図を明確にしながら、計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしようとしている。	・身近なテーマに沿って話し合ってみよう	・グループを作り、身近なテーマで話し合う。 ・模造紙にそれぞれの意見と結論がどうなったかをまとめる。 ・ワークシートを用いて、それぞれメモを取りながら話し合いを進める。
	8	(知及技) ・表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、語や文章の中で使うとともに、語意を豊かにすることができる。 (思判表力) ・話し手の目的や自分の聞きたいことの中心を捉えることができる。 (学・人) ・社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高めようすることができる。	(知・技) ・表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、語や文章の中で使うとともに、語意を豊かにしている。 (思・判・表) ・話し手の目的や自分の聞きたいことの中心を捉えている。 (主学) ・社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高めようとしている。	・言葉の学習③	・小学校高学年程度の漢字を学習する。 ・慣用句・四字熟語・ことわざを学習する。
留意点 引継ぎ等					

令和5年度 2年 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	2学年 生徒20名		くらしに役立つ国語

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりするようにする。 (思判表力)社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをひろげることができるようにする。 (学・人)言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしてその能力の向上を図る態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期 (26)	6	(知及技) ・社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。 (思判表力) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。 (学・人) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えいことを明確にしようすることができる。	(知・技) ・社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。 (思・判・表) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 (主学) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えいことを明確にしようすることができる。	・他己紹介	・インタビューを通して互いのことを知る。 ・インタビューした相手についての紹介文を作成し、発表する。
	6	(知及技) ・文章を音読したり、朗読したりすることができる。 (思判表力) ・登場人物の相互関係や心情などについて、描写をもとに捉えることができる。 (学・人) ・人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしようすることができる。	(知・技) ・文章を音読したり、朗読したりしている。 (思・判・表) ・登場人物の相互関係や心情などについて、描写をもとに捉えている。 (主学) ・人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしようとしている。	・物語を読む	・物語文とその他の作品を数点取り上げて、その違いを知るとともに、現実と虚構について考える機会とする。
	4	(知及技) ・用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列など決めて書くことができる。 (思判表力) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。 (学・人) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようすることができる。	(知・技) ・用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列など決めて書いている。 (思・判・表) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 (主学) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようとしている。	・お礼状を書く	・お礼状を書くことをとおして、はがきや封書など、郵便について理解する。 ・手紙や SNS などの利用の仕方を学び、コミュニケーションの大切さや楽しさを理解する。
	10	(知及技) ・表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、語や文章の中で使うとともに、語意を豊かにすることができる。 (思判表力) ・話し手の目的や自分の聞きたいことの中心を捉えることができる。 (学・人) ・社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高めようすることができる。	(知・技) ・表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、語や文章の中で使うとともに、語意を豊かにしている。 (思・判・表) ・話し手の目的や自分の聞きたいことの中心を捉えている。 (主学) ・社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高めようとしている。	・言葉の学習①	・小学校高学年程度の漢字を学習する。 ・慣用句・四字熟語・ことわざを学習する。
2学期	4	(知及技) ・親しみやすい古文の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 (思判表力) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。 (学・人) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようすることができる。	(知・技) ・親しみやすい古文の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。 (思・判・表) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 (主学) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようとしている。	・短歌を作ろう	・３１音の形式を理解し、短歌を詠むことができる。
	8	(知及技) ・情報と情報との関係付けの仕方を理解し使うことができる。 (思判表力) ・目的や意図に応じて、話題を決め、集めた材料を比較して伝え合う内容を検討することができる。 (学・人) ・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫しようすることができる。	(知・技) ・情報と情報との関係付けの仕方を理解し使っている。 (思・判・表) ・目的や意図に応じて、話題を決め、集めた材料を比較して伝え合う内容を検討している。 (主学) ・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫しようとしている。	・修学旅行先について調べよう	・各々の iPad を使いながら、グループごとに修学旅行先のことについて調べる。 ・修学旅行の記憶をたどりながら、感想文を書く。

(28)	6	(知及技) ・用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列など決めて書くことができる。 (思判表力) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。 (学・人) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようとする事ができる。	(知・技) ・用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列など決めて書いている。 (思・判・表) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 (主学) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようとしている。	・お礼状を書く	・お礼状の形式に則って文章を作成する。 ・封筒の表記の仕方を覚える。
	10	(知及技) ・表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、語や文章の中で使うとともに、語意を豊かにすることができる。 (思判表力) ・話し手の目的や自分の聞きたいことの中心を捉えることができる。 (学・人) ・社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高めようとする事ができる。	(知・技) ・表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、語や文章の中で使うとともに、語意を豊かにしている。 (思・判・表) ・話し手の目的や自分の聞きたいことの中心を捉えている。 (主学) ・社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高めようとしている。	・言葉の学習②	・小学校高学年程度の漢字を学習する。 ・慣用句・四字熟語・ことわざを学習する。
3学期 (16)	4	(知及技) ・親しみやすい古文の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 (思判表力) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。 (学・人) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようとする事ができる。	(知・技) ・親しみやすい古文の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。 (思・判・表) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 (主学) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようとしている。	・百人一首かるた	・短歌の形式を理解し、有名な作品を鑑賞する。 ・百人一首でゲームを行う。
	4	(知及技) ・社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。 (思判表力) ・話し手の目的や自分の聞きたいことの中心を捉えることができる。 (学・人) ・互いの立場や意図を明確にしながら、計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしようすることができる。	(知・技) ・表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、語や文章の中で使うとともに、語意を豊かにしている。 (思・判・表) ・話し手の目的や自分の聞きたいことの中心を捉えている。 (主学) ・互いの立場や意図を明確にしながら、計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。	・気になる新聞記事やニュースについて話し合ってみよう	・グループを作り、気になる新聞記事やニュースについて話し合う。 ・模造紙にそれぞれの意見と結論がどうなったかをまとめる。 ・ワークシートを用いて、それぞれメモを取りながら話し合いを進める。
	8	(知及技) ・表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、語や文章の中で使うとともに、語意を豊かにすることができる。 (思判表力) ・話し手の目的や自分の聞きたいことの中心を捉えることができる。 (学・人) ・社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高めようとする事ができる。	(知・技) ・表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、語や文章の中で使うとともに、語意を豊かにしている。 (思・判・表) ・話し手の目的や自分の聞きたいことの中心を捉えている。 (主学) ・社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高めようとしている。	・言葉の学習③	・小学校高学年程度の漢字を学習する。 ・慣用句・四字熟語・ことわざを学習する。
留意点 引継ぎ等					

令和５年度 年間指導計画 第３学年 教科名「国語」 週時数（２時間）

目 標			生活に必要な国語の能力を高め、思考力や想像力、表現力を伸ばし、心情を豊かにして言語生活の向上を図る。			
学期	時数	単元・題材	単元・題材の目標	単元・題材の活動内容	教材・教具等	備考・配慮事項等
一学期	4 ～ 7 (26)	他己紹介	インタビューを通して互いのことを知る。	・インタビューした相手について紹介文を作成し、発表する。	プリント	・目的に応じた適切な音量や速さで話すことができる。 ・人の話をよく聞き、その内にまとめることができる。
		漢字	身近な漢字などの読みや書きができる。	・小学校高学年程度の漢字を学習する。	教科書 ノート	・漢字を正しく覚え、丁寧に書くことができる。
		言葉の学習	日常生活に必要な語句を知る。	・慣用句の意味と、適切な使い方を学ぶ。	ノート 辞書	・いろいろな語句に関心を持ち、日常生活で使うことができる。
		履歴書を書く	履歴書の書き方を知る。	・住所や氏名、学歴欄等を丁寧に記載する。	プリント	・文字の大きさや文字を丁寧に書くことができる。
		物語文を読む	あらすじや要点をとらえることができる。	・短文を読み、内容を理解し要点をまとめる。	プリント	・あらすじや要点、主題がわかる。
		新聞に親しむ	あらすじや要点をとらえることができる。	・興味ある記事をきりぬいて感想をまとめ、クラスで1枚の大きな壁新聞を作る。	新聞	・興味をもった記事について自分の意見をまとめることができる。
		お礼状を書く	就業体験先へのお礼状を書く。	・お礼状の形式に則って文章を作成する。 ・封筒の表裏の書き方を学ぶ。	プリント・便せん・封筒	・就業体験中に感じたことや学んだことを文章にまとめる。 ・謝意が伝わるように表現を工夫する。
2学期	9 ～ 12 (28)	漢字	身近な漢字などの読みや書きができる。	・小学校高学年程度の漢字を学習する。	教科書 ノート	・漢字を正しく覚え、丁寧に書くことができる。
		音読	古今の名文を音読する。	・近現代や古典文学において名文とされる作品の一部を暗唱する。	プリント	・音節や語句の切れ目に注意を払いながら、読むことができる。 ・声の大きさや話す姿勢を意識しながらよむことができる。
		新聞に親しむ	あらすじや要点をとらえることができる。	・興味ある記事をきりぬいて感想をまとめ、クラスで1枚の大きな壁新聞を作る。	新聞	・興味をもった記事について自分の意見をまとめることができる。
		お礼状を書く	就業体験先へのお礼状を書く。	・お礼状の形式に則って文章を作成する。 ・封筒の表記の仕方を覚える。	プリント・便せん・封筒	・就業体験中に感じたことや学んだことを文章にまとめる。 ・謝意が伝わるように表現を工夫する。
		文学作品について調べる。	興味ある作家や作品について調べ新聞を作る。	・興味ある作家や作品についてiPad等で情報を収集し、新聞を作る。	プリント iPad	・情報を収集し記事をまとめ、形式にしたがって新聞としてまとめることができる。
		物語文を読む	あらすじや要点をとらえることができる。	・短文を読み、内容を理解し要点をまとめる。	プリント	・あらすじや要点、主題がわかる。
三学期	1 ～ 3 (16)	・20歳の私への手紙 ・感謝の手紙	・将来の自己の姿に見通しをもち、激励する気持ちを育む。 ・高校生活をふり返り、保護者や友人等に謝意を伝える。	・20歳と現在の自分の相違を想像し、将来の自分へエールを送る。 ・高校生活の思い出をふり返り、自分の成長とそれを支えてくれた方への謝意を文章にする。	プリント 便せん 封筒	・将来の自己の姿を肯定的にとらえることができる。 ・自分の考えや意見が的確に伝わるよう表現を工夫する。
		手紙の発表	20歳の私への手紙を発表する。	・発表者は声の大きさや話す姿勢に注意する。 ・聴者はメモをとりながら発表の要点をまとめる。	プリント	・目的に応じた適切な音量や速さで話すことができる。 ・人の話をよく聞き、その内にまとめることができる。
		まとめ	一年間の学習をふりかえる	・一年間の学習をふりかえり、復習する。	ファイル	・できる部分、できない部分を把握し自主学習につなげる
総計	70	総授業数 70時間				

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	1学年（20名）		くらしに役立つ 社会/ 私たちが拓く日本の未来

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化及び外国の様子について様々な資料や具体的な活動を通して理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (思判表力)社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考え、自分の生活と結びつけて考えたり、社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。 (学・人)社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期 (13)	4	(知及技) ・世界における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲などを大まかに理解することができる。 (思判表力) ・世界の大陸と海洋、主な国の位置などに着目して我が国の国土の様子を捉え、その特色を表現することができる。 (学・人) ・我が国の国土の样子の学習を自分の生活と結びつけて考え生活に生かそうとすることができる。	(知・技) ・世界における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲などを大まかに理解している。 (思・判・表) ・世界の大陸と海洋、主な国の位置などに着目して我が国の国土の様子を捉え、その特色を表現している。 (主学) ・我が国の国土の样子の学習を自分の生活と結びつけて考え生活に生かそうとしている。	1. 日本の地理 (1)地図の見方 (2)日本の位置、構成、領土	・さまざまな地図、地球儀を活用し、国土の位置や構成、領土について調べる。 ・地図を模写したり、方位磁石を使って方位を確認する。 ・国や地域について情報通信ネットワーク等を活用して調べ、まとめる。
	4	(知及技) ・我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、情報を適切に調べまとめる技術を身に付けることができる。 (思判表力) ・我が国の歴史上の主な事象を捉え、世の中の様子の変化を考え、表現することができる。 (学・人) ・我が国の歴史上の主な事象の学習の意味に気付くことができる。	(知・技) ・我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、情報を適切に調べまとめる技術を身に付けている。 (思・判・表) ・我が国の歴史上の主な事象を捉え、世の中の様子の変化を考え、表現している。 (主学) ・我が国の歴史上の主な事象の学習を振り返り、学んだことの意味に気付いている。	2. 私たちの郷土 (1)沖縄の地理と文化 (2)沖縄の歴史	・統計資料やパンフレット、情報通信ネットワーク等を利用し、沖縄県の人口、気候、特産物、諸行事を調べる。 ・沖縄戦について動画を視聴する。 ・平和について考える。(参考資料:沖縄県平和祈念資料館資料、新聞等) ・沖縄の本土復帰について写真や資料を見ながら学習する。
	5	(知及技) ・社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりを理解し、社会生活に必要な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について考え、表現することができる。 (学・人) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について、学んだことを生かそうとすることができる。	(知・技) ・社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりを理解し、社会生活に必要な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について考え、表現している。 (主学) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について、学んだことを振り返り社会生活に生かそうとしている。	3. 国や社会のきまり (1)国や地方公共団体のきまり	・日本国憲法の三大原則や国民の権利と義務、基本的人権についてまとめる。 ・労働者を守るきまりやしくみをまとめる。 ・18歳選挙権、18歳成人について情報機器等を活用して調べ、まとめる。 ・契約についての基本事項を確認する。(参考資料:社会への扉、18歳を迎える君へ)

2 学期 (14)	7	(知及技) ・社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりを理解し、社会生活に必要な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について考え、表現することができる。 (学・人) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について、学んだことを生かそうとすることができる。	(知・技) ・社会の慣習、生活に関係の深い方やきまりを理解し、社会生活に必要な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について考え、表現している。 (主学) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について、学んだことを振り返り社会生活に生かそうとしている。	3-2. 国や社会のきまり (2)働く人を守る法律 (3)未成年者を守るしくみ	・日本国憲法の三大原則や国民の権利と義務、基本的人権についてまとめる。 ・労働者を守るきまりやしくみをまとめる。 ・18歳選挙権、18歳成人について情報機器等を活用して調べ、まとめる。 ・契約についての基本事項を確認する。(参考資料:社会への扉、18歳を迎える君へ)
	7	(知及技) ・我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれていることや、国民の食糧を確保する重要な役割を果たしていることを理解することができる。(1段階エ(ア)㊦) (思判表力) ・生産物の種類や分布、生産量の変化などに着目して、食料生産の概要を捉え、食用生産が国民生活に果たす役割を考え、表現することができる。(1段階エ(ア)㊦) (学・人) 食料生産が国民生活に果たす役割を自分の生活と結びつけて考え、生活に生かそうとすることができる。	(知及技) ・我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれていることや、国民の食糧を確保する重要な役割を果たしていることを理解している。 (思・判・表) ・生産物の種類や分布、生産量の変化などに着目して、食料生産の概要を捉え、食用生産が国民生活に果たす役割を考え、表現している。 (主学) 食料生産が国民生活に果たす役割を自分の生活と結びつけて考え、生活に生かそうとしている。	4. 私たちの暮らしと経済 (1)生産から消費への流れ (2)いろいろな仕事	・日本における食料生産の概要、食料生産が国民生活に果たす役割について、地図帳や統計資料、インターネット等で調べ、まとめ、発表する。
3 学期 (8)	4	(知及技) ・大量の情報や情報通信技術の活用が様々な産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解することができる。 (思判表力) ・社会的事象の特色や相互の関連、意味を考えたり、自分の生活と結びつけて考えたりしながら、適切に表現することができる。 (学・人) ・多角的な思考や理解を通して、地域社会の一員としての自覚を持つことができる。	(知及技) ・大量の情報や情報通信技術の活用が様々な産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解している。 (思・判・表) ・社会的事象の特色や相互の関連、意味を考えたり、自分の生活と結びつけて考えたりしながら、適切に表現している。 (主学) ・多角的な思考や理解を通して、地域社会の一員としての自覚を持ち、身に付けた考え方を新たな問いに生かしている。	5. 情報の活用 (1)マスメディアの活用 (2)個人情報の保護	・新聞、テレビ、コンピュータ等の情報収集の方法、ルールやマナーを学習する。 ・新聞の構成を知る。 ・新聞やコンピュータ、情報通信ネットワークを活用して地域のことを調べ、まとめ、発表する。
	4	(知及技) ・我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、世の中の様子や関連する先人の業績を理解することができる。 (思判表力) ・我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、世の中の様子や関連する先人の業績について調べ、表現することができる。 (学・人) ・多角的な思考や理解を通して、我が国の国土と歴史に対する愛情を持つことができる。	(知・技) ・我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、世の中の様子や関連する先人の業績を理解している。 (思・判・表) ・我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、世の中の様子や関連する先人の業績について調べ、表現している。 (主学) ・多角的な思考や理解を通して、我が国の国土と歴史に対する愛情を持ち、身に付けた考え方を新たな問いに生かしている。	6. 歴史の流れと年代の表し方 (1)日本の歴史 (2)沖縄の歴史	・日本の歴史上の主な事象や人物について、本や資料、インターネット等で調べ、年表にまとめる。 ・沖縄の歴史上の主な事象や人物について、本や資料、インターネット等で調べ年表にまとめる。 ・時代を比較しながら、暮らしの変化についてまとめ、発表する。
留意点 引継ぎ等		※日々の出来事に広く興味・関心を持つことができるよう、時事問題を取り上げ、活動の中に主権者教育やNIE、SDGsの視点を取り入れるようにする。 ※定期的に確認テストを行う。			

令和 5 年度 高等部 2 年 社会 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	2 学年（2 0 名）		くらしに役立つ 社会/ 私たちが拓く日本の未来

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化及び外国の様子について様々な資料や具体的な活動を通して理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考え、自分の生活と結びつけて考えたり、社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。 (学・人) 社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期 (13)	5	(知及技) ・我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、情報を適切に調べまとめる技術を身に付けることができる。 (思判表力) ・我が国の歴史上の主な事象を捉え、世の中の様子の変化を考え、表現することができる。 (学・人) ・我が国の歴史上の主な事象の学習の意味に気付くことができる。	(知・技) ・我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、情報を適切に調べまとめる技術を身に付けている。 (思・判・表) ・我が国の歴史上の主な事象を捉え、世の中の様子の変化を考え、表現している。 (主学) ・我が国の歴史上の主な事象の学習を振り返り、学んだことの意味に気付いている。	1. 歴史の流れと年代の表し方 2. 日本各地の歴史	・各地域に残る遺跡や文化財について調べ、ワークシートにまとめる。 ・年表作成を通して時代の変化を理解する。 ・当時の暮らしと現代の暮らしを絵や写真等で比較して違いを話し合う。
	4	(知及技) ・地域における公共施設や公共物の役割とその必要性を理解することができる。 (思判表力) ・地域における公共施設や公共物の利用の仕方を調べ、適切な活用を考え、表現することができる。 (学・人) ・よりよい社会の実現を考え、学習したことを社会生活に生かそうとすることができる。	(知・技) ・地域における公共施設や公共物の役割とその必要性を理解している。 (思・判・表) ・地域における公共施設や公共物の利用の仕方を調べ、適切な活用を考え、表現している。 (主学) ・よりよい社会の実現を考え、学習したことを社会生活に生かそうとしている。	2. 私たちのくらしと公共施設 (1) 公共の交通機関 (2) 金融機関(銀行)や郵便局の利用 (3) 役所でできる手続き (4) 警察・消防の動き (5) 病院や保健所の役割	・バス、モノレール等の公共交通機関の利用の仕方やマナーについて話し合う。 ・地域の公共施設の場所をインターネットで調べ、まとめる。 ・各公共施設の役割、生活とのつながりを学習する。
	4	(知及技) ・社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりを理解し、社会生活に必要な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について考え、表現することができる。 (学・人) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について、学んだことを生かそうとすることができる。	(知・技) ・社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりを理解し、社会生活に必要な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について考え、表現している。 (主学) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について、学んだことを振り返り社会生活に生かそうとしている。	3. 国や社会のしくみ (1) 国のしくみ (2) 地方公共団体のしくみ	・三権分立:それぞれの機関の役割を知る。 ・国民の政治参加の方法や意味について考える。

2 学期 (14)	7	(知及技) ・自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解することができる。 (思判表力) ・国土の環保全について、自分たちにできることなどを考え、表現することができる。 (学・人) ・国土の環保全について、自分たちにできることなどを考えることができる。	(知・技) ・自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解している。 (思・判・表) ・国土の環保全について、自分たちにできることなどを考え、表現している。 (主学) ・国土の環保全について、自分たちにできることなどを考えようとしている。	6. 経済活動を支える社会のしくみ (1)環境と私たちの生活	・環境基本法について学習する。 公害：大気の汚染、水質の汚濁、騒音、振動、地盤の沈下および悪臭 ・生活様式の変化や都市型の進展がもたらした都市・生活型の公害、産業がもたらした公害などを考え話し合う。 ・国民一人一人が協力できることを考える。 ・今ある取り組みや、自分たちができることを考える。
	7	(知及技) ・我が国の様々な工業の種類、工業の盛んな地域の分布、工業生産が国民生活に果たす役割を理解することができる。 (思判表力) ・工業生産の概要を捉え、工業生産が国民生活に果たす役割を考え、表現することができる。 (学・人) ・我が国の様々な工業の種類、工業の盛んな地域の分布、工業生産が国民生活に果たす役割についての学習を自分の生活と結びつけて考え、生活に生かそうとすることができる。	(知・技) ・我が国の様々な工業の種類、工業の盛んな地域の分布、工業生産が国民生活に果たす役割を理解している。 (思・判・表) ・工業生産の概要を捉え、工業生産が国民生活に果たす役割を考え、表現している。 (主学) ・我が国の様々な工業の種類、工業の盛んな地域の分布、工業生産が国民生活に果たす役割について主体的に調べわかって、課題を意欲的に追究している。	4. 産業と生活 (1)産業の種類 (2)工業生産の概要(種類と分布) (3)工業生産が国民生活に果たす役割	・産業分類表の作成をする。 ・日本における産業の割合や分布について、地図帳や統計資料等で調べ、まとめる。 ・「日本はどのような工業が盛んか」「工業の盛んな地域はどのように広がっているか」「工業製品はどのように改良されてきたか」「工業製品が国文生活に果たす役割」など、インターネット等を活用して調べ、まとめて、発表する。
3 学期 (8)	4	(知及技) ・自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解することができる。 (思判表力) ・国土の環保全について、自分たちにできることなどを考え、表現することができる。 (学・人) ・国土の環保全について、自分たちにできることなどを考えることができる。	(知・技) ・自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解している。 (思・判・表) ・国土の環保全について、自分たちにできることなどを考え、表現している。 (主学) ・国土の環保全について、自分たちにできることなどを考えようとしている。	5. 自然災害 (1)災害の種類 (2)国土の保全	・災害の種類や発生の位置や時期、防災対策について、地図帳、各種資料、インターネット等で調べ、まとめる。 ・学校、地域の避難場所や経路、ハザードマップを確認する。 ・国土の保全について、自分たちにできることを考える。
	4	(知及技) ・社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりを理解し、社会生活に必要な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について考え、表現することができる。 (学・人) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について、学んだことを生かそうとすることができる。	(知・技) ・社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりを理解し、社会生活に必要な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について考え、表現している。 (主学) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について、学んだことを振り返り社会生活に生かそうとしている。	6. 私たちの消費生活 (1)契約社会 (2)消費者保護制度	・契約の基本、成立、拘束力などについて学習する。 (参考資料：社会への扉、18歳を迎える君へ) ・消費者生活センターについて知る。 ・消費者の行動と責任について考える。
留意点 引継ぎ等		※日々の出来事に広く興味・関心を持つことができるよう、時事問題を取り上げ、活動の中に主権者教育やNIE、SDGsの視点を取り入れるようにする。 ※定期的に確認テストを行う。			

令和 5 年度 高等部 3 年 社会 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	3 学年（18 名）		くらしに役立つ 社会/ 私たちが拓く日本の未来

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化及び外国の様子について様々な資料や具体的な活動を通して理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (思判表力)社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考え、自分の生活と結びつけて考えたり、社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。 (学・人)社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	4	(知及技) ・平和な世界の実現のために国際連合の一員としての役割を果たしているということを理解することができる。 (思判表力) ・地球規模で発生している課題解決に向け、国際社会において我が国が果たしている役割を考え、表現することができる。 (学・人) ・多角的な思考や理解を通して、国際社会の一員としての自覚を持つことができる。	(知・技) ・平和な世界の実現のために国際連合の一員としての役割を果たしているということを理解している。 (思・判・表) ・地球規模で発生している課題解決に向け、国際社会において我が国が果たしている役割を考え、表現している。 (主学) ・多角的な思考や理解を通して、地域社会の一員としての自覚を持ち、身に付けた考え方を新たな問いに生かしている。	1. 世界の中の日本 (1)歴史の中の関わり (2)国際社会のしくみ (3)国際社会のきまり	・日本と世界の関わり(歴史)や世界の国々と地域、国旗を確認する。 ・「国際連合」について調べ、その役割についてまとめる。 ・ニュースなどから日本と国際社会の関わりを見つける。 ・国際法、条約の意味を学習する。
	5	(知及技) ・我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、情報を適切に調べまとめる技術を身に付けることができる。 (思判表力) ・我が国の歴史上の主な事象を捉え、世の中の様子の変化を考え、表現することができる。 (学・人) ・我が国の歴史上の主な事象の学習の意味に気付くことができる。	(知・技) ・我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、情報を適切に調べまとめる技術を身に付けている。 (思・判・表) ・我が国の歴史上の主な事象を捉え、世の中の様子の変化を考え、表現している。 (主学) ・我が国の歴史上の主な事象の学習を振り返り、学んだことの意味に気付いている。	2. 私たちの郷土 (1)沖縄の年中行事 (2)沖縄戦	・沖縄の諸行事について調べ、まとめ、スライドを作成し発表する。 ・沖縄戦についての動画を視聴する。 ・戦争はどのように展開し、それによって人々の生活はどのように変化したのか、写真や資料、動画などから読み取る。 ・平和について考える。(参考資料:沖縄県平和祈念資料館資料、新聞等)
	5	(知及技) ・生活に関係の深い制度について理解することができる。 (思判表力) ・生活に関係の深い制度について調べ、その活用を考え、表現することができる。 (学・人) ・多角的な思考や理解を通して、地域社会の一員としての自覚を持つことができる。	(知・技) ・生活に関係の深い制度について理解している。 (思・判・表) ・生活に関係の深い制度について調べ、その活用を考え、表現している。 (主学) ・多角的な思考や理解を通して、地域社会の一員としての自覚を持ち、身に付けた考え方を新たな問いに生かしている。	3. 国や社会のしくみ (1)裁判員制度 (2)18歳選挙権について	・裁判員制度についての動画を視聴し、ワークシートをまとめ、裁判員制度の意味を理解する。 ・有権者としての意識を持ち、選挙のしくみを理解する。

2 学期	6	(知及技) ・生活に関係の深い制度について理解することができる。 (思判表力) ・生活に関係の深い制度について調べ、その活用を考え、表現することができる。 (学・人) ・多角的な思考や理解を通して、地域社会の一員としての自覚を持つことができる。	(知・技) ・生活に関係の深い制度について理解している。 (思・判・表) ・生活に関係の深い制度について調べ、その活用を考え、表現している。 (主学) ・多角的な思考や理解を通して、地域社会の一員としての自覚を持ち、身に付けた考え方を新たな問いに生かしている。	3-2 . 国や社会のしくみ (3)働く人を守るきまり	・労働法○×クイズや様々な事例から、労働に関するきまり(労働法)を理解する。 ・労働条件通知書の見方を知り、必要な情報を正しく読み取ることができるようにする。
	6	(知及技) ・社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりを理解し、社会生活に必要な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について考え、表現することができる。 (学・人) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について、学んだことを生かそうとすることができる。	(知・技) ・社会の慣習、生活に関係の深い方やきまりを理解し、社会生活に必要な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について考え、表現している。 (主学) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について、学んだことを振り返り社会生活に生かそうとしている。	4. 私たちの消費生活 (1)消費者トラブル (2)消費者保護制度	・契約の基本、成立、拘束力、トラブルなどについて学習する。(参考資料:社会への扉、18歳を迎える君へ) ・悪徳商法を事例から考える。 実際のトラブルを例にどのように対処したらよいか、どこに相談したらよいかを知る。 ・消費者生活センターについて。 ・消費者の行動と責任について考える。
	4	(知及技) ・工業生産に関わる人は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解することができる。 (思判表力) ・製造の工程、工場相互の協力関係。優れた技術などに着目して、工業生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現することができる。 (学・人) ・工業生産が国民生活に果たす役割についての学習を自分の生活と結びつけて考え、生活に生かそうとすることができる。	(知・技) ・工業生産に関わる人は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解している。 (思・判・表) ・製造の工程、工場相互の協力関係。優れた技術などに着目して、工業生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現している。 (主学) ・工業生産が国民生活に果たす役割について主体的に調べわかろうとして、課題を意欲的に追究している。	5. 生産から消費への流れ (1)食品の流通 (2)工業製品の流通	・流通のしくみについて学習する。 卸売市場、問屋、物流センターの役割、コンピュータによる商品管理、インターネットによる買い物 ・動画や資料、各実習先の仕事内容なども参考にしながら、工業生産の概要を捉える。
3 学期	2	(知及技) ・自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解することができる。 (思判表力) ・国土の環保全について、自分たちにできることなどを考え、表現することができる。 (学・人) ・国土の環保全について、自分たちにできることなどを考えることができる。	(知・技) ・自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解している。 (思・判・表) ・国土の環保全について、自分たちにできることなどを考え、表現している。 (主学) ・国土の環保全について、自分たちにできることなどを考えようとしている。	6. 経済活動を支える社会のしくみ (1)環境と私たちの生活	・環境基本法について学習する。 公害:大気の汚染、水質の汚濁、騒音、振動、地盤の沈下および悪臭 ・生活様式の変化や都市型の進展がもたらした都市・生活型の公害、産業がもたらした公害など ・国民一人一人が協力できることを考える。 ・今ある取り組みや、自分たちができることを考える。
	4	(知及技) ・国際社会における社会的事象等について理解し、情報を適切に調べまとめることができる。 (思判表力) ・社会的事象の特色や相互の関連、意味を考えたり、自分の生活と結びつけて考えたりしながら、適切に表現することができる。 (学・人) ・多角的な思考や理解を通して、地域社会の一員としての自覚を持つことができる。	(知・技) ・国際社会における社会的事象等について理解し、情報を適切に調べまとめている。 (思・判・表) ・社会的事象の特色や相互の関連、意味を考えたり、自分の生活と結びつけて考えたりしながら、適切に表現している。 (主学) ・多角的な思考や理解を通して、地域社会の一員としての自覚を持ち、身に付けた考え方を新たな問いに生かしている。	7. 「気になるニュースをくわしく調べて、伝えよう」	・自分が興味あるニュースについて調べる。 ・調べたことをシートにまとめる。相手に伝えることを意識し、工夫してまとめる。 ・ポイントをまとめて発表する。
留意点 引継ぎ等		※日々の出来事に広く興味・関心を持つことができるよう、時事問題を取り上げ、活動の中に主権者教育やNIE、SDGsの視点を取り入れるようにする。 ※定期的に確認テストを行う。			

令和5年度 高等部 1年 数学科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	1学年（20名）		くらしに役立つ 数学 くらしに役立つワーク 数学

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力,判断力,表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。 (学・人) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	【A 数と計算：高等部1段階】 (知及技) ・万の単位を知ることができる。 ・10倍,100倍,1000倍の大きさの数及びその表し方の理解を深めることができる。 ・億,兆の単位について知り,十進位取り記数法について理解を深めることができる。 ・ある数の10倍,100倍,1000倍,1/10,1/100,などの大きさの数を小数点の位置を移してつくることができる。 (思判表力) ・数のまとまりに着目し,大きな数の大きさ比べや表し方を統合的に捉えるとともに,それらを日常生活に生かすことができる。 ・数の表し方の仕組みに着目し,数の相対的な大きさを考察し,計算などに有効に生かすことができる。 (学・人) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り,多面的に捉え検討しよりよいものを求めて粘り強く考えたり,数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用したりすることができる。	(知・技) ・万の単位を知ろうとしている。 ・10倍,100倍,1000倍の大きさの数及びその表し方の理解を深めようとしている。 ・億,兆の単位について知り,十進位取り記数法について理解を深めようとしている。 ・ある数の10倍,100倍,1000倍,1/10,1/100,などの大きさの数を小数点の位置を移してつくっている。 (思・判・表) ・数のまとまりに着目し,大きな数の大きさ比べや表し方を統合的に捉えるとともに,それらを日常生活に生かしている。 ・数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し,計算の仕方を考えるとともに,それを日常生活に生かそうとしている。 (主学) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り,多面的に捉え検討しよりよいものを求めて粘り強く考えたり,数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用したりしている。	【大きい数】 (1)万の単位 (2)10倍,100倍,1000倍 (3)十進位取り記数法	十進位取り記数法による「位取り」の仕方や,10倍,100倍等の表し方を教科書やワーク,プリントで学習する。
	4	【A 数と計算：高等部1段階】 (知及技) ・概数が用いられる場面について知ることができる。 ・四捨五入について知ることができる。 (思判表力) ・日常の事象における場面に着目し,目的に合った数の処理の仕方を考えるとともに,それを日常生活に生かすことができる。 (学・人) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り,多面的に捉え検討しよりよいものを求めて粘り強く考えたり,数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用したりすることができる。	(知・技) ・概数が用いられる場面について知ろうとしている。 ・四捨五入について知ろうとしている。 (思・判・表) ・日常の事象における場面に着目し,目的に合った数の処理の仕方を考えるとともに,それを日常生活に生かそうとしている。 (主学) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り,多面的に捉え検討しよりよいものを求めて粘り強く考えたり,数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用したりしている。	【およその数】 (1)およその数(概数) (2)四捨五入 (3)切り上げ・切り捨て	概数や四捨五入で必要な「注目する桁」を確認しながら,教科書やワーク,プリントで学習する。

2 学期	18	<p>【A 数と計算：高等部1段階】</p> <p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none">・大きな数の加法及び減法の計算が，2位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解することができる。・2位数や3位数に1位数や2位数をかける乗法の計算が，乗法九九などの基本的な計算を基にしてできることを理解することができる。・除数が1位数や2位数で被除数が2位数や3位数の場合の計算が，基本的な計算を基にしてできることを理解することができる。 <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none">・数量の関係に着目し，計算の仕方を考えたり，計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに，その性質を活用して，計算を工夫したり，計算の確かめをしたりすることができる。 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none">・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り，多面的に捉え検討しよりよいものを求めて粘り強く考えたり，数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用したりすることができる。	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none">・大きな数の加法及び減法の計算が，2位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解しようとしている。・2位数や3位数に1位数や2位数をかける乗法の計算が，乗法九九などの基本的な計算を基にしてできることを理解しようとしている。・除数が1位数や2位数で被除数が2位数や3位数の場合の計算が，基本的な計算を基にしてできることを理解しようとしている。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none">・数量の関係に着目し，計算の仕方を考えたり，計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに，その性質を活用して，計算を工夫したり，計算の確かめをしようとしている。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none">・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り，多面的に捉え検討しよりよいものを求めて粘り強く考えたり，数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用したりしている。	<p>【整数・四則計算】</p> <p>(1)加法</p> <p>(2)減法</p> <p>(3)乗法</p> <p>(4)除法</p>	教科書等を利用しながら筆算のやり方や繰り上げや繰り下げを確認し，習熟度に応じたプリントで学習する。
	8	<p>【B 図形：高等部1段階】</p> <p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none">・平行四辺形，ひし形，台形について知ることができる。・図形の形や大きさが決まる要素について理解するとともに，図形の合同について理解することができる。・三角形や四角形など多角形についての簡単な性質を理解することができる。・円と関連させて正多角形の基本的な性質を知ることができる。・円周率の意味について理解し，それを用いることができる。 <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none">・図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し，構成の仕方を考察し図形の性質を見いだすとともに，その性質を基に既習の図形を捉え直すことができる。・図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し，構成の仕方を考察したり，図形の性質を見だし，その性質を筋道を立てて考え説明したりすることができる。 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none">・図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度，数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用することができる。	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none">・平行四辺形，ひし形，台形について知ろうとしている。・図形の形や大きさが決まる要素について理解するとともに，図形の合同について理解することができる。・三角形や四角形など多角形についての簡単な性質を理解しようとしている。・円と関連させて正多角形の基本的な性質を知ろうとしている。・円周率の意味について理解しようとしている。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none">・図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し，構成の仕方を考察し図形の性質を見いだすとともに，その性質を基に既習の図形を捉え直そうとしている。・図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し，構成の仕方を考察したり，図形の性質を見だし，その性質を筋道を立てて考え説明したりすることをしようとしている。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none">・図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度，数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	<p>【図形の基本・多角形】</p> <p>(1)多角形</p> <p>【円】</p> <p>(1)円と多角形</p> <p>(2)円周率</p>	様々な多角形の特徴や円，円周率に関することを教科書やワーク，プリントで学習する。
	10	<p>【B 図形：高等部1段階】</p> <p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none">・立方体，直方体について知ることができる。・直方体に関連して，直線や平面の平行や垂直の関係について理解することができる。・見取図，展開図について知ることができる。・基本的な角柱や円柱について知ることができる。 <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none">・図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し，立体図形の平面上での表現や構成の仕方を考察し，図形の性質を見いだすとともに，日常の事象を図形の性質から捉え直すことができる。 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none">・図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度，数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用することができる。	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none">・立方体，直方体について知ろうとしている。・直方体に関連して，直線や平面の平行や垂直の関係について理解しようとしている。・見取図，展開図について知ろうとしている。・基本的な角柱や円柱について知ろうとしている。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none">・図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し，立体図形の平面上での表現や構成の仕方を考察し，図形の性質を見いだすとともに，日常の事象を図形の性質から捉え直そうとしている。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none">・図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度，数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	<p>【立方体・立体】</p> <p>(1)立方体・直方体</p> <p>(2)角柱の頂点・辺・面の数</p> <p>(3)立体の分類</p> <p>(4)立体を作ろう</p>	立体についての確認事項を教科書やワークで学習し，展開図から基本的な立体や複雑な立体を組み立てる。

	10	<p>【C 変化と関係：高等部1段階】</p> <p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none">・簡単な場合について、比例の関係があることを知ることができる。・速さなど単位量あたりの大きさの意味及び表し方について理解し、それを求めることができる。 <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none">・伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察することができる。・異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを調べたり、表現したりする方法を考察し、それらを日常生活に生かすことができる。 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none">・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討しよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用することができる。	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none">・簡単な場合について、比例の関係があることを知ろうとしている。・速さなど単位量あたりの大きさの意味及び表し方について理解し、それを求めようとしている。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none">・伴って変わる二つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察している。・異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを調べたり、表現したりする方法を考察し、それらを日常生活に生かしている。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none">・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討しよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	<p>【伴って変わる二つの量】</p> <p>(1)比例</p> <p>(2)単位量あたりの大きさ</p>	比例や単位量あたりの大きさに関することを教科書やワーク、プリントで学習する。
3 学期	16	<p>【D データの活用：高等部1段階】</p> <p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none">・数量の関係を割合で捉え、円グラフや帯グラフで表したり、読んだりすることができる。・円グラフや帯グラフの意味やそれらの用い方を理解することができる。・データの収集や適切な手法の選択など統計的な問題解決の方法を知ることができる。 <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none">・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して読み取り、その結論について多面的に捉え考察することができる。 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none">・データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討しよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用することができる。	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none">・数量の関係を割合で捉え、円グラフや帯グラフで表したり、読もうとしている。・円グラフや帯グラフの意味やそれらの用い方を理解しようとしている。・データの収集や適切な手法の選択など統計的な問題解決の方法を知ろうとしている。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none">・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して読み取り、その結論について多面的に捉え考察しようとしている。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none">・データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討しよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	<p>【割合とグラフ】</p> <p>(1)割合の求め方</p> <p>(2)いろいろなグラフ</p> <p>帯グラフ・円グラフ</p>	教科書やワーク等を利用し、データを表やグラフで表す方法を学び、様々なグラフから必要な情報を読み取る学習を行う。
留意点 引継ぎ等	【留意点】※生徒の実態に応じて、下学部段階の指導内容を取り入れる。その際、指導内容は個別の指導計画に記す。				

令和5年度 高等部 2年 数学科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	2学年（20名）		くらしに役立つ 数学 くらしに役立つワーク 数学 ひとりだちするための算数・数学ワーク

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力,判断力,表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに，日常の事象を数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力，基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。 (学・人) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し，数学的に表現・処理したことを振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度，数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期 2 6	4	【A 数と計算：高等部1段階】 (知及技) ・ある量の何倍かを表すのに小数を用いることを知ることができる。 ・小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知るとともに，数の相対的な大きさについての理解を深めることができる。 (思判表力) ・数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し，計算の仕方を考えとともに，それを日常生活に生かすことができる。 (学・人) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度,数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用することができる。	(知及技) ・ある量の何倍かを表すのに小数を用いることを知ろうとしている。 ・小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知るとともに，数の相対的な大きさについての理解を深めようとしている。 (思判表力) ・数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し，計算の仕方を考えとともに，それを日常生活に生かそうとしている。 (主学) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度,数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用している。	【小数】 (1)小数の読み方・書き方 (2)小数の仕組み	小数の仕組みの注意点を確認しながら,教科書やワーク,プリントで学習する。
	16	【A 数と計算：高等部1段階】 (知及技) ・小数の加法及び減法の意味について理解し，それらの計算ができることができる。 ・乗数や除数が整数及び小数である場合の小数の乗法及び除法の意味について理解し，それらの計算ができる。 (思判表力) ・数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し，計算の仕方を考えとともに，それを日常生活に生かすことができる。 ・乗法及び除法の意味に着目し,乗法や除法が小数である場合まで数の範囲を広げて乗法及び除法の意味を捉え直すとともに,それらの計算の仕方を考えたり,それらを日常生活に生かしたりすることができる。 (学・人) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り，多面的に捉え検討しよりよいものを求めて粘り強く考えたり,数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用したりすることができる。	(知・技) ・小数の加法及び減法の意味について理解し，それらの計算を身につけようとしている。 ・乗数や除数が整数及び小数である場合の小数の乗法及び除法の意味について理解し,それらの計算を身につけようとしている。 (思・判・表) ・数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し，計算の仕方を考えとともに,それを日常生活に生かしている。 ・乗法及び除法の意味に着目し,乗法や除法が小数である場合まで数の範囲を広げて乗法及び除法の意味を捉え直すとともに,それらの計算の仕方を考えたり,それらを日常生活に生かしたりしている。 (主学) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り，多面的に捉え検討しよりよいものを求めて粘り強く考えたり,数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用したりしている。	【小数・四則演算】 (1)加法 (2)減法 (3)乗法 (4)除法	教科書等を利用しながら筆算のやり方や繰り上げや繰り下げを確認し,習熟度に応じたプリントで学習する。

		<p>【B 図形：高等部1段階】 (知及技) ・ものの位置の表し方について理解することができる。 ・三角形, 平行四辺形, ひし形, 台形の面積の計算による求め方について理解することができる。 (思判表力) ・平面や空間における位置を決める要素に着目し, その位置を数を用いて表現する方法を考察することができる。 ・図形を構成する要素などに着目し, 構成の仕方を考察したり, 基本図形の面積の求め方を見いだすとともに, その表現を振り返り, 簡潔かつ的確な表現に高め, 公式として導くことができる。 (学・人) ・図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り, 数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用することができる。</p>	<p>(知・技) ・ものの位置の表し方について理解しようとしている。 ・三角形, 平行四辺形, ひし形, 台形の面積の計算による求め方について理解しようとしている。 (思・判・表) ・平面や空間における位置を決める要素に着目し, その位置を数を用いて表現する方法を考察している。 ・図形を構成する要素などに着目し, 構成の仕方を考察したり, 基本図形の面積の求め方を見いだすとともに, その表現を振り返り, 簡潔かつ的確な表現に高め, 公式として導くこうとしている。 (主学) ・図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り, 数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用している。</p>	<p>【ものの位置】 (1)位置の表し方 【面積】 (1)三角形の面積 (2)平行四辺形の面積 (3)ひし形, 台形の面積</p>	<p>ものの位置の表し方や平面図形の面積の求め方を教科書やワーク, プリントで学習する。</p>
2 学 期	6				
	10	<p>【B 図形：高等部2段階】 (知及技) ・縮図や拡大図について理解することができる。 ・対称な図形について理解することができる (思判表力) ・図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し, 構成の仕方を考察したり, 図形の性質を見いだしたりするとともに, その性質を基に既習の図形を捉え直したり, 日常生活に生かしたりすることができる。 (学・人) ・図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り, 多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度, 数学のよさを実感し, 学習したことを生活や学習に活用することができる。</p>	<p>(知・技) ・立方体, 直方体について知ることができる。 ・直方体に関連して, 直線や平面の平行や垂直の関係について理解することができる。 ・見取図, 展開図について知ることができる。 ・基本的な角柱や円柱について知ることができる。 (思・判・表) ・図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し, 立体図形の平面上での表現や構成の仕方を考察し, 図形の性質を見いだすとともに, 日常の事象を図形の性質から捉え直すことができる。 (主学) ・図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り, 多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度, 数学のよさを実感し, 学習したことを生活や学習に活用しようとしている。</p>	<p>【平面図形】 (1)縮図, 拡大図 (2)対称な図形</p>	<p>教科書等で縮図や拡大図について学習したり, 写真を図形を回転させたりして, 対称な図形について理解を深める。</p>
	10	<p>【C 変化と関係：高等部1段階及び2段階】 (知及技) ・ある二つの数量関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを理解することができる。 ・百分率を用いた表し方を理解し, 割合などを求めることができる。 (思判表力) ・日常の事象における数量の関係に着目し, 図や式などを用いて, ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係との比べ方を考察し, それを日常生活に生かすことができる。 (学・人) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り, 多面的に捉え検討しよりよいものを求めて粘り強く考える態度, 数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用することができる。</p>	<p>(知・技) ・ある二つの数量関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを理解しようとしている。 ・百分率を用いた表し方を理解し, 割合などを求めようとしている。 (思・判・表) ・日常の事象における数量の関係に着目し, 図や式などを用いて, ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係との比べ方を考察し, それを日常生活に生かそうとしている。 (主学) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り, 多面的に捉え検討しよりよいものを求めて粘り強く考える態度, 数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用している。</p>	<p>【電卓演習】 (1)二つの数量関係 (2)割合 (3)百分率</p>	<p>教科書等を利用しながら, 二つの数量関係を比べる場合や百分率を用いた表す方法を学び, 習熟度に応じたプリントで学習する。</p>
	8	<p>【A 数と計算：高等部1段階】 (知及技) ・等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表すのに分数を用いることについて理解することができる。 ・分数の表し方について知ることができる。 ・簡単な場合について, 分数の加法及び減法の意味について理解し, それらの計算ができることを知ることができる。 (思判表力) ・数のまとまりについて着目し, 分数でも数の大きさを比べたり, 計算したりできるかどうか考えるとともに, 分数を日常生活に生かすことができる。 ・数を構成する単位に着目し, 大きさの等しい分数を探したり計算の仕方を考えたりするとともに, それを日常生活に生かすことができる。 (学・人) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り, 多面的に捉え検討しよりよいものを求めて粘り強く考えたり, 数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用することができる。</p>	<p>(知・技) ・等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表すのに分数を用いることについて理解しようとしている。 ・分数の表し方について知ることができる。 ・簡単な場合について, 分数の加法及び減法の意味について理解し, それらの計算ができることを知ろうとしている。 (思・判・表) ・数のまとまりについて着目し, 分数でも数の大きさを比べたり, 計算したりできるかどうか考えるとともに, 分数を日常生活に生かそうとしている。 ・数を構成する単位に着目し, 大きさの等しい分数を探したり計算の仕方を考えたりするとともに, それを日常生活に生かそうとしている。 (主学) ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り, 多面的に捉え検討しよりよいものを求めて粘り強く考えたり, 数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用している。</p>	<p>【分数】 (1)分数について, 表し方 (2)分数の計算</p>	<p>分数の表し方や計算の求め方を教科書やワーク, プリントで学習する。</p>

3 学 期	16	<p>【D データの活用：高等部1段階及び高等部2段階】</p> <p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none">・平均の意味や求め方を理解することができる。・代表値の意味や求め方を理解することができる。・度数分布を表す表や柱状グラフの特徴及びそれらの用い方を理解することができる。・目的に応じてデータを収集したり、適切な手法を選択したりするなど、統計的な問題解決の方法を理解することができる。 <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none">・概括的に捉えることに着目し、測定した結果を平均する方法について考察し、それを学習や日常生活に生かすことができる。・目的に応じて、データを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の血結論について判断するとともに、その妥当性について批判的に考察することができる。 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none">・データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返り、面的に捉え検討しよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用することができる。	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none">・平均の意味や求め方を理解しようとしている。・代表値の意味や求め方を理解しようとしている。・度数分布を表す表や柱状グラフの特徴及びそれらの用い方を理解しようとしている。・目的に応じてデータを収集したり、適切な手法を選択したりするなど、統計的な問題解決の方法を理解しようとしている。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none">・概括的に捉えることに着目し、測定した結果を平均する方法について考察し、それを学習や日常生活に生かそうとしている。・目的に応じて、データを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について判断するとともに、その妥当性について批判的に考察している。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none">・データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討しよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	<p>【平均】</p> <p>(1)平均に求め方</p> <p>【代表値, 度数分布】</p> <p>(1)代表値について</p> <p>(2)度数分布と度数分布表</p> <p>(3)柱状グラフの特徴</p>	教科書やワーク等を利用し, データを表やグラフで表す方法を学び, 様々なグラフから必要な情報を読み取る学習を行う。
留意点 引継ぎ等	【留意点】※生徒の実態に応じて, 下学部段階の指導内容を取り入れる。その際, 指導内容は個別の指導計画に記す。				

年間指導計画 第3学年 教科名「数学」 週時数（2時間）

目標	生活や就業に必要な数量や計算、図形に関する理解を深め、処理し活用できる能力を身につける。						
学期 時数	月		単元・題材	単元目標	活動内容	教材・教具等	備考・配慮事項
1 学期 26 h	4 ～ 7 月	4	○数と計算(四則演算) ○量と測定(長さ) ○図形(作図)	・これまでに身につけた知識や技能を確認し、苦 手な単元に挑戦できる。	・過去の入試問題を利用し、各単元の解き 方や考え方について学習する。	過去の入試問題	
		14	○数と計算(四則演算) ○実務(暦、金銭)	・生活や余暇活動に掛かる費用の計算をすること ができる。 ・スケジュール帳等を用いて、時刻や時間毎の予 定を立てることができる。	・生活費や旅行の際に掛かる費用の総額を 計算する。 ・旅行の計画やタイムスケジュール表の作 成を行う。	教科書 家計簿 スケジュール帳	
		8	○図形と数量関係 (図形、グラフ)	・展開図から仕上りのイメージを持つことがで きる。 ・図形に関心を持ち、複雑な展開図から立体を組 み立てることに挑戦できる。	・厚紙から展開図を切り抜き、折り目の指 示に従って組み立てる。 ・鉛筆立てなどの生活で利用できる小物入 れを作成する。	プリント はさみ テープ	
2 学期 28 h	9 ～ 12 月	6	○図形と数量関係 (グラフ)	・日常生活にある数量を分類したり整理したり し、表やグラフ表すことができる。 ・表やグラフから情報を読み取ることができる。	・「正の字」を利用し数を数える。 ・問題を読み解き表を作成したり、棒グラ フや折れ線グラフ、円グラフを描く練習を 行う。	教科書 プリント	
		10	○量と測定	・mやkgなどの単位を知り、単位に合わせた測定 具を用いて、測定することができる。	・住居や建物の面積を調べる。 ・身体の各部位の長さを調べたり、重さを 調べたりして、衣類の適したサイズ探す。	教科書 プリント 副読本	
		12	○数と計算(四則演算) ○実務(金銭)	電卓検定5級に挑戦できる力を身につける。 ・構成比率の意味を理解し、求めることがで きる。 ・40分程度集中して取り組むことができる。	・電卓検定試験問題を用いて繰り返し学習 する。 ・構成比率の意味や求め方を学習する。	問題集 電卓	・構成比率を求める際に、指示された方法 で電卓の設定変更ができていないか確認す る。
3 学期 16 h	1 ～ 3 月	16	○数と計算 (概数、単位) ○実務(金銭)	・契約する際にかかる費用や郵送料の決め方など を理解し、自分で料金を考えることができる力を 身につける。 ・生活費の計画を立てることができる。	・日常生活の中にある金銭に関する様々な 場面について、教科書や副読本などを利用 し習熟度に応じて学習する。	教科書 プリント	
総授業時数 (70) 時間							

令和5年度 1年 理科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	1学年 生徒20名		くらしに役立つ理科

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力)観察、実験などを行い、解決の方法を考える力とより妥当な考えをつくりだす力を養う。 (学・人)自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に生活に生かそうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技) ・生物の体のつくりと働きについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力) ・生物の体のつくりと働きについて調べる中で、主にそれらの働きや関わりについて、より妥当な考えをつくりだす力を養う。 (学・人) ・生物の体のつくりと働きについて進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。	(知・技) ・食べ物は口、胃、腸などを通る間に消化、吸収され、吸収されなかった物は排出されることがわかる。 ・体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されていることがわかる。 ・血液は、心臓の働きで体内を巡り、養分、酸素及び二酸化炭素などを運んでいることがわかる。 (思・判・表) ・人体のつくりと働きについて調べる中で、体のつくりと呼吸、消化、排出及び循環の働きについて、より妥当な考えをつくりだし、表現している。 (主学) ・人体のつくりと働きについて進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとしている。	第1章 健康なくらし 1. 人体とけが・病気の予防 (1) 人の体のつくりや働き	・授業開始時に本時のめあてを確認し、学習内容を把握する。 ・教科書の読み合わせを行う。 ・ワークシートを使用し、本時の内容の理解を深める。 ・本時に関する画像や動画を視聴し、内容の理解を深める。 ・授業終わりに本時のまとめを確認する。 ・実験の際は、仮説を立て、実験を行う。実験後は実験の結果を確認し、自分の仮説と照らし合わせながら考察し、自分の考えをまとめ、発表する。
	1	(知及技) ・手順を確認し、手順通りに実験を進める。 (思判表力) ・仮説を立てて実験へ取り組み、実験結果を考察して自分の考えをまとめる。 (学・人) ・積極的に実験へ取り組み、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。	(知・技) ・手順を確認し、手順通りに実験を進めることができる。 (思・判・表) ・仮説を立てて実験へ取り組み、実験結果を考察して自分の考えをまとめることができる。 (主学) ・積極的に実験へ取り組み、学んだことを生活に生かそうとしている。	おもしろ科学実験	・実験の結果について仮説を立てる。 ・実験を行う。 ・実験の結果を確認し、自分の仮説と照らし合わせながら考察し、自分の考えをまとめ、発表する。

2 学期	13	(知及技) ・生命の連続性についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力) ・生命の連続性について調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を養う。 (学・人) ・生命の連続性について進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。	(知・技) ・人は受精した卵が母体内で少しずつ成長して体ができていくことがわかる。 ・母体内でへその緒を通して養分をもらって成長することがわかる。 (思・判・表) ・時間の経過による胎児の成長の様子についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現している。 (主学) ・生命の連続性について進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとしている。	第1章 健康なくらし 1. 人体とけが・病気の予防 (1) 人の体のつくりや働き	・授業開始時に本時のめあてを確認し、学習内容を把握する。 ・教科書の読み合わせを行う。 ・ワークシートを使用し、本時の内容の理解を深める。 ・本時に関する画像や動画を視聴し、内容の理解を深める。 ・授業終わりに本時のまとめを確認する。 ・実験の際は、仮説を立て、実験を行う。実験後は実験の結果を確認し、自分の仮説と照らし合わせながら考察し、自分の考えをまとめ、発表する。
	1	(知及技) ・手順を確認し、手順通りに実験を進める。 (思判表力) ・仮説を立てて実験へ取り組み、実験結果を考察して自分の考えをまとめる。 (学・人) ・積極的に実験へ取り組み、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。	(知・技) ・手順を確認し、手順通りに実験を進めることができる。 (思・判・表) ・仮説を立てて実験へ取り組み、実験結果を考察して自分の考えをまとめることができる。 (主学) ・積極的に実験へ取り組み、学んだことを生活に生かそうとしている。	おもしろ科学実験	・実験の結果について仮説を立てる。 ・実験を行う。 ・実験の結果を確認し、自分の仮説と照らし合わせながら考察し、自分の考えをまとめ、発表する。
3 学期	7	(知及技) ・病気の予防とけがの処置についての理解を図り、病気の予防とけがの処置についての初歩的な技能を知る。 (思判表力) ・病気の予防とけがの処置について調べる中で、主に病気の予防について、より妥当な考えをつくりだす力を養う。 (学・人) ・病気の予防とけがの処置について進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。	(知・技) ・体内に病原体が入ってきたとき、簡単にこわされないように免疫というシステムがあることがわかる。 (思・判・表) ・病気の予防とけがの処置について調べる中で、病原体によって起こる病気、生活習慣の乱れによって起こる病気、環境の変化によって起こる病気の予防について、より妥当な考えをつくりだし、表現している。 (主学) ・病気の予防とけがの処置について進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとしている。	第1章 健康なくらし 1. 人体とけが・病気の予防 (2) 病気とその予防 (3) けがとその処置	・授業開始時に本時のめあてを確認し、学習内容を把握する。 ・教科書の読み合わせを行う。 ・ワークシートを使用し、本時の内容の理解を深める。 ・本時に関する画像や動画を視聴し、内容の理解を深める。 ・授業終わりに本時のまとめを確認する。 ・実験の際は、仮説を立て、実験を行う。実験後は実験の結果を確認し、自分の仮説と照らし合わせながら考察し、自分の考えをまとめ、発表する。
	1	(知及技) ・手順を確認し、手順通りに実験を進める。 (思判表力) ・仮説を立てて実験へ取り組み、実験結果を考察して自分の考えをまとめる。 (学・人) ・積極的に実験へ取り組み、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。	(知・技) ・手順を確認し、手順通りに実験を進めることができる。 (思・判・表) ・仮説を立てて実験へ取り組み、実験結果を考察して自分の考えをまとめることができる。 (主学) ・積極的に実験へ取り組み、学んだことを生活に生かそうとしている。	おもしろ科学実験	・実験の結果について仮説を立てる。 ・実験を行う。 ・実験の結果を確認し、自分の仮説と照らし合わせながら考察し、自分の考えをまとめ、発表する。
留意点 引継ぎ等		(1) 人の体のつくりや働き「新しい命を育てる」では、人の受精に至る過程は取り扱わない。			

令和5年度 2年 理科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	2学年 生徒20名		くらしに役立つ理科

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力)観察、実験などを行い、解決の方法を考える力とより妥当な考えをつくりだす力を養う。 (学・人)自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に生活に生かそうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技) ・植物の体のつくりと働きについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力) ・植物の体のつくりと働きについて調べる中で、主にそれらの働きについて、より妥当な考えをつくりだし、表現する力を養う。 (学・人) ・植物の体のつくりと働きについて進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。	(知・技) ・根、茎及び葉には、水の通り道があり、根から吸い上げられた水は主に葉から蒸散により排出されることがわかる。 (思・判・表) ・植物の体のつくりと働きについて調べる中で、体のつくり、体内の水などの行方について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。 (主学) ・植物の体のつくりと働きについて進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとしている。	第2章 自然とくらし 1. 生物 (1) 植物 (2) 動物	・授業開始時に本時のめあてを確認し、学習内容を把握する。 ・教科書の読み合わせを行う。 ・ワークシートを使用し、本時の内容の理解を深める。 ・本時に関する画像や動画を視聴し、内容の理解を深める。 ・授業終わりに本時のまとめを確認する。 ・実験の際は、仮説を立て、実験を行う。実験後は実験の結果を確認し、自分の仮説と照らし合わせながら考察し、自分の考えをまとめ、発表する。
	1	(知及技) ・手順を確認し、手順通りに実験を進める。 (思判表力) ・仮説を立てて実験へ取り組み、実験結果を考察して自分の考えをまとめる。 (学・人) ・積極的に実験へ取り組み、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。	(知・技) ・手順を確認し、手順通りに実験を進めることができる。 (思・判・表) ・仮説を立てて実験へ取り組み、実験結果を考察して自分の考えをまとめることができる。 (主学) ・積極的に実験へ取り組み、学んだことを生活に生かそうとしている。	おもしろ科学実験	・実験の結果について仮説を立てる。 ・実験を行う。 ・実験の結果を確認し、自分の仮説と照らし合わせながら考察し、自分の考えをまとめ、発表する。
2学期	13	(知及技) ・生物と環境についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力) ・生物と環境について調べる中で、主にそれらの関わりについて、より妥当な考えをつくりだし、表現する力を養う。 (学・人) ・生物と環境について進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。	(知・技) ・生物の間には、食う食われるという関係があることがわかる。 (思・判・表) ・生物同士の関わりを多面的に調べ、食べ物を通した関わりについて考察し、表現することができる。 (主学) ・生物と環境について進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとしている。	第2章 自然とくらし 1. 生物 (2) 動物 (3) 微生物 (4) 生物と食物連鎖	・授業開始時に本時のめあてを確認し、学習内容を把握する。 ・教科書の読み合わせを行う。 ・ワークシートを使用し、本時の内容の理解を深める。 ・本時に関する画像や動画を視聴し、内容の理解を深める。 ・授業終わりに本時のまとめを確認する。 ・実験の際は、仮説を立て、実験を行う。実験後は実験の結果を確認し、自分の仮説と照らし合わせながら考察し、自分の考えをまとめ、発表する。

	1	(知及技) ・手順を確認し、手順通りに実験を進める。 (思判表力) ・仮説を立てて実験へ取り組み、実験結果を考察して自分の考えをまとめる。 (学・人) ・積極的に実験へ取り組み、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。	(知・技) ・手順を確認し、手順通りに実験を進めることができる。 (思・判・表) ・仮説を立てて実験へ取り組み、実験結果を考察して自分の考えをまとめることができる。 (主学) ・積極的に実験へ取り組み、学んだことを生活に生かそうとしている。	おもしろ科学実験	・実験の結果について仮説を立てる。 ・実験を行う。 ・実験の結果を確認し、自分の仮説と照らし合わせながら考察し、自分の考えをまとめ、発表する。
3 学期	7	(知及技) ・月の形の見え方と太陽との位置関係についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力) ・月の形の見え方と太陽との位置関係について調べる中で、主に月の位置や形と太陽の位置との関係についてより妥当な考えをつくりだし、表現する力を養う。 (学・人) ・月の形の見え方と太陽との位置関係について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。	(知・技) ・月は日によって形が変わって見え、月の輝いている側に太陽があることや月の形の見え方は太陽と月との位置関係によって変わることがわかる。 (思・判・表) ・月の形の見え方について調べる中で、月の位置や形と太陽の位置との関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。 (主学) ・月の形の見え方と太陽との位置関係について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。	第2章 自然とくらし 2. 地球と自然 (1) 地球と天体 (2) 地球の環境 (3) 気象 (4) 自然災害	・授業開始時に本時のめあてを確認し、学習内容を把握する。 ・教科書の読み合わせを行う。 ・ワークシートを使用し、本時の内容の理解を深める。 ・本時に関する画像や動画を視聴し、内容の理解を深める。 ・授業終わりに本時のまとめを確認する。 ・実験の際は、仮説を立て、実験を行う。実験後は実験の結果を確認し、自分の仮説と照らし合わせながら考察し、自分の考えをまとめ、発表する。
	1	(知及技) ・手順を確認し、手順通りに実験を進める。 (思判表力) ・仮説を立てて実験へ取り組み、実験結果を考察して自分の考えをまとめる。 (学・人) ・積極的に実験へ取り組み、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。	(知・技) ・手順を確認し、手順通りに実験を進めることができる。 (思・判・表) ・仮説を立てて実験へ取り組み、実験結果を考察して自分の考えをまとめることができる。 (主学) ・積極的に実験へ取り組み、学んだことを生活に生かそうとしている。	おもしろ科学実験	・実験の結果について仮説を立てる。 ・実験を行う。 ・実験の結果を確認し、自分の仮説と照らし合わせながら考察し、自分の考えをまとめ、発表する。
留意点 引継ぎ等					

令和5年度 3年 理科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	3 学年 生徒18名		くらしに役立つ理科

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力)観察、実験などを行い、解決の方法を考える力とより妥当な考えをつくりだす力を養う。 (学・人)自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に生活に生かそうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技) ・生物と環境についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力) ・生物と環境について調べる中で、主にそれらの関わりについて、より妥当な考えをつくりだし、表現する力を養う。 (学・人) ・生物と環境について進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。	(知・技) ・ごみを分別し、リサイクルする等、人の生活が環境に及ぼす影響を少なくする工夫を知ることができる。 (思・判・表) ・人の生活について、環境との関わり方の工夫について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。 (主学) ・生物と環境について進んで調べ、学んだことを様々な生活場面に当てはめて考えようとしていたり、生活に生かそうとしている。	第3章 便利な暮らし 1. 物質 (1) 身の回りの物質① (2) 身の回りの物質②	・授業開始時に本時のめあてを確認し、学習内容を把握する。 ・教科書の読み合わせを行う。 ・ワークシートを使用し、本時の内容の理解を深める。 ・本時に関する画像や動画を視聴し、内容の理解を深める。 ・授業終わりに本時のまとめを確認する。 ・実験の際は、仮説を立て、実験を行う。実験後は実験の結果を確認し、自分の仮説と照らし合わせながら考察し、自分の考えをまとめ、発表する。
	1	(知及技) ・手順を確認し、手順通りに実験を進める。 (思判表力) ・仮説を立てて実験へ取り組み、実験結果を考察して自分の考えをまとめる。 (学・人) ・積極的に実験へ取り組み、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。	(知・技) ・手順を確認し、手順通りに実験を進めることができる。 (思・判・表) ・仮説を立てて実験へ取り組み、実験結果を考察して自分の考えをまとめることができる。 (主学) ・積極的に実験へ取り組み、学んだことを生活に生かそうとしている。	おもしろ科学実験	・実験の結果について仮説を立てる。 ・実験を行う。 ・実験の結果を確認し、自分の仮説と照らし合わせながら考察し、自分の考えをまとめ、発表する。

2 学期	13	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 電気の利用についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。 <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> 電気の性質や働きについて調べる中で、発電や蓄電、電気の変換について、より妥当な考えをつくりだす力を養う。 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> 電気の利用について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。 	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 電気はつくりだしたり蓄えたりすることができることがわかる。 電気は、光、音、熱、運動などに変換することができることがわかる。 身の回りには、電気の性質や働きを利用した道具があることを知る。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> 電気の性質や働きについて調べる中で、発電や蓄電、電気の変換について、より妥当な考えをつくりだし、表現している。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> 電気の利用について進んで調べ、学んだことを様々な生活場面に当てはめて考えようとして、生活に生かそうとしている。 	<p>第3章 便利な暮らし</p> <p>2. エネルギーと機械</p> <p>(1) 日常生活に関係の深いエネルギー</p> <p>(2) 日常生活に関係の深い機械・器具の使い方</p>	<ul style="list-style-type: none"> 授業開始時に本時のめあてを確認し、学習内容を把握する。 教科書の読み合わせを行う。 ワークシートを使用し、本時の内容の理解を深める。 本時に関する画像や動画を視聴し、内容の理解を深める。 授業終わりに本時のまとめを確認する。 実験の際は、仮説を立て、実験を行う。実験後は実験の結果を確認し、自分の仮説と照らし合わせながら考察し、自分の考えをまとめ、発表する。
	1	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 手順を確認し、手順通りに実験を進める。 <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> 仮説を立てて実験へ取り組み、実験結果を考察して自分の考えをまとめる。 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に実験へ取り組み、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。 	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 手順を確認し、手順通りに実験を進めることができる。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> 仮説を立てて実験へ取り組み、実験結果を考察して自分の考えをまとめることができる。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に実験へ取り組み、学んだことを生活に生かそうとしている。 	おもしろ科学実験	<ul style="list-style-type: none"> 実験の結果について仮説を立てる。 実験を行う。 実験の結果を確認し、自分の仮説と照らし合わせながら考察し、自分の考えをまとめ、発表する。
3 学期	7	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 水溶液の性質についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。 <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> 水溶液の性質や働きについて調べる中で、溶けているものによる性質や働きの違いについて、より妥当な考えをつくりだす力を養う。 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> 水溶液の性質について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。 	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 水溶液には、酸性、アルカリ性及び中性のものがあることがわかる。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> 水溶液の性質や働きについて調べる中で、溶けているものによる性質や働きの違いについて、より妥当な考えをつくりだし、表現している。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> 水溶液の性質について進んで調べ、学んだことを様々な生活場面に当てはめて考えようとして、生活に生かそうとしている。 	<p>第3章 便利な暮らし</p> <p>3. 薬品・医薬品</p> <p>(1) 身の回り生活用品</p> <p>(2) 身の回りの医薬品</p>	<ul style="list-style-type: none"> 授業開始時に本時のめあてを確認し、学習内容を把握する。 教科書の読み合わせを行う。 ワークシートを使用し、本時の内容の理解を深める。 本時に関する画像や動画を視聴し、内容の理解を深める。 授業終わりに本時のまとめを確認する。 実験の際は、仮説を立て、実験を行う。実験後は実験の結果を確認し、自分の仮説と照らし合わせながら考察し、自分の考えをまとめ、発表する。
	1	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 手順を確認し、手順通りに実験を進める。 <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> 仮説を立てて実験へ取り組み、実験結果を考察して自分の考えをまとめる。 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に実験へ取り組み、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。 	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 手順を確認し、手順通りに実験を進めることができる。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> 仮説を立てて実験へ取り組み、実験結果を考察して自分の考えをまとめることができる。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に実験へ取り組み、学んだことを生活に生かそうとしている。 	おもしろ科学実験	<ul style="list-style-type: none"> 実験の結果について仮説を立てる。 実験を行う。 実験の結果を確認し、自分の仮説と照らし合わせながら考察し、自分の考えをまとめ、発表する。
留意点 引継ぎ等					

令和5年度 1 年 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	1年生 2 0 名		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) ・ 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身につけるようにする。 (思判表力) ・ 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (学・人) ・ 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
	3	(知及技) ・ 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につけることができる。 (思判表力) ・ 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫することができる。 (学・人) ・ 音楽活動の楽しさを体験することを通して音楽に親しんでいく態度を養うことができる。	(知・技) ・ 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能が身についている。 (思・判・表) ・ 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。 (主学) ・ 音楽活動の楽しさを体験することを通して音楽に親しみ、学校生活や日常生活に生かそうとしている。	【歌唱】 校歌を覚えて歌おう！	・ 校歌の歌詞を覚える。 ・ 正しい姿勢を意識して歌う。 ・ 歌詞を覚えて歌う。
	7	(知及技) ・ 楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりを理解し、他者と合わせて演奏する技能を身につけることができる。 (思判表力) ・ 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を工夫することができる。 (学・人) ・ 音楽活動の楽しさを体験することを通して音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むことができる。	(知・技) ・ 楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりを理解し、他者と合わせて演奏する技能が身についている。 (思・判・表) ・ 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を工夫している。 (主学) ・ 音楽活動の楽しさを体験することを通して音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育み、日常生活に生かそうとしている。	【器楽】 三線にチャレンジしよう！	・ 三線のルーツについて知る ・ 三線の持ち方や奏法について学ぶ ・ 勘所を理解し、正しい音程を意識して演奏する。 ・ 工工四を見ながら演奏する。

1 学期	2	<p>(知及技) ・鑑賞の活動を通して、曲想及びその変化と音楽の構造と関わりについて理解できる。</p> <p>(思判表力) ・曲や演奏のよさなどについて自分なりの考えを発表できる。</p> <p>(学・人) ・主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組み、音楽文化に親しむことができる。</p>	<p>(知・技) ・鑑賞の活動を通して、曲想及びその変化と音楽の構造と関わりについて理解している。</p> <p>(思・判・表) ・曲や演奏のよさなどについて自分なりの考えを伝えようとしている。</p> <p>(主学) ・主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組み、音楽文化に親しみ、学校生活や日常生活に生かそうとしている。</p>	<p>【鑑賞】 みんなの好きな曲を聴いてみよう！</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞と曲想との関わりを知る。 ・音楽の構成を知る。 ・楽曲の雰囲気やリズム等について感想を書いて発表する。
	1	<p>(知及技) ・創意工夫を生かした表現をするために必要な、曲の速度やリズムに合わせて表現する技能や、設定した条件に基づいて、様々な動きを組み合わせたり、即興的に表現する力を身につけることができる。</p> <p>(思判表力) ・身体表現について知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を工夫することができる。</p> <p>(学・人) ・主体的に学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができる。</p>	<p>(知・技) ・創意工夫を生かした表現をするために必要な、曲の速度やリズムに合わせて表現する技能や、設定した条件に基づいて、様々な動きを組み合わせたり、即興的に表現する力が身についている。</p> <p>(思・判・表) ・身体表現について知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を工夫している。</p> <p>(主学) ・主体的に学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、学校生活や日常生活に生かそうとしている。</p>	<p>【創作】 カップリズムに挑戦しよう！</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カップを使い、テンポに合わせてリズム打ちをする。 ・左右で違うリズム打ちを練習し、習得する。
	3	<p>(知及技) ・音楽を形作っている要素及びそれらに関わる用語や記号などについて理解することができる。</p> <p>(思判表力) ・音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し表現を創意工夫することができる。</p> <p>(学・人) ・主体的に学習に取り組み音楽活動の楽しさを体験することを通して生活を明るく豊かにする態度を養うことができる。</p>	<p>(知・技) ・音楽を形作っている要素及びそれらに関わる用語や記号などについて理解している。</p> <p>(思・判・表) ・音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し表現を創意工夫しようとしている。</p> <p>(主学) ・主体的に学習に取り組み音楽活動の楽しさを体験することを通して生活を明るく豊かにし、学校生活や日常生活に生かそうとしている。</p>	<p>【楽典】 音楽用語について学ぼう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音符の名前や長さ、音楽記号、強弱記号について学ぶ。

2 学期	5	<p>(知及技) ・ 創意工夫を生かして表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方を理解することができる。</p> <p>(思判表力) ・ 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を工夫することができる。</p> <p>(学・人) ・ 主体的に表現の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができる。</p>	<p>(知・技) ・ 創意工夫を生かして表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方を理解している。</p> <p>(思・判・表) ・ 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を工夫している。</p> <p>(主学) ・ 主体的に表現の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、学校生活や日常生活に生かそうとしている。</p>	<p>【器楽】 ドラムに挑戦しよう！</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ドラムの名称、奏法について学ぶ。 ・ 4ビートの練習、習得。 ・ 8ビートの練習、習得。
	3	<p>(知及技) ・ 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解することができる。</p> <p>(思判表力) ・ 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。</p> <p>(学・人) ・ 音楽活動の楽しさを通して音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むことができる。</p>	<p>(知・技) ・ 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。</p> <p>(思・判・表) ・ 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴こうとしている。</p> <p>(主学) ・ 音楽活動の楽しさを通して音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育み、学校生活や日常生活に生かそうとしている。</p>	<p>【歌唱】（手話ソング） 「赤とんぼ」を歌ってみよう！</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歌詞の内容を知る。 ・ 曲の雰囲気味わい感想を発表する。 ・ 音楽の構成について知る。 ・ 手話を交えて歌う。
	1	<p>(知及技) ・ 楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりを理解し、他者と合わせて演奏する技能を身につけることができる。</p> <p>(思判表力) ・ 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を工夫することができる。</p> <p>(学・人) ・ 音楽活動の楽しさを体験することを通して音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むことができる。</p>	<p>(知・技) ・ 楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりを理解し、他者と合わせて演奏する技能が身についている。</p> <p>(思・判・表) ・ 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を工夫している。</p> <p>(主学) ・ 音楽活動の楽しさを体験することを通して音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育み、日常生活に生かそうとしている。</p>	<p>【器楽】 ハンドベルに挑戦しよう！</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 奏法について学ぶ。 ・ 自分のパートを理解して演奏する。 ・ テンポに合わせて演奏する。
	2	<p>(知及技) ・ 鑑賞の活動を通して、曲想及びその変化と音楽の構造と関わりについて理解できる。</p> <p>(思判表力) ・ 曲や演奏のよさなどについて自分なりの考えを発表できる。</p> <p>(学・人) ・ 主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組み、音楽文化に親しむことができる。</p>	<p>(知・技) ・ 鑑賞の活動を通して、曲想及びその変化と音楽の構造と関わりについて理解している。</p> <p>(思・判・表) ・ 曲や演奏のよさなどについて自分なりの考えを伝えようとしている。</p> <p>(主学) ・ 主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組み、音楽文化に親しみ、学校生活や日常生活に生かそうとしている。</p>	<p>【鑑賞】 ベートーベンについて学ぼう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生い立ちやベートーベンが生活していた時代について学ぶ。 ・ 有名な楽曲について調べる。 ・ ベートーベンが作曲した様々な楽曲を聴き、感想を発表する。

3 学期	5	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演奏するために必要な奏法、全体の響きや各声部の音などを聴きながら、他者と合わせて演奏する技能を身につける。 <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、表現を創意工夫することができる。 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的・協働的に学習に取り組み、音楽活動の楽しさを通して生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。 	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演奏するために必要な奏法、全体の響きや各声部の音などを聴きながら、他者と合わせて演奏する技能を身につけている。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、表現を創意工夫している。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的・協働的に学習に取り組み、音楽活動の楽しさを通して生活を明るく豊かなものにし、学校生活や日常生活に生かそうとしている。 	<p>【器楽】</p> <p>キーボードに挑戦しよう！</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・奏法を学ぶ。 ・指使いを意識して演奏する。 ・テンポに合わせて演奏する。 ・毎時間ワークシートを記入する。
	3	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫を生かした表現を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音を身につけ、全体の響きを聴きながら他者と合わせて歌うことができる。 <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わうことができる。 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的・協働的に学習に取り組み、音楽活動の楽しさを通して生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。 	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫を生かした表現を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音を身につけ、全体の響きを聴きながら他者と合わせて歌うことができる。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わうことができる。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的・協働的に学習に取り組み、音楽活動の楽しさを通して生活を明るく豊かなものにし、学校生活や日常生活に生かそうとしている。 	<p>【歌唱】</p> <p>卒業式の歌（手話ソング）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容を理解する。 ・音とりをする。 ・曲にイメージに合わせて歌う。
	留意点 引継ぎ等				

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	2年生 20名		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身につけるようにする。 (思判表力) ・音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (学・人) ・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	3	(知及技) ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につけることができる。 (思判表力) ・歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫することができる。 (学・人) ・音楽活動の楽しさを体験することを通して音楽に親しんでいく態度を養うことができる。	(知・技) ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能が身についている。 (思・判・表) ・歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。 (主学) ・音楽活動の楽しさを体験することを通して音楽に親しみ、学校生活や日常生活に生かそうとしている。	【歌唱】 ふるさと（手話ソング）	・歌詞の意味を理解して歌う。 ・強弱を意識して歌う。 ・歌に合わせて手話で表現する。
	6	(知及技) ・楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりを理解し、他者と合わせて演奏する技能を身につけることができる。 (思判表力) ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を工夫することができる。 (学・人) ・音楽活動の楽しさを体験することを通して音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むことができる。	(知・技) ・楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりを理解し、他者と合わせて演奏する技能が身についている。 (思・判・表) ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を工夫している。 (主学) ・音楽活動の楽しさを体験することを通して音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育み、日常生活に生かそうとしている。	【器楽】 ウクレレにチャレンジしよう！	・楽器の名称について学ぶ ・ウクレレの持ち方や奏法について学ぶ ・Cコード、Fコード、Gコードの指使いを理解して演奏する。 ・曲に合わせて演奏する。

	2	<p>(知及技) ・鑑賞の活動を通して、曲想及びその変化と音楽の構造と関わりについて理解できる。</p> <p>(思判表力) ・曲や演奏のよさなどについて自分なりの考えを発表できる。</p> <p>(学・人) ・主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組み、音楽文化に親しむことができる。</p>	<p>(知・技) ・鑑賞の活動を通して、曲想及びその変化と音楽の構造と関わりについて理解している。</p> <p>(思・判・表) ・曲や演奏のよさなどについて自分なりの考えを伝えようとしている。</p> <p>(主学) ・主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組み、音楽文化に親しみ、学校生活や日常生活に生かそうとしている。</p>	<p>【鑑賞】 みんなの好きな曲を聴いてみよう！</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な楽曲に触れ曲のジャンルを学ぶ。 ・音楽の構成を知る。 ・楽曲の雰囲気やリズム等について発表する。
	2	<p>(知及技) ・鑑賞の活動を通して、曲想及びその変化と音楽の構造と関わりについて理解できる。</p> <p>(思判表力) ・曲や演奏のよさなどについて自分なりの考えを発表できる。</p> <p>(学・人) ・主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組み、音楽文化に親しむことができる。</p>	<p>(知・技) ・鑑賞の活動を通して、曲想及びその変化と音楽の構造と関わりについて理解している。</p> <p>(思・判・表) ・曲や演奏のよさなどについて自分なりの考えを伝えようとしている。</p> <p>(主学) ・主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組み、音楽文化に親しみ、学校生活や日常生活に生かそうとしている。</p>	<p>【鑑賞】 バッハについて学ぼう！</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生い立ちやバッハが生活していた時代について学ぶ。 ・バロックの音楽とロマン派の音楽を聴き比べ、違いを発表する。 ・バッハの曲を聴いた感想を発表する。 ・楽曲の音楽構成を知り、感想を発表する。
	2	<p>(知及技) ・音楽を形作っている要素及びそれらに関わる用語や記号などについて理解することができる。</p> <p>(思判表力) ・音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し表現を創意工夫することができる。</p> <p>(学・人) ・主体的に学習に取り組み音楽活動の楽しさを体験することを通して生活を明るく豊かにする態度を養うことができる。</p>	<p>(知・技) ・音楽を形作っている要素及びそれらに関わる用語や記号などについて理解している。</p> <p>(思・判・表) ・音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し表現を創意工夫しようとしている。</p> <p>(主学) ・主体的に学習に取り組み音楽活動の楽しさを体験することを通して生活を明るく豊かにし、学校生活や日常生活に生かそうとしている。</p>	<p>【楽典】 楽譜の見方を学ぼう！</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し記号や音楽記号について知り、楽譜の読み方について学ぶ
	7	<p>(知及技) ・創意工夫を生かして表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方を理解することができる。</p> <p>(思判表力) ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を工夫することができる。</p> <p>(学・人) ・主体的に表現の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができる。</p>	<p>(知・技) ・創意工夫を生かして表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方を理解している。</p> <p>(思・判・表) ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を工夫している。</p> <p>(主学) ・主体的に表現の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、学校生活や日常生活に生かそうとしている。</p>	<p>【器楽】キーボードに挑戦しよう！</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指使いを意識して演奏する。 ・自分で曲を選びメロディーラインを演奏する。 ・伴奏に合わせて弾く。 ・毎時ワークを記入し、内容を振り返る。

2 学 期	2	<p>(知及技) ・曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解することができる。</p> <p>(思判表力) ・音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができる。</p> <p>(学・人) ・音楽活動の楽しさを通して音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むことができる。</p>	<p>(知・技) ・曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。</p> <p>(思・判・表) ・音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴こうとしている。</p> <p>(主学) ・音楽活動の楽しさを通して音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育み、学校生活や日常生活に生かそうとしている。</p>	<p>【歌唱】 外国の歌にチャレンジしよう！</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容を知る。 ・英語の曲と日本語の曲の違いについて学ぶ。
	1	<p>(知及技) ・楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりを理解し、他者と合わせて演奏する技能を身につけることができる。</p> <p>(思判表力) ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を工夫することができる。</p> <p>(学・人) ・音楽活動の楽しさを体験することを通して音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むことができる。</p>	<p>(知・技) ・楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりを理解し、他者と合わせて演奏する技能が身につけている。</p> <p>(思・判・表) ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を工夫している。</p> <p>(主学) ・音楽活動の楽しさを体験することを通して音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育み、日常生活に生かそうとしている。</p>	<p>【器楽】 ハンドベルに挑戦しよう！</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・奏法について学ぶ。 ・自分のパートを理解して演奏する。 ・テンポに合わせて演奏する。
	2	<p>(知及技) ・鑑賞の活動を通して、曲想及びその変化と音楽の構造と関わりについて理解できる。</p> <p>(思判表力) ・曲や演奏のよさなどについて自分なりの考えを発表できる。</p> <p>(学・人) ・主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組み、音楽文化に親しむことができる。</p>	<p>(知・技) ・鑑賞の活動を通して、曲想及びその変化と音楽の構造と関わりについて理解している。</p> <p>(思・判・表) ・曲や演奏のよさなどについて自分なりの考えを伝えようとしている。</p> <p>(主学) ・主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組み、音楽文化に親しみ、学校生活や日常生活に生かそうとしている。</p>	<p>【鑑賞】 「ボレロ」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・組曲、作曲者について知る。 ・使用されている楽器について学ぶ。 ・音楽の構成を知る。 ・楽曲を聴いた感想を発表する。

3 学期	5	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫を生かした表現をするために必要な、曲の速度やリズムに合わせて表現する技能や、設定した条件に基づいて、様々な動きを組み合わせたり、即興的に表現する力を身につけることができる。 <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体表現について知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を工夫することができる。 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていける態度を養うことができる。 	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫を生かした表現をするために必要な、曲の速度やリズムに合わせて表現する技能や、設定した条件に基づいて、様々な動きを組み合わせたり、即興的に表現する力が身についている。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体表現について知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を工夫している。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、学校生活や日常生活に生かそうとしている。 	【創作】ボディーパーカッションを楽しもう！	<ul style="list-style-type: none"> ・2グループに分かれてボディーパーカッションを行う。 ・各グループでボディーパーカッションを創作する。 ・各グループで創作したボディーパーカッションを披露、鑑賞する。
	3	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫を生かした表現を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音を身につけ、全体の響きを聴きながら他者と合わせて歌うことができる。 <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わうことができる。 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的・協働的に学習に取り組み、音楽活動の楽しさを通して生活を明るく豊かなものにしていける態度を養う。 	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫を生かした表現を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音を身につけ、全体の響きを聴きながら他者と合わせて歌うことができる。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わうことができる。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的・協働的に学習に取り組み、音楽活動の楽しさを通して生活を明るく豊かなものにし、学校生活や日常生活に生かそうとしている。 	【歌唱】卒業式の歌（手話ソング）	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容を理解する。 ・音とりをする。 ・曲にイメージに合わせて歌う。
留意点 引継ぎ等					

令和5年度 3年音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	3学年 18名		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身につけるようにする。 (思判表力) ・音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (学・人) ・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	(知及技) ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につけることができる。 (思判表力) ・歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫することができる。 (学・人) ・音楽活動の楽しさを体験することを通して音楽に親しんでいく態度を養うことができる。	(知・技) ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能が身についている。 (思・判・表) ・歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。 (主学) ・音楽活動の楽しさを体験することを通して音楽に親しみ、学校生活や日常生活に生かそうとしている。	【歌唱】 曲に雰囲気に合わせて歌おう！	・歌詞の意味を理解して歌う。 ・表現を工夫して歌う。
	8	(知及技) ・楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりを理解し、他者と合わせて演奏する技能を身につけることができる。 (思判表力) ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を工夫することができる。 (学・人) ・音楽活動の楽しさを体験することを通して音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むことができる。	(知・技) ・楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりを理解し、他者と合わせて演奏する技能が身についている。 (思・判・表) ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を工夫している。 (主学) ・音楽活動の楽しさを体験することを通して音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育み、日常生活に生かそうとしている。	【器楽】 キーボードにチャレンジしよう！	・指使いを意識して演奏する。 ・生徒の実態に合わせて段階的に様々な曲に挑戦する。 ・伴奏に合わせて演奏する。

	1	<p>(知及技) ・鑑賞の活動を通して、曲想及びその変化と音楽の構造と関わりについて理解できる。</p> <p>(思判表力) ・曲や演奏のよさなどについて自分なりの考えを発表できる。</p> <p>(学・人) ・主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組み、音楽文化に親しむことができる。</p>	<p>(知・技) ・鑑賞の活動を通して、曲想及びその変化と音楽の構造と関わりについて理解している。</p> <p>(思・判・表) ・曲や演奏のよさなどについて自分なりの考えを伝えようとしている。</p> <p>(主学) ・主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組み、音楽文化に親しみ、学校生活や日常生活に生かそうとしている。</p>	<p>【鑑賞】 みんなの好きな曲を聴いてみよう！</p>	<p>・様々な楽曲に触れ曲のジャンルを学ぶ。</p> <p>・音楽の構成を知る。</p> <p>・楽曲の雰囲気やリズム等について発表する。</p>
2 学期	3	<p>(知及技) ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につけることができる。</p> <p>(思判表力) ・歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫することができる。</p> <p>(学・人) ・音楽活動の楽しさを体験することを通して音楽に親しんでいく態度を養うことができる。</p>	<p>(知・技) ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能が身につけている。</p> <p>(思・判・表) ・歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。</p> <p>(主学) ・音楽活動の楽しさを体験することを通して音楽に親しみ、学校生活や日常生活に生かそうとしている。</p>	<p>【歌唱】 外国の歌に挑戦しよう！</p>	<p>・歌詞の意味を理解して発音に気を付けて歌う。</p> <p>・日本語の歌と英語、イタリア語の歌の違いについて学ぶ。</p>
	2	<p>(知及技) ・鑑賞の活動を通して、曲想及びその変化と音楽の構造と関わりについて理解できる。</p> <p>(思判表力) ・曲や演奏のよさなどについて自分なりの考えを発表できる。</p> <p>(学・人) ・主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組み、音楽文化に親しむことができる。</p>	<p>(知・技) ・鑑賞の活動を通して、曲想及びその変化と音楽の構造と関わりについて理解している。</p> <p>(思・判・表) ・曲や演奏のよさなどについて自分なりの考えを伝えようとしている。</p> <p>(主学) ・主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組み、音楽文化に親しみ、学校生活や日常生活に生かそうとしている。</p>	<p>【鑑賞】 ショパンについて学ぼう！</p>	<p>・生い立ちやショパンが生活していた時代について学ぶ。</p> <p>・ショパンが作曲していた時代の曲について学ぶ。</p> <p>・ショパンの曲を聴いた感想を発表する。</p> <p>・楽曲の音楽構成を知り、感想を発表する。</p>
	9	<p>(知及技) ・楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりを理解し、他者と合わせて演奏する技能を身につけることができる。</p> <p>(思判表力) ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を工夫することができる。</p> <p>(学・人) ・音楽活動の楽しさを体験することを通して音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むことができる。</p>	<p>(知・技) ・楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりを理解し、他者と合わせて演奏する技能が身につけている。</p> <p>(思・判・表) ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を工夫している。</p> <p>(主学) ・音楽活動の楽しさを体験することを通して音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育み、日常生活に生かそうとしている。</p>	<p>【器楽】 ウクレレにチャレンジしよう！</p>	<p>・楽器の名称について学ぶ</p> <p>・ウクレレの持ち方や奏法について学ぶ</p> <p>・Cコード、Fコード、Gコードの指使いを理解して演奏する。</p> <p>・曲に合わせて演奏する。</p>

3 学期	2	<p>(知及技) ・創意工夫を生かした表現をするために必要な、曲の速度やリズムに合わせて表現する技能や、設定した条件に基づいて、様々な動きを組み合わせたり、即興的に表現する力を身につけることができる。</p> <p>(思判表力) ・身体表現について知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を工夫することができる。</p> <p>(学・人) ・主体的に学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができる。</p>	<p>(知・技) ・創意工夫を生かした表現をするために必要な、曲の速度やリズムに合わせて表現する技能や、設定した条件に基づいて、様々な動きを組み合わせたり、即興的に表現する力が身についている。</p> <p>(思・判・表) ・身体表現について知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を工夫している。</p> <p>(主学) ・主体的に学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、学校生活や日常生活に生かそうとしている。</p>	【創作】カップリズムを楽しもう	<ul style="list-style-type: none"> ・基本リズムを習得する。 ・創作したリズムを発表する。
	6	<p>(知及技) ・創意工夫を生かした表現を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音を身につけ、全体の響きを聴きながら他者と合わせて歌うことができる。</p> <p>(思判表力) ・音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わうことができる。</p> <p>(学・人) ・主体的・協働的に学習に取り組み、音楽活動の楽しさを通して生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>	<p>(知・技) ・創意工夫を生かした表現を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音を身につけ、全体の響きを聴きながら他者と合わせて歌うことができる。</p> <p>(思・判・表) ・音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わうことができる。</p> <p>(主学) ・主体的・協働的に学習に取り組み、音楽活動の楽しさを通して生活を明るく豊かなものにし、学校生活や日常生活に生かそうとしている。</p>	【歌唱】卒業式の歌	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容を理解する。 ・音とりをする。 ・曲にイメージに合わせて歌う。
留意点 引継ぎ等					

令和 5年度 高等部 1 学年 教科「 美術 」 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	1年生（20名）		

目標：(知及技)知識及び技能（思判表力)思考力、判断力、表現力等（学・人)学びに向かう力・人間性等

評価：(知・技)知識・技能（思・判・表)思考・判断・表現（主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) ○対象や事象を捉える創造的な視点について理解を深めている。○意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。 (思判表力)造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。 (学・人)主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	22	(知及技) 自分の顔の特徴を捉え、描写で表現することができる。 (思判表力)自画像を描くことで自分を見つめ、角度や表情等を構想しながら、自分の顔の特徴と捉えて描くことができる。 (学・人)鏡を使い、実際に自分の顔に触れ、自分の表情や輪郭・各部位の形状を細かく観察し、鉛筆や消しゴムを多用し表現できる。	(知・技) 自分の顔の特徴を捉え、描写で表現できている。 (思・判・表)自画像を描くことで自分を見つめ、角度や表情等を構想しながら、自分の顔の特徴と捉えて描ける。 (主学)鏡を使い、実際に自分の顔に触れ、自分の表情や輪郭・各部位の形状を細かく観察し、鉛筆や消しゴムを多用し表現する。	(絵画・彫刻) 自画像を描く	・顔の輪郭、目鼻立ちなどの特徴をとらえて描く。 ・鏡・鉛筆・消しゴム
		(知及技) やってみたい仕事を想像し、イメージを具体化することができる。 (思判表力)将来の自分を思い描き、発想豊かに想像しながら構想を練ることができる。 (学・人)ワークシートや参考資料を活用し、表現に合った様々な画材を選び工夫し構成や彩色することができる。	(知・技) やってみたい仕事を想像し、イメージを具体化できる。 (思・判・表)将来の自分を思い描き、発想豊かに想像しながら構想できる。 (主学)ワークシートや参考資料を活用し、表現に合った様々な画材を選び工夫し構成や彩色できる。	(絵画・彫刻) やってみたい仕事を描く	・やってみたい仕事、仕事内容を描く。 ・表現に合った様々な画材を選び工夫して彩色する ・描いた仕事、仕事内容を相手に分かるように伝える ・ワークシート、参考資料
		(知及技) 構成のよさやバランスを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる。 (思判表力)作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる。 (学・人)映像メディア表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる。	(知・技) 構成のよさやバランスを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深められる。 (思・判・表)作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深められる。 (主学)映像メディア表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深められる。	(鑑賞) 作品鑑賞	・作品の画面構成、表現方法などの観点にしばった鑑賞会を行い発表する。 ・生徒作品、ワークシート ・iPad・プロジェクター
2 学期	27	(知及技) 版画制作に取り組み、自然や自己、生活などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成することができる。 (思判表力)表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練ることができる。 (学・人)意図に応じて材料や用具の特性を生かすことができる。	(知・技) 版画制作に取り組み、自然や自己、生活などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成する。 (思・判・表)表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練る。 (主学)意図に応じて材料や用具の特性を生かす。	(絵画・彫刻) 版画制作	・版画の種類を知り、表現したい技法を選択する。 ・版への転写、線の強弱、刷りなど表現方法を工夫することができる。 ・学校生活や日常生活の中で、実際に体験したことを題材に下絵を描く。 ・彫刻刀、画板等
		(知及技) 文字を組み合わせてデザインし、目的や条件、美しさなどを考え、主題を生成することができる。 (思判表力)デザインの機能や効果、表現形式の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練ることができる。 (学・人)レタリングのよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深めることができる。	(知・技) 文字を組み合わせてデザインし、目的や条件、美しさなどを考え、主題を生成する。 (思・判・表)デザインの機能や効果、表現形式の特性などについて考え、創造的な表現の構想を練る。 (主学)レタリングのよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深めることができるようにする。	(デザイン) 文字のデザイン	・文字を選択し、構図を意識して大小組み合わせさせて描く。 ・読み取ることができるレタリングをする。 ・人の目にとまるような配色を意識して彩色する。 ・ワークシート、参考資料
		(知及技) 構成のよさやバランスを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる。 (思判表力)目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる。 (学・人)映像メディア表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる。	(知・技) 構成のよさやバランスを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深められる。 (思・判・表)目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深められる。 (主学)映像メディア表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深められる。	(鑑賞) 作品鑑賞	・作品の画面構成、表現方法などの観点にしばった鑑賞会を行い発表する。 ・生徒作品、ワークシート ・iPad・プロジェクター

3 学 期	21	(知及技)卒業式壁画制作に取り組み、表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練ることができる。 (思判表力)意図に応じて材料や用具の特性を生かすことができる。 (学・人)表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表すことができる。	(知・技)卒業式壁画制作に取り組み、表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練る。 (思・判・表)意図に応じて材料や用具の特性を生かす。 (主学)表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表す。	(絵画・彫刻) 卒業式壁画制作	・壁画のデザインを考えて下絵を描く。 ・協力し合い一つの作品を完成させる。 ・色画用紙、光沢紙等 ・ワークシート、参考資料
		(知及技)張り子制作に取り組み、生活の中の工芸を捉え、自己の思いや体験、夢などから個性豊かで創造的な発想をすることができる。 (思判表力)用途と美しさとの調和を考え、素材の特質や表現の多様性などを生かした制作の構想を練ることができる。 (学・人)使う人の願いや心情、生活環境などから心豊かな発想をすることができる。	(知・技)張り子制作に取り組み、生活の中の工芸を捉え、自己の思いや体験、夢などから個性豊かで創造的な発想をする。 (思・判・表)用途と美しさとの調和を考え、素材の特質や表現の多様性などを生かした制作の構想を練る。 (主学)使う人の願いや心情、生活環境などから心豊かな発想をする。	(工芸) 張り子制作	・デザインを考え、それに沿って型を作る。 ・型に新聞紙、和紙で深いしわができないように丁寧に下張りを行う。 ・下絵を基に彩色する。 ・ワークシート、参考資料
		(知及技)造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる。 (思判表力)目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる。 (学・人)映像メディア表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる。	(知・技)造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深められる。 (思・判・表)目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深められる。 (主学)映像メディア表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深められる。	(鑑賞) 作品鑑賞	・作品の画面構成、表現方法などの観点にしばった鑑賞会を行い発表する。 ・生徒作品、ワークシート ・iPad・プロジェクター
留意点 引継ぎ等					

令和 5年度 高等部 2学年 教科「 美術 」 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	2年生（20名）		

目標：(知及技)知識及び技能（思判表力)思考力、判断力、表現力等（学・人)学びに向かう力・人間性等

評価：(知・技)知識・技能（思・判・表)思考・判断・表現（主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知・技) ○対象や事象を捉える造形的な視点について理解を探している。○表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。 (思・判・表)想像的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。 (主学)主体的に美術の創造的な諸活動に取り組もうとしている。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	22	(知及技) 形や色彩、明暗、質感などの効果、全体のイメージなどを捉え、線の強弱や絵の具などの特性を生かして表すことができる。 (思判表力)身近なものの特徴や美しさなどを基に、形や色彩、質感などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞することができる。 (学・人)身近なものの特徴や美しさなどを捉えて表す創造活動に、主体的に取り組むことができる。	(知・技) 形や色彩、明暗、質感などの効果、全体のイメージなどを捉え、線の強弱や絵の具などの特性を生かして表現する。 (思・判・表)身近なものの特徴や美しさなどを基に、形や色彩、質感などの効果を考え、構想を練り表現する。 (主学)身近なものの特徴や美しさなどを捉えて表す創造活動に、主体的に取り組む。	(絵画) 身近なものを描く	・ものの輪郭、形の特徴をとらえて描く。 ・鏡・鉛筆・消しゴム
		(知及技) やってみたい仕事を具体的に想像し、イメージを具体化することができる。 (思判表力)将来の自分を思い描き、具体的に想像しながら構想を練ることができる。 (学・人)ワークシートや参考資料を活用し、表現に合った様々な画材を選び工夫し構成や彩色することができる。	(知・技) やってみたい仕事を具体的に想像し、イメージを具体化する。 (思・判・表)将来の自分を思い描き、具体的に想像しながら構想する。 (主学)ワークシートや参考資料を活用し、表現に合った様々な画材を選び工夫し構成や彩色する。	(絵画・彫刻) やってみたい仕事を描く	・やってみたい仕事、仕事内容を描く。 ・表現に合った様々な画材を選び工夫して彩色する ・描いた仕事、仕事内容を相手に分かるように伝える ・ワークシート、参考資料
		(知及技) 構成のよさやバランスを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる。 (思判表力)目的や機能、バランスの取れた美しさなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる。 (学・人)映像メディア表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる。	(知・技) 構成のよさやバランスを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。 (思・判・表)目的や機能、バランスの取れた美しさなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。 (主学)映像メディア表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。	(鑑賞) 作品鑑賞	・作品の画面構成、表現方法などの観点にしぼった鑑賞会を行い発表する。 ・生徒作品、ワークシート ・iPad・プロジェクター
2 学期	27	(知及技) 版画制作に取り組み、自然や自己、生活などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成することができる。 (思判表力)表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて深く考え、創造的な表現の構想を練ることができる。 (学・人)意図に応じて材料や用具の特性を生かすことができる。	(知・技) 版画制作に取り組み、自然や自己、生活などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成する。 (思・判・表)表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて深く考え、創造的な表現の構想を練る。 (主学)意図に応じて材料や用具の特性を生かす。	(絵画・彫刻) 版画制作	・ドライポイント・木版画・一版多色版画の種類を知り、表現したい技法を選択する。 ・版への転写、線の強弱、刷りなど表現方法を工夫することができる。 ・学校生活や日常生活の中で、実際に体験したことを題材に下絵を描く。 ・彫刻刀、画板等
		(知及技) 陶芸の制作方法を踏まえ、意図に応じて材料や用具を生かすとともに、手順や技法を吟味し、創造的に表すことができる。 (思判表力)使う人の願いや心情、使い勝手の良さを追求し、機能と美しさとの調和を考え、制作の構想を練ることができる。 (学・人)使う人の願いや心情、生活を豊かに演出する表現活動の取り組むことができる。	(知・技) 陶芸の制作方法を踏まえ、意図に応じて材料や用具を生かすとともに、手順や技法を吟味し、創造的に表現する。 (思・判・表)使う人の願いや心情、使い勝手の良さを追求し、機能と美しさとの調和を考え、制作の構想を練る。 (主学)使う人の願いや心情、生活を豊かに演出する表現活動を主体的に取り組む。	(工芸) 陶芸制作	・用途に合った小物や食器をイメージし、道具や技法を駆使し造形することができる。 ・手回しロクロ ・電動ロクロ ・ワークシート、参考資料
		(知及技) 造形的なよさや美しさを感じ取り、用途に合わせた創造的な表現の工夫などについて考え、陶土を扱う技法を学ぶことができる。 (思判表力)目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる。 (学・人)映像メディア表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる。	(知・技) 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深め表現する。 (思・判・表)目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。 (主学)映像メディア表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深められる。	(鑑賞) 作品鑑賞	・作品の画面構成、表現方法などの観点にしぼった鑑賞会を行い発表する。 ・生徒作品、ワークシート ・iPad・プロジェクター

3 学 期	21	(知及技)卒業式壁画制作に取り組み、表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練ることができる。 (思判表力)意図に応じて材料や用具の特性を生かすことができる。 (学・人)表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表すことができる。	(知・技)卒業式壁画制作に取り組み、表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練る。 (思・判・表)意図に応じて材料や用具の特性を生かす。 (主学)表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表す。	(絵画・彫刻) 卒業式壁画制作	・壁画のデザインを考えて下絵を描く。 ・協力し合い一つの作品を完成させる。 ・色画用紙、光沢紙等 ・ワークシート、参考資料
		(知及技)視覚に関する錯覚の効果を理解し、不思議なイメージを捉え、意図に応じて絵具などの特性を生かして表すことができる。 (思判表力)錯視やイメージの重なりなどを基に、形や色彩、描くものや配置などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞することができる。 (学・人)不思議な世界を表す創造活動に、主体的に取り組むことができる。	(知・技)視覚に関する錯覚の効果を理解し、不思議なイメージを捉え、意図に応じて絵具などの特性を生かして表現する。 (思・判・表)錯視やイメージの重なりなどを基に、形や色彩、描くものや配置などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞する。 (主学)不思議な世界を表す創造活動に、主体的に取り組む。	(デザイン) 視覚のトリックを生かして	・形やイメージの変化や広がり、見立ての効果などを生かし、不思議な世界を表す。 ・iPad・プロジェクターなど ・ワークシート、参考資料
		(知及技)構成のよさやバランスを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる。 (思判表力)目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる。 (学・人)映像メディア表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる。	(知・技)構成のよさやバランスを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深められる。 (思・判・表)目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深められる。 (主学)映像メディア表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深められる。	(鑑賞) 作品鑑賞	・作品の画面構成、表現方法などの観点にしばった鑑賞会を行い発表する。 ・生徒作品、ワークシート ・iPad・プロジェクター
留意点 引継ぎ等					

令和 5 年度 年間指導計画 第3学年 教科名「美術」 週時数（2時間）

目 標		経験や想像をもとに様々な技法を用いて作品を制作することで、表現及び鑑賞の能力を高め、豊かな情操を養う。				
学 期	時 数	単元・題材	単元・題材の目標	単元・題材の活動内容	教材・教具等	備考・配慮事項等
1 学期	4 5 7 月 (26)	卒業後就労したい仕事を描く	卒業後、就きたい仕事を想像し、イメージを具体化することができる。	・卒業後、就きたい仕事、仕事内容を描く。 ・表現に合った様々な画材を選び工夫して彩色する。 ・描いた仕事、仕事内容を相手に分かるように伝える。	ワークシート 参考資料	・卒業後、就きたい仕事・仕事内容を想像することができる。 ・より具体化するために参考資料で調べることができる。 ・イメージを絵で表現することができる。
		身近な物を描く	対象の持つ形、色の美しさを発見し描くことができる。	・興味のあるモチーフを選択し、物の持つ美しさや雰囲気を工夫して表す。	ワークシート 参考資料	・観察の仕方を工夫し特徴を捉えることができる。 ・線描写の強弱や濃淡を活かして線描きする。
		作品鑑賞	自分や友達の作品の良さに気づき伝える事ができる。	作品の画面構成、表現方法などの観点にしぼった鑑賞会を行い発表する。	ワークシート プロジェクター	・描いた友達の思い、人物の描き方、配色、画面構成など作品の良さに気づくことができる。 ・友達の発表を聞くことで、他者との鑑賞の違いに気づくことができる。
2 学期	9 10 12 月 (32)	版画制作	自分の表現したい版画の技法を選び制作する。	・版画の種類を知り、表現したい技法を選択する。 ・版への転写、線の強弱、刷りなど表現方法を工夫することができる。 ・学校生活や日常生活の中で、実際に体験したことを題材に下絵を描く。	ワークシート 参考資料	・ドライポイント、木版画、一版多色木版画の中から、自分の表現したい技法を選ぶことができる。 ・選択した版画の制作過程を理解することができる。 ・安全に道具を使用することができる。
		カレンダー制作	四季をイメージして描くことができる。	・自分なりの発想で季節をイメージして表現する。	ワークシート 参考資料	・カレンダーに関心を持ち、日常生活において活用することができる。 ・春・夏・秋・冬それぞれの季節のイメージや行事等をワークシートに記入することができる。
		作品鑑賞	自分や友達の作品の良さに気づき伝える事ができる。	作品の画面構成、表現方法などの観点にしぼった鑑賞会を行い発表する。	ワークシート プロジェクター	・描いた友達の思い、人物の描き方、配色、画面構成など作品の良さに気づくことができる。 ・友達の発表を聞くことで、他者との鑑賞の違いに気づくことができる。
3 学期	1 5 3 月 (12)	シーサー制作	飾ることを意識してオリジナルの作品づくりを楽しむ。	・シーサーの特徴をとらえて、雄・雌をデザインする。 ・粘土で頭部、胴体のバランスを考えながら制作する。 ・竹串やヘラを使い、細部に模様をつける。	ワークシート 参考資料	・シーサーの雄雌の特徴を理解することができる。 ・一つ一つの工程を丁寧に行うことができる。 ・粘土同士の接着部分はどべでしっかりと接着することができる。
		作品鑑賞	自分や友達の作品の良さに気づき伝える事ができる。	表現方法などの観点にしぼった鑑賞会を行い発表する。	ワークシート プロジェクター	・制作した友達の思いや工夫に気づくことができる。 ・友達の発表を聞くことで、他者との鑑賞の違いに気づくことができる。
		まとめ	3年間の学習をふりかえる。	3年間の学習をふりかえり発表する。	ワークシート プロジェクター	・身の回りにある美に気づくことができる。
総計	70	総授業数 70時間				

令和 5年度 1年 産業科 保健体育 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3／105	1学年 20人		実技教材、ワークシート、 視聴覚教材等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 各種の運動の特性に応じた技能等並びに個人生活及び社会生活における健康・安全についての理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 各種の運動や健康・安全についての自他や社会の課題を発見し、その解決に向けて仲間と思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (学・人) 生涯にわたって継続して運動に親しむことや、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	10	(知及技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法を理解し、仲間と積極的に関り、様々な動きを高めることができる。 (思判表力) 自他の課題を発見し、その解決策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 多様な経験を通して、決まりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	(知・技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法を理解し、仲間と積極的に関り、様々な動きを高めることができる。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、その解決策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学) 多様な経験を通して、決まりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。 ○ワークシート、活動の様子、持ち物管理、ミニテストで評価する。	オリエンテーション 体づくり運動 (集団行動、新体力テスト等)	・ 集団行動を通して、集団の中で共通のルールや行動を身に付ける。 ・ 新体力テストを通して、自己の身体や体力について理解し、健康や体力の保持・増進のために必要な運動を知り、今後に役立てることを意識する。 ・ 教師の説明を聞いたり、手本を見たりして、行い方やルールを理解し、健康・安全に留意して取り組む。 ・ 仲間と協力して、用具の準備・片付けを行う。 ・ 学習カードを記入し、学習の振り返りを行う。
	15	(知及技) 球技の楽しさや、喜びを味わい、その特性のに応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思判表力) 自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	(知・技)) 球技の楽しさや、喜びを味わい、その特性のに応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行っている。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学) 多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。 ○ワークシート、活動の様子、持ち物管理、ミニテストで評価する。	球技(選択) (簡単な技能を習得し、ゲームを楽しもう)	・ ランニング、準備運動を行う。 ・ 基本的な技能を習得し、簡易化されたゲームに参加する。 ・ チーム決めや作戦などの話し合いを行い、仲間と連携した攻防を展開できるように練習をする。 ・ 球技の特性を理解し、健康・安全に留意して取り組む。 ・ 仲間と協力して、用具の準備・片付けを行う。 ・ 学習カードを記入し、学習の振り返りを行う。
	15	(知及技) 水泳の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに、泳法を身につけることができる。 (思判表力) 自他の課題を発見し、その解決策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	(知・技) 水泳の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに、泳法を身につけている。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、その解決策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学) 多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。 ○ワークシート、活動の様子、持ち物管理、ミニテストで評価する。	水泳 (水に親しみ、自分に合った泳法を見つけよう)	・ 準備運動を行う。 ・ 水慣れ、伏し浮き、蹴のび、呼吸法、バタ足などを復習し、クロールや平泳ぎに挑戦する。 ・ 自分に合った泳法を見つけ、長く泳ぐ練習をする。 ・ 視覚的教材を活用して、水泳学習のきまりやプールの使用ルールを理解し、健康・安全に留意して取り組む。 ・ 仲間と協力して、用具の準備・片付けを行う。 ・ 学習カードを記入し、学習の振り返りを行う。
	4	(知及技) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解するとともに、健康で安全な個人生活及を営むための技能を身に付けることができる。 (思判表力) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等についての学習に主体的に取り組むことができるがでる。	(知・技) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等について、理解したことを言ったり書いたりしているとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けている。 (思・判・表) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等についての学習に主体的に取り組もうとしている。 ○ワークシート、活動の様子、持ち物管理、ミニテストで評価する。	保健 (けがや疾病の予防、心身の機能発達に関すること等	・ 視聴覚教材を活用した教師の説明を聞き、ワークシートを記入する。 ・ 自分が疑問に思ったことや取り組める対策について、情報通信ネットワーク等を活用して調べ、まとめる。 ・ 考えたことやまとめたことを発表する。

	1	(知及技) 運動やスポーツの多様性、効果的と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義に気付くことができる。 (思判表力)運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人)運動やスポーツの多様性、効果的と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての学習に積極的に取り組むことができる。	(知・技) 運動やスポーツの多様性、効果的と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義に気付いている。 (思・判・表) 運動やスポーツの多様性、効果的と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての課題を発見し、その解決策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学) 運動やスポーツの多様性、効果的と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての学習に積極的に取り組もうとしている。 ○ワークシート、活動の様子、持ち物管理、ミニテストで評価する。	体育理論 (文化としてのスポーツの意義)	・視聴覚教材を活用した教師の説明を聞き、ワークシートを記入する。 ・自分が疑問に思ったことや取り組み方法について、情報通信ネットワーク等を活用して調べ、まとめる。 ・考えたことやまとめたことを発表する。
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
2 学期	15	(知及技) 球技の楽しさや、喜びを味わい、その特性のに応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思判表力)自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	(知・技)) 球技の楽しさや、喜びを味わい、その特性のに応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行えている。 (思・判・表)自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。 ○ワークシート、活動の様子、持ち物管理、ミニテストで評価する。	球技(選択) (簡単な技能を習得し、ゲームを楽しもう)	・ランニング、準備運動を行う。 ・基本的な技能を習得し、簡易化されたゲームに参加する。 ・チーム決めや作戦などの話し合いを行い、仲間と連携した攻防を展開できるように練習をする。 ・球技の特性を理解し、健康・安全に留意して取り組む。 ・仲間と協力して、用具の準備・片付けを行う。 ・学習カードを記入し、学習の振り返りを行う。
	4	(知及技) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解し、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けることができる。 (思判表力) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等についての学習に主体的に取り組むことができる。	(知・技) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等について、理解したことを言ったり書いたりしているとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けている。 (思・判・表) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等についての学習に主体的に取り組もうとしている。 ○ワークシート、活動の様子、持ち物管理、ミニテストで評価する。	保健 (けがや疾病の予防、心身の機能発達に関すること等)	・視聴覚教材を活用した教師の説明を聞き、ワークシートを記入する。 ・自分が疑問に思ったことや取り組める対策について、情報通信ネットワーク等を活用して調べ、まとめる。 ・考えたことやまとめたことを発表する。
	1	(知及技) 運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義に気づくことができる。 (思判表力)運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 運動やスポーツの多様性、効果的と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての学習に積極的に取り組むことができる。	(知・技) 運動やスポーツの多様性、効果的と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義に気付いている。 (思・判・表) 運動やスポーツの多様性、効果的と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての課題を発見し、その解決策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学) 運動やスポーツの多様性、効果的と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての学習に積極的に取り組もうとしている。 ○ワークシート、活動の様子、持ち物管理、ミニテストで評価する。	体育理論 (文化としてのスポーツの意義)	・視聴覚教材を活用した教師の説明を聞き、ワークシートを記入する。 ・自分が疑問に思ったことや取り組み方法について、情報通信ネットワーク等を活用して調べ、まとめる。 ・考えたことやまとめたことを発表する。
	10	(知及技) 陸上競技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けることができる。 (思判表力) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (学・人) 多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	(知・技)) 陸上競技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解し、技能を身に付けている。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、その解決策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学) 多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動している。 ○ワークシート、活動の様子、持ち物管理、ミニテストで評価する。	陸上競技（持久走）	・ランニング、準備運動を行う。 ・視聴覚教材を活用した教師の説明を聞き、スタートの姿勢、腕の振り方など基本的な動きのポイントを確認する。 ・基本的な動きを身に付けるための練習を行う。 ・リレーのバトンパスの方法を確認し、グループに分かれてバトンパスの効率的な受け渡し方について考え、練習する。 ・仲間と協力して、用具の準備・片付けを行う。 ・学習カードを記入し、学習の振り返りを行う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
3 学期	12	(知及技) 武道の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解し、基本動作や基本となる技を用いて、簡単な攻防を展開することができる。 (思判表力) 自他の課題を発見し、その解決策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	(知・技) 武道の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解し、基本動作や基本となる技を用いて、簡単な攻防を展開している。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、その解決策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学) 多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動している。 ○ワークシート、活動の様子、持ち物管理、ミニテストで評価する。	男女教習選択授業 (剣道、空手、ダンス、エイサー)	(剣道、空手) ・準備運動を行う。 ・教師の手本を見たり、視聴覚教材を活用した教師の説明を聞いたりして、剣道や空手などの基本動作を確認し、習得に向けて練習する。 ・基本動作の発表を行い、自他の課題を考え改善していく。 ・基本となる技を用いて、攻防を展開する。 ・武道の特性を理解し、健康・安全に留意して取り組む。 ・仲間と協力して、用具の準備・片付けを行う。 ・学習カードを記入し、学習の振り返りを行う。
	13	(知及技) ダンスの楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、技能を身につけ、表現や踊りを通じた交流をすることができる。 (思判表力) 自他の課題を発見し、その解決策を工夫したり、仲間と考えたり他者に伝えることができる。 (学・人) 多様な経験を通して、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保したり自主的に運動することができる。	(知・技) ダンスの楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、技能を身につけ、表現や踊りを通じた交流をしている。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、その解決策を工夫したり、仲間と考えたり他者に伝えている。 (主学) 多様な経験を通して、仲間の表現を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保したり自主的に運動している。 ○ワークシート、活動の様子、持ち物管理、ミニテストで評価する。	男女教習選択授業 (剣道、空手、ダンス、エイサー)	(ダンス・エイサー) ・準備運動を行う。 ・教師の手本を見たり、視聴覚教材を活用した映像を見たりして、ダンスやエイサーの基本動作を確認し、習得に向けて練習する。 ・基本動作の発表を行う。自他の課題を考え、グループで話し合いながら改善していく。
	4	(知及技) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解し、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けることができる。 (思判表力) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等についての学習に主体的に取り組むことができる。	(知・技) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等について、理解したことを言ったり書いたりしているとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けている。 (思・判・表) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等についての学習に主体的に取り組もうとしている。 ○ワークシート、活動の様子、持ち物管理、ミニテストで評価する。	保健 (けがや疾病の予防、心身の機能発達に関すること等	・視聴覚教材を活用した教師の説明を聞き、ワークシートを記入する。 ・自分が疑問に思ったことや取り組める対策について、情報通信ネットワーク等を活用して調べ、まとめる。 ・考えたことやまとめたことを発表する。
	1	(知及技) 運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義に気づくことができる。 (思判表力) 運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 運動やスポーツの多様性、効果的と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての学習に積極的に取り組むことができる。	(知・技) 運動やスポーツの多様性、効果的と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義に気付いている。 (思・判・表) 運動やスポーツの多様性、効果的と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての課題を発見し、その解決策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学) 運動やスポーツの多様性、効果的と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての学習に積極的に取り組もうとしている。 ○ワークシート、活動の様子、持ち物管理、ミニテストで評価する。	体育理論 (文化としてのスポーツの意義)	・視聴覚教材を活用した教師の説明を聞き、ワークシートを記入する。 ・自分が疑問に思ったことや取り組み方法について、情報通信ネットワーク等を活用して調べ、まとめる。 ・考えたことやまとめたことを発表する。
留意点 引継ぎ等					

令和 5年度 2年 産業科 保健体育 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3／105	2学年 20人		実技教材、ワークシート、 視聴覚教材等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等

評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 各種の運動の特性に応じた技能等並びに個人生活及び社会生活についての理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身につける。 (思判表力)各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、その解決に向けて仲間と思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (学・人)生涯にわたって継続して運動に親しむことや、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	10	(知及技) 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法の理解を深めるとともに、仲間と自主的に関わったり、動きを持続する能力を高める運動をしたりするとともに、それらを組み合わせることができる。 (思判表力) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (学・人)多様な経験を通して、決まりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動することができる。	(知・技)) 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法の理解を深めるとともに、仲間と自主的に関わったり、動きを持続する能力を高める運動をしたりするとともに、それらを組み合わせている。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えている。 (主学)多様な経験を通して、決まりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ○ワークシート、活動の様子、持ち物管理、ミニテストで評価する。	オリエンテーション 体づくり運動 (集団行動、新体力テスト等)	・集団行動を通して、集団の中で共通のルールや行動を身に付ける。 ・新体力テストを通して、自己の身体や体力について理解し、健康や体力の保持・増進のために必要な運動を知り、今後に役立てることを意識する。 ・教師の説明を聞いたり、手本を見たりして、行い方やルールを理解し、健康・安全に留意して取り組む。 ・仲間と協力して、用具の準備・片付けを行う。 ・学習カードを記入し、学習の振り返りを行う。
	15	(知及技) 球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。 (思判表力)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (学・人)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したりし、見通しを持って自主的に運動をすることができる。	(知・技) 球技の楽しさや、喜びを味わい、その特性のに応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行えている。 (思・判・表)自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動している。 ○ワークシート、活動の様子、持ち物管理、ミニテストで評価する。	球技(選択) (簡単な技能を習得し、ゲームを楽しもう)	・ランニング、準備運動を行う。 ・基本的な技能を習得し、簡易化されたゲームに参加する。 ・チーム決めや作戦などの話し合いを行い、仲間と連携した攻防を展開できるように練習をする。 ・球技の特性を理解し、健康・安全に留意して取り組む。 ・仲間と協力して、用具の準備・片付けを行う。 ・学習カードを記入し、学習の振り返りを行う。
	15	(知及技) 水泳の楽しさや心地よさを味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた泳法を身につけることができる。 (思判表力)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (学・人) 多様な経験を通して、きまりやルールなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しを持って自主的に運動をすることができる。	(知・技) 水泳の楽しさや心地よさを味わい、その特性に応じた技能を理解し、泳法を身につけている。 (思・判・表)自他の課題を発見し、その解決策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学)多様な経験を通して、きまりやルールなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動できている。 ○ワークシート、活動の様子、持ち物管理、ミニテストで評価する。	水泳 (水に親しみ、自分に合った泳法を見つけよう)	・準備運動を行う。 ・水慣れ、伏し浮き、蹴のび、呼吸法、バタ足などを復習し、クロールや平泳ぎに挑戦する。 ・自分に合った泳法を見つけ、長く泳ぐ練習をする。 ・視覚的教材を活用して、水泳学習のきまりやプールの使用ルールを理解し、健康・安全に留意して取り組む。 ・仲間と協力して、用具の準備・片付けを行う。 ・学習カードを記入し、学習の振り返りを行う。
	4	(知及技) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解を深めるとともに、健康で安全な個人生活を営むための目的に応じた技能を身に付けることができる。 (思判表力) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりよいその解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (学・人) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等についての学習に主体的に取り組むことができる。	(知・技) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等について、理解したことを言ったり書いたりしているとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けている。 (思・判・表)健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりよいその解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えている。 (主学) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等についての学習に主体的に取り組もうとしている。 ○ワークシート、活動の様子、持ち物管理、ミニテストで評価する。	保健 (現代社会と健康)	・視聴覚教材を活用した教師の説明を聞き、ワークシートを記入する。 ・自分が疑問に思ったことや取り組める対策について、情報通信ネットワーク等を活用して調べ、まとめる。 ・考えたことやまとめたことを発表する。

		<p>1</p> <p>(知及技) 運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義に関する基礎的な知識を身に付けることができる。 (思判表力) 運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、他者に伝えることができる。 (学・人) 運動やスポーツの多様性、効果的と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義について学習に自主的に取り組むことができる。</p>	<p>(知・技) 運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義に関する基礎的な知識を身に付けている。 (思・判・表) 運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、他者に伝えている。 (主学) 運動やスポーツの多様性、効果的と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義について学習に自主的に取り組んでいる。</p> <p>○ワークシート、活動の様子、持ち物管理、ミニテストで評価する。</p>	<p>体育理論 (スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展)</p>	<ul style="list-style-type: none">・視聴覚教材を活用した教師の説明を聞き、ワークシートを記入する。・自分が疑問に思ったことや取り組み方法について、情報通信ネットワーク等を活用して調べ、まとめる。・考えたことやまとめたことを発表する。
2 学期	15	<p>(知及技) 球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。 (思判表力) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (学・人) 多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したりし、見通しを持って自主的に運動をすることができる。</p>	<p>(知・技) 球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行えている。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを目的や状況に応じて他者に伝えている。 (主学) 多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したりし、見通しを持って自主的に運動をしている。</p> <p>○ワークシート、活動の様子、持ち物管理、ミニテストで評価する。</p>	<p>球技(選択) (簡単な技能を習得し、ゲームを楽しもう)</p>	<ul style="list-style-type: none">・ランニング、準備運動を行う。・基本的な技能を習得し、簡易化されたゲームに参加する。・チーム決めや作戦などの話し合いを行い、仲間と連携した攻防を展開できるように練習をする。・球技の特性を理解し、健康・安全に留意して取り組む。・仲間と協力して、用具の準備・片付けを行う。・学習カードを記入し、学習の振り返りを行う。
	4	<p>(知及技) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解を深めるとともに、健康で安全な個人生活を営むための目的に応じた技能を身に付けることができる。 (思判表力) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりよいその解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (学・人) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等についての学習に主体的に取り組むことができる。</p>	<p>(知・技) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等について、理解したことを言ったり書いたりしているとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けている。 (思・判・表) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりよいその解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えている。 (主学) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>○ワークシート、活動の様子、持ち物管理、ミニテストで評価する。</p>	<p>保健 (安全な社会生活)</p>	<ul style="list-style-type: none">・視聴覚教材を活用した教師の説明を聞き、ワークシートを記入する。・自分が疑問に思ったことや取り組める対策について、情報通信ネットワーク等を活用して調べ、まとめる。・考えたことやまとめたことを発表する。
	1	<p>(知及技) 運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義に関する基礎的な知識を身に付けることができる。 (思判表力) 運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、他者に伝えることができる。 (学・人) 運動やスポーツの多様性、効果的と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義について学習に自主的に取り組むことができる。</p>	<p>(知・技) 運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義に関する基礎的な知識を身に付けている。 (思・判・表) 運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、他者に伝えている。 (主学) 運動やスポーツの多様性、効果的と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義について学習に自主的に取り組んでいる。</p> <p>○ワークシート、活動の様子、持ち物管理、ミニテストで評価する。</p>	<p>体育理論 (運動やスポーツの効果的な学習の仕方)</p>	<ul style="list-style-type: none">・視聴覚教材を活用した教師の説明を聞き、ワークシートを記入する。・自分が疑問に思ったことや取り組み方法について、情報通信ネットワーク等を活用して調べ、まとめる。・考えたことやまとめたことを発表する。
	10	<p>(知及技) 陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けるができる。 (思判表力) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (学・人) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。</p>	<p>(知・技) 陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けている。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えている。 (主学) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えている。</p> <p>○ワークシート、活動の様子、持ち物管理、ミニテストで評価する。</p>	<p>陸上競技(持久走)</p>	<ul style="list-style-type: none">・ランニング、準備運動を行う。・視聴覚教材を活用した教師の説明を聞き、スタートの姿勢、腕の振り方など基本的な動きのポイントを確認する。・基本的な動きを身に付けるための練習を行う。・リレーのバトンパスの方法を確認し、グループに分かれてバトンパスの効率的な受け渡し方について考え、練習する。・仲間と協力して、用具の準備・片付けを行う。・学習カードを記入し、学習の振り返りを行う。

3 学期	12	<p>(知及技) 武道の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、基本動作や基本となる技を用いて、相手の動きの変化に応じた攻防を展開することができる。</p> <p>(思判表力) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。</p> <p>(学・人) 多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しを持って自主的に運動することができる。</p>	<p>(知・技) 武道の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、基本動作や基本となる技を用いて、相手の動きの変化に応じた攻防を展開している。</p> <p>(思・判・表) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えている。</p> <p>(主学) 多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しを持って自主的に運動している。</p> <p>○ワークシート、活動の様子、持ち物管理、ミニテストで評価する。</p>	男女教習選択授業 (剣道、空手、ダンス、エイサー)	<p>(剣道、空手)</p> <ul style="list-style-type: none">・準備運動を行う。・教師の手本を見たり、視聴覚教材を活用した教師の説明を聞いたりして、剣道や空手などの基本動作を確認し、習得に向けて練習する。・基本動作の発表を行い、自他の課題を考え改善していく。・基本となる技を用いて、攻防を展開する。・武道の特性を理解し、健康・安全に留意して取り組む。・仲間と協力して、用具の準備・片付けを行う。・学習カードを記入し、学習の振り返りを行う。
	13	<p>(知及技) ダンスの楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、目的に応じた技能を身につけ、表現や踊りを通した交流や発表をすることができる。</p> <p>(思判表力) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。</p> <p>(学・人) 多様な経験を通して、一人一人の表現や役割を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動することができる。</p>	<p>(知・技)) ダンスの楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、目的に応じた技能を身につけ、表現や踊りを通した交流や発表してる。</p> <p>(思・判・表) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えている。</p> <p>(主学) 多様な経験を通して、一人一人の表現や役割を認め助け合ったり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動している。</p> <p>○ワークシート、活動の様子、持ち物管理、ミニテストで評価する。</p>	男女教習選択授業 (剣道、空手、ダンス、エイサー)	<p>(ダンス・エイサー)</p> <ul style="list-style-type: none">・準備運動を行う。・教師の手本を見たり、視聴覚教材を活用した映像を見たりして、ダンスやエイサーの基本動作を確認し、習得に向けて練習する。・基本動作の発表を行う。自他の課題を考え、グループで話し合いながら改善していく。
	4	<p>(知及技) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解を深めるとともに、健康で安全な個人生活を営むための目的に応じた技能を身に付けることができる。</p> <p>(思判表力) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりよいその解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。</p> <p>(学・人) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等についての学習に主体的に取り組むことができるがでる。</p>	<p>(知・技) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等について、理解したことを言ったり書いたりしているとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けている。</p> <p>(思・判・表) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりよいその解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えている。</p> <p>(主学) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>○ワークシート、活動の様子、持ち物管理、ミニテストで評価する。</p>	保健 (生涯を通じる健康、健康を支える環境作り)	<ul style="list-style-type: none">・視聴覚教材を活用した教師の説明を聞き、ワークシートを記入する。・自分が疑問に思ったことや取り組める対策について、情報通信ネットワーク等を活用して調べ、まとめる。・考えたことやまとめたことを発表する。
	1	<p>(知及技) 運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義に関する基礎的な知識を身に付けることができる。</p> <p>(思判表力) 運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、他者に伝えることができる。</p> <p>(学・人) 運動やスポーツの多様性、効果的と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義について学習に自主的に取り組むことができる。</p>	<p>(知・技) 運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義に関する基礎的な知識を身に付けている。</p> <p>(思・判・表) 運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、他者に伝えている。</p> <p>(主学) 運動やスポーツの多様性、効果的と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義について学習に自主的に取り組んでいる。</p> <p>○ワークシート、活動の様子、持ち物管理、ミニテストで評価する。</p>	体育理論 (豊かなスポーツライフの設計の仕方)	<ul style="list-style-type: none">・視聴覚教材を活用した教師の説明を聞き、ワークシートを記入する。・自分が疑問に思ったことや取り組み方法について、情報通信ネットワーク等を活用して調べ、まとめる。・考えたことやまとめたことを発表する。
留意点 引継ぎ等					

年間指導計画 第3学年 教科名「保健体育」週時数（3時間）

学期	月 時数	単元・題材	単元・題材の目標	単元・題材の活動内容	教材・教具等	備考・配慮事項等
1 学期	4～ 5月	体育の知識	・体育授業での学習内容を知り、見通しを持って学習できるようにする。	①体育授業の基礎・基本 及び年間指導計画について	・ホイッスル ・個人用マット	・保健体育の学習内容がわかる。 ・保健体育学習のルール、決まり、学習の流れがわかる。 ・保健体育学習の個人目標を立てることができる。 ・健康や体力の保持・増進、および準備運動のために行うことを理解する。 ・部位により方法、効果の違いがあることを理解する。 ・集団行動の基本的な行動様式が分かる。 ・姿勢、方向変換、集合、整列など指揮者の号令により行動することができる。
		体づくり運動	・自己の身体に気づくことができる。	②健康管理について		
		集団行動	・指揮者の号令により行動することができる。	①ストレッチ体操 ②筋力・体幹トレーニング ③気をつけ、休めの姿勢 ④縦隊・横隊の集合 ⑤左右への方向転換、後方への方向転換		
		新体力テスト	・自己の身体や体力について理解し、健康や体力の保持・増進について役立てることができる。	①各種目名称と正しい測定方法 ※自己の体力・運動能力を知る ②テスト結果の活用方法		
(35)	5～ 7月	水泳	・水泳学習の事故防止の心得を知り、自己に合った泳法で記録を伸ばすことができる。	①水慣れ ②伏し浮き ③蹴のび ④各種泳法で距離への挑戦	・ホイッスル ・浮き具	・水泳学習の事故防止の心得を守り、健康・安全に留意し水泳学習を行うことができる。 ・自己の記録を伸ばすことができる。 ・基本的技能の名称や行い方を復習する。 ・ルールを工夫し、仲間と協力してゲームを展開し楽しむことができる。
		球技	・特性に応じた技能を身につけ、ゲームのルールを理解し、仲間と協力して楽しむことができる。	①ルールの説明 ②基本的技能について ③ゲームの進め方		
		保健	・疾病について理解し、対応策を考えることができる。 ・喫煙・飲酒・薬物乱用などによる心身へ与える影響を理解することができる。 ・性に関する正しい知識を理解し、望ましい交際のあり方について考えることができる。	①けがや疾病の予防 ②喫煙・飲酒・薬物乱用 ③心身の機能の発達について		
		体育理論	・運動やスポーツについて多様な視点があることを理解できる。	①運動やスポーツの多様性		
2 学期	9～ 12 月	陸上競技 （短距離走、リレー）	・陸上競技の種目や正しい競技方法を理解し、自己記録を目指して競技することができる。	①各種目別個人練習 ・短距離走 ・リレー ・走幅跳び・ソフトボール投げ ※記録会	・シグナル ・各競技道具	・各種目の名称、正しい競技方法がわかる。 ・競技道具、器具の名称を知り、正しく使用することができる。 ・自己記録更新を狙い練習を工夫して取り組むことができる。
		球技	・特性に応じた技能を身につけ、ゲームのルールを理解し、仲間と協力して楽しむことができる。	①ルールの説明 ②基本的技能について ③ゲームの進め方		
		ダンス	・振り付けを覚え、全身を使って表現することができる。発表では、堂々と踊ることができる。	①振り付けを覚える ②グループ発表		
		保健	・出産、子育てについて考え、相手を大切にする気持ちをもつことができる。 ・エイズや性感染症を学び、予防方法を知ることができる。	①心身の機能の発達について ②感染症について		
		体育理論	・運動の効果と学び方、安全な行い方について様々な方法があることを理解できる。	①運動の効果と学び方、安全な行い方		
3 学期	1～ 3 月	陸上競技 （持久走）	・自分に合った走法やペースを知り、ペースを保って長い距離を走ることができる。	①時間走、距離走 ②記録会、駅伝大会	・ストップウォッチ	・自分に合った走り方やペースがわかる。 ・時間や距離に応じてペースを工夫しながら走ることができる。
		球技	・特性に応じた技能を身につけ、ゲームのルールを理解し、仲間と協力して楽しむことができる。	①ルールの説明 ②基本的技能について ③ゲームの進め方		
		保健	・性被害、性加害者にならないためのSNSやインターネットサイトの活用方法について正しい知識を理解できる。 ・様々なストレスへの対処法があることを知り、自分に合った方法を見つけることができる。 ・交通事故や自然災害などへの備えと対応について学び、発生した際の行動について考えることができる。	①心身の機能の発達について ②ストレスへの対処について ③交通事故や自然災害などへの備えと対応について		
	評価	学習のまとめと評価	・本年度の成果と課題を知ることができる。	①反省会（協議） ②次年度の目標について	・反省用紙	・1年間の活動を振り返ることができる。 ・良かった点、反省点がわかる。 ・次年度の目標を立てることができる。
総計	105	総授業時数 105				

※年間を通して、主運動の前にランニング等を行い基礎体力の強化を図る。
※陽明高校との一斉授業を基本とするが、個々の能力に配慮しながら、種目により、能力別・男女別及び個別に指導を行う。

令和5年度 1学年 職業 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
0.7/122.5	1学年（20名）		

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。 （思判表力）将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。 （学・人）よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して指導		（知及技） ・進路決定までの流れについて知り、見通しをもつことができる。 （思判表力） ・進路決定までの流れをイメージすることができる。 （学・人） ・職業の学習に関心をもち、主体的に学習に取り組むことができる。	（知・技） ・進路決定までの流れについて知ることができる。 （思・判・表） ・予定表から進路決定までの流れをイメージすることができる。 （主学） ・職業の学習内容について関心をもち、学んだことを様々な場面に当てはめて考えようとしている。	「オリエンテーション」	・職業の学習について知る。 ・進路決定までの流れについて知る。
		（知及技） ・日常生活で身だしなみを意識できるよう、整えるための手段、方法を身に付けることができる。 （思判表力） ・天候に合わせた衣服の調整を判断したりすることができる。 （学・人） ・身だしなみを整えることが社会のルールであることを理解し、常に心掛けることができる。	（知・技） ・身だしなみを整えるための手段、方法を身に付けることができる。 （思・判・表） ・着替えにかかる時間を意識したり、天候に合わせて衣服を準備することができる。 （主学） ・身だしなみを意識し、その都度乱れに気が付き、整えることができる。	「身だしなみ」	・いつも清潔できちんとした身なりを保つ。
		（知及技） ・場にふさわしい言葉づかい、姿勢をとることができる。 （思判表力） ・場にふさわしい言葉遣いや態度を判断することができる。 （学・人） ・メモ取り練習では素早く書けるように自分に合った書き方を探することができる。	（知・技） ・場にふさわしい言葉遣いをする ことができる。 （思・判・表） ・自分の置かれている場を把握することができる。 （主学） ・メモ取り練習では素早く書くために自分に合った方法を探そうとすることができる。	「仕事をする上での基礎学習」	・正しい言葉づかい ・注意を受けた時の姿勢について ・できごと発表 ・メモ取り練習 ・依頼、報告の仕方 ・いろいろな職業を知ろう
		（知及技） ・自己理解の意義について理解することができる。 （思判表力） ・将来の職業生活を見据え、生活する力、働く力を自己評価することができる。 （学・人） ・将来の進路に向けて、現在の課題に向けた取り組みができる。	（知・技） ・自己理解の意義について具体的に理解することができる。 （思・判・表） ・評価票をもとに、働く力、生活する力を評価し、自分の長所と短所を理解することができる。 （主学） ・今後の生活で改善すべきことを考えることができる。	「自己理解」	・自分ができることを伸ばし、苦手なことを改善する。 ・自分の働く能力や職種の適性を知るために、保護者・先生・友達に相談したり、日々の学習・実習に取り組む。
		（知及技） ・卒業後の職業生活に必要な知識や態度、技能を理解することができる。 （思判表力） ・実習を通して、自己の適性を理解することができる。 （学・人） ・働くことを通して、就労意欲を高めながら、卒業後の進路について考えることができる。	（知・技） ・実習で学んだ技術、態度について考えることができる。 （思・判・表） ・実習での成果、課題について考えることができる。 （主学） ・実習を振り返り、今後の学校生活で取り組むべき事について考えている。	「就業体験・校内実習」	・実習でできたこと、できなかったことを振り返る。 ・次の実習の目標を立てる。

年間を通して指導	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none">・講話を聞くことで、働くために必要な力や態度について知ることができる。 <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none">・将来の職業生活を見据え、必要な課題を設定することができる。 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none">・講話を通して、今後に向けた目標を設定することができる。	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none">・講話の内容から、働くために必要な力を確認することができる。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none">・講話の内容で自分に必要なこと、課題に気付きメモすることができる。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none">・講話を振り返り、自分の生活に必要な力と今後の目標について考えることができる。	「社会のしくみと職業」	<ul style="list-style-type: none">・講話を聞く態度を知る。・講話を通して、感想をまとめ、今後の生活に生かせるように目標を立てる。
	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none">・清掃用具の扱い方、分別などを意識し、清掃活動に取り組むことができる。 <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none">・汚れの状況、整理整頓などを自ら判断し、活動することができる。 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none">・仲間と協力しながら係活動に取り組むことができる。	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none">・道具の使い方や分別方法を理解し、清掃活動に取り組むことができる。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none">・状況に応じた判断をしながら、清掃活動を進めることができる。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none">・仲間の動きや自分の役割を確認しながら、協調性を持って進めることができる。	「分担区域の清掃」	<ul style="list-style-type: none">・掃除用具の整備・掃除用具の使用方法・洗剤や用具等の扱い方・ゴミの分別
留意点 引継ぎ等	※１～３年生の７組・８組を縦割りでグループ編成する。			

令和5年度 2学年 職業 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
0.7/122.5	2年生（20名）		

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。 （思判表力）将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。 （学・人）よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して指導		（知及技） ・進路決定までの流れについて知り、見通しをもつことができる。 （思判表力） ・進路決定までの流れをイメージすることができる。 （学・人） ・職業の学習に関心をもち、主体的に学習に取り組むことができる。	（知・技） ・進路決定までの流れについて知ることができる。 （思・判・表） ・予定表から進路決定までの流れをイメージすることができる。 （主学） ・職業の学習内容について関心をもち、学んだことを様々な場面に当てはめて考えようとしている。	「オリエンテーション」	・職業の学習について知る。 ・進路決定までの流れについて知る。
		（知及技） ・日常生活で身だしなみを意識できるよう、整えるための手段、方法を身に付けることができる。 （思判表力） ・天候に合わせた衣服の調整を判断したりすることができる。 （学・人） ・身だしなみを整えることが社会のルールであることを理解し、常に心掛けることができる。	（知・技） ・身だしなみを整えるための手段、方法を身に付けることができる。 （思・判・表） ・着替えにかかる時間を意識したり、天候に合わせて衣服を準備することができる。 （主学） ・身だしなみを意識し、その都度乱れに気が付き、整えることができる。	「身だしなみ」	・いつも清潔できちんとした身なりを保つ。
		（知及技） ・場にふさわしい言葉づかい、姿勢をとることができる。 （思判表力） ・場にふさわしい言葉遣いや態度を判断することができる。 （学・人） ・メモ取り練習では素早く書けるように自分に合った書き方を探することができる。	（知・技） ・場にふさわしい言葉遣いをする ことができる。 （思・判・表） ・自分の置かれている場を把握することができる。 （主学） ・メモ取り練習では素早く書くために自分に合った方法を探そうとすることができる。	「仕事をする上での基礎学習」	・正しい言葉づかい ・注意を受けた時の姿勢について ・できごと発表 ・メモ取り練習 ・依頼、報告の仕方 ・いろいろな職業を知ろう
		（知及技） ・自己理解の意義について理解することができる。 （思判表力） ・将来の職業生活を見据え、生活する力、働く力を自己評価することができる。 （学・人） ・将来の進路に向けて、現在の課題に向けた取り組みができる。	（知・技） ・自己理解の意義について具体的に理解することができる。 （思・判・表） ・評価票をもとに、働く力、生活する力を評価し、自分の長所と短所を理解することができる。 （主学） ・今後の生活で改善すべきことを考えることができる。	「自己理解」	・自分ができていることを伸ばし、苦手なことを改善する。 ・自分の働く能力や職種の適性を知るために、保護者・先生・友達に相談したり、日々の学習・実習に取り組む。
		（知及技） ・卒業後の職業生活に必要な知識や態度、技能を理解することができる。 （思判表力） ・実習を通して、自己の適性を理解することができる。 （学・人） ・働くことを通して、就労意欲を高めながら、卒業後の進路について考えることができる。	（知・技） ・実習で学んだ技術、態度について考えることができる。 （思・判・表） ・実習での成果、課題について考えることができる。 （主学） ・実習を振り返り、今後の学校生活で取り組むべき事について考えている。	「就業体験・校内実習」	・実習でできたこと、できなかったことを振り返る。 ・次の実習の目標を立てる。

年間を通して指導	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none">・講話を聞くことで、働くために必要な力や態度について知ることができる。 <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none">・将来の職業生活を見据え、必要な課題を設定することができる。 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none">・講話を通して、今後に向けた目標を設定することができる。	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none">・講話の内容から、働くために必要な力を確認することができる。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none">・講話の内容で自分に必要なこと、課題に気付きメモすることができる。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none">・講話を振り返り、自分の生活に必要な力と今後の目標について考えることができる。	「社会のしくみと職業」	<ul style="list-style-type: none">・講話を聞く態度を知る。・講話を通して、感想をまとめ、今後の生活に生かせるように目標を立てる。
	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none">・清掃用具の扱い方、分別などを意識し、清掃活動に取り組むことができる。 <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none">・汚れの状況、整理整頓などを自ら判断し、活動することができる。 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none">・仲間と協力しながら係活動に取り組むことができる。	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none">・道具の使い方や分別方法を理解し、清掃活動に取り組むことができる。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none">・状況に応じた判断をしながら、清掃活動を進めることができる。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none">・仲間の動きや自分の役割を確認しながら、協調性を持って進めることができる。	「分担区域の清掃」	<ul style="list-style-type: none">・掃除用具の整備・掃除用具の使用方法・洗剤や用具等の扱い方・ゴミの分別
留意点 引継ぎ等	※１～３年生の７組・８組を縦割りでグループ編成する。			

令和5年度 3学年 職業 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
0.7/122.5	3年生（18名）		

目標：(知及技)知識及び技能（思判表力)思考力、判断力、表現力等（学・人)学びに向かう力・人間性等

評価：(知・技)知識・技能（思・判・表)思考・判断・表現（主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。 (思判表力)将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。 (学・人)よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して指導		(知及技) ・進路決定までの流れについて知り、見通しをもつことができる。 (思判表力) ・進路決定までの流れをイメージすることができる。 (学・人) ・職業の学習に関心をもち、主体的に学習に取り組むことができる。	(知・技) ・進路決定までの流れについて知ることができる。 (思・判・表) ・予定表から進路決定までの流れをイメージすることができる。 (主学) ・職業の学習内容について関心をもち、学んだことを様々な場面に当てはめて考えようとしている。	「オリエンテーション」	・職業の学習について知る。 ・進路決定までの流れについて知る。
		(知及技) ・日常生活で身だしなみを意識できるよう、整えるための手段、方法を身に付けることができる。 (思判表力) ・天候に合わせた衣服の調整を判断したりすることができる。 (学・人) ・身だしなみを整えることが社会のルールであることを理解し、常に心掛けることができる。	(知・技) ・身だしなみを整えるための手段、方法を身に付けることができる。 (思・判・表) ・着替えにかかる時間を意識したり、天候に合わせて衣服を準備することができる。 (主学) ・身だしなみを意識し、その都度乱れに気が付き、整えることができる。	「身だしなみ」	・いつも清潔できちんとした身なりを保つ。
		(知及技) ・場にふさわしい言葉づかい、姿勢をとることができる。 (思判表力) ・場にふさわしい言葉遣いや態度を判断することができる。 (学・人) ・メモ取り練習では素早く書けるように自分に合った書き方を探することができる。	(知・技) ・場にふさわしい言葉遣いをする ことができる。 (思・判・表) ・自分の置かれている場を把握することができる。 (主学) ・メモ取り練習では素早く書くために自分に合った方法を探そうとすることができる。	「仕事をする上での基礎学習」	・正しい言葉づかい ・注意を受けた時の姿勢について ・できごと発表 ・メモ取り練習 ・依頼、報告の仕方 ・いろいろな職業を知ろう
		(知及技) ・自己理解の意義について理解することができる。 (思判表力) ・将来の職業生活を見据え、生活する力、働く力を自己評価することができる。 (学・人) ・将来の進路に向けて、現在の課題に向けた取り組みができる。	(知・技) ・自己理解の意義について具体的に理解することができる。 (思・判・表) ・評価票をもとに、働く力、生活する力を評価し、自分の長所と短所を理解することができる。 (主学) ・今後の生活で改善すべきことを考えることができる。	「自己理解」	・自分ができることを伸ばし、苦手なことを改善する。 ・自分の働く能力や職種の適性を知るために、保護者・先生・友達に相談したり、日々の学習・実習に取り組む。
		(知及技) ・卒業後の職業生活に必要な知識や態度、技能を理解することができる。 (思判表力) ・実習を通して、自己の適性を理解することができる。 (学・人) ・働くことを通して、就労意欲を高めながら、卒業後の進路について考えることができる。	(知・技) ・実習で学んだ技術、態度について考えることができる。 (思・判・表) ・実習での成果、課題について考えることができる。 (主学) ・実習を振り返り、今後の学校生活で取り組むべき事について考えている。	「就業体験・校内実習」	・実習でできたこと、できなかったことを振り返る。 ・次の実習の目標を立てる。

年間を通して指導	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none">・講話を聞くことで、働くために必要な力や態度について知ることができる。 <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none">・将来の職業生活を見据え、必要な課題を設定することができる。 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none">・講話を通して、今後に向けた目標を設定することができる。	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none">・講話の内容から、働くために必要な力を確認することができる。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none">・講話の内容で自分に必要なこと、課題に気付きメモすることができる。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none">・講話を振り返り、自分の生活に必要な力と今後の目標について考えることができる。	「社会のしくみと職業」	<ul style="list-style-type: none">・講話を聞く態度を知る。・講話を通して、感想をまとめ、今後の生活に生かせるように目標を立てる。
	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none">・清掃用具の扱い方、分別などを意識し、清掃活動に取り組むことができる。 <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none">・汚れの状況、整理整頓などを自ら判断し、活動することができる。 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none">・仲間と協力しながら係活動に取り組むことができる。	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none">・道具の使い方や分別方法を理解し、清掃活動に取り組むことができる。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none">・状況に応じた判断をしながら、清掃活動を進めることができる。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none">・仲間の動きや自分の役割を確認しながら、協調性を持って進めることができる。	「分担区域の清掃」	<ul style="list-style-type: none">・掃除用具の整備・掃除用具の使用方法・洗剤や用具等の扱い方・ゴミの分別
留意点 引継ぎ等	※１～３年生の７組・８組を縦割りでグループ編成する。			

令和5年度 第1学年 教科「 家庭 」 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	1年生（20名）		Survive!!

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) ・家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けようとする。 (思判表力) ・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。 (学・人) ・家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期 2 8	2	(知及技) ・被服実習における教室利用方法と基本的な注意事項を確認することができる。 (思判表力) ・学習内容と実習の心構え、年間計画を理解し、見通しを持つことができる。 (学・人) ・よりよい生活の実現に向け、自立を意識し主体的に取り組むことができる。	(知及技) ・被服実習における教室利用方法と基本的な注意事項を確認している。 (思・判・表) ・学習内容、実習の心構えなどを理解しプリントに記入している。 (学・人) ・家庭科で身につけたい内容について考え、プリントに記入している。	・オリエンテーション ・被服実習の心構え	・教室利用の仕方 ・注意事項、マナー、被服実習態度について ・学習内容・年間計画 ・ワークシート (iPad・視覚教材・PowerPoint)
	18	(知及技) ・用具の安全な取り扱いについて理解し、適切に活動できる。 (思判表力) ・目的に応じた縫い方について考え、工夫できる。 (学・人) ・道具の準備・片づけを協力して行うことができる。	(知・技) ・裁縫用具の名称を覚え、安全に気を付け、手縫い、ミシン縫いができる。 (思・判・表) ・毎時間まとめプリントへ学習内容・目標・自己評価、感想反省を記入し、実習を振り返っている。 (学・人) ・共同で使うアイロンやミシンなどの準備・片づけを、お互い声掛け合い協力して行っている。	・基礎技術 ・ミシンの使用方法 ・被服製作	・裁縫用具の名称と取り扱い ・玉結び、玉止め、なみ縫い、ボタンつけ ・刺し子巾着、エプロン製作 (採寸、裁断、しるし付け、ミシンでの縫製、展示) ・まとめプリント (iPad・視覚教材・PowerPoint)
	8	(知及技) ・衣服と社会生活のかかわりにつて理解し、TP0に応じた衣服選択ができる。 (思判表力) ・衛生と健康について考え工夫することができる。 (学・人) ・取り扱い絵表示を見て、衣服の素材や靴など状態に応じた手入れの方法を知り実践できる。	(知・技) ・家庭生活の中で目的や場所に応じた衣服を考え、工夫して生活の中に取り入れ実践している。 (思・判・表) ・日常着や靴などの適切な手入れの仕方を学び、実際に取り組んだことをまとめて発表している。 (主学) ・取り扱い表示を理解し、適切な洗濯方法について工夫して生活の中に取り入れ実践している。	・衣生活 ・日常着や靴などの手入れ	・衣服の役割 ・取り扱い表示、洗剤の種類 ・TP0に応じた衣服の選択と手入れ、靴の洗い方 ・ワークシート ・まとめプリント (iPad・視覚教材・PowerPoint)
2 学期 2 4	2	(知及技) ・調理実習の心構えについて知り、調理器具の名称と用具の安全な取り扱いについて理解できる。 (思判表力) ・調理実習における学習内容を確認し、見通しを持つことができる。 (学・人) ・よりよい生活の実現に向け、自立を意識し主体的に取り組むことができる。	(知及技) ・調理器具の名称と用具の安全な取り扱いについてプリントにまとめ確認している。 (思・判・表) ・調理実習における教室利用の仕方や実習の心構え、学習内容などを理解しプリントにまとめている。 (学・人) ・作ってみたいレシピについて考えまとめている。	・調理実習の心構え ・調理器具の取り扱いと保管	・調理室利用の仕方 ・注意事項、マナー、調理実習態度について ・ワークシート (PowerPoint)
	4	(知及技) ・生活の中で食事が果たす役割について理解できる。 (思判表力) ・健康に良い食習慣を目指して、自分なりに工夫して課題学習に取り組むことができる。 (学・人) ・栄養バランスを意識した一日の献立について考えることができる。	(知・技) ・食事が果たす役割について確認し、ワークシートに記入することができる。 (思・判・表) ・健康に良い食習慣について考え、自らの食生活について振り返っている。 (学・人) ・5大栄養素など、学習したことを振り返り、グループで献立を考えている。	・食事の役割 ・五大栄養素	・食事が果たす役割について ・栄養素の種類と働きについて ・健康に良い食習慣について ・課題学習 (iPad・視覚教材・PowerPoint)
	18	(知及技) ・安全と衛生に留意しながら調理器具を扱い、日常食の調理ができる。 (思判表力) ・基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考えることができる。 (学・人) ・仲間と協力し調理に必要な道具の準備や片づけ、調理の役割分担について確認できる。	(知・技) ・安全と衛生に気を付け、基本的な日常食の調理を適切に行っている。 (思・判・表) ・毎時間まとめプリントへ学習内容・目標・自己評価、反省感想を記入し、実習を振り返っている。 (学・人) ・仲間と話し合いながら、協力して調理を進めることができている。	・食品衛生 ・調理の基礎	・調理の際の身支度・準備・調理・片付け ・日常食の調理 ・おにぎりと味噌汁（お米の研ぎ方） ・卵料理 ・麺料理 ・沖縄料理 ・簡単なお菓子作り ・まとめプリント (iPad・視覚教材・PowerPoint)

3 学 期 1 8	10	(知及技) ・購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解できる。 (思判表力) ・家庭生活の課題について関心を持ち、改善するための計画を立てることができる。 (学・人) ・青年期の発達課題や家族とのより良い関わりについて考え、主体的に行動することができる。	(知・技) ・様々な支払い方法について知り、計画的な金銭管理の必要性についてプリントにまとめている。 (思・判・表) ・家族がよりよく過ごすために実践できることを計画し、実現に向けて取り組んでいる。 (主学) ・自らの成長と家族との関わりについてまとめ発表することができる。	・消費生活・環境 ・ホームプロジェクト ・自分史製作	・自分の消費行動（お小遣い管理） ・3R(リデュース・リユース・リサイクル) ・SPDS(課題設定、計画、実施、評価、反省・発表・感想) ・情報収集（写真や動画、エピソード聞き取り） ・「自分史」の発表、掲示 ・まとめプリント (iPad・視覚教材・PowerPoint・Keynote)
	8	(知及技) ・安全と衛生に留意しながら調理器具を扱い、日常食の調理ができる。 (思判表力) ・基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考えることができる。 (学・人) ・仲間と協力し調理に必要な道具の準備や片づけ、調理の役割分担について確認できる。	(知・技) ・安全と衛生に気を付け、基本的な日常食の調理を適切に行っている。 (思・判・表) ・毎時間まとめプリントへ学習内容・目標・自己評価、反省感想を記入し、実習を振り返っている。 (学・人) ・仲間と話し合いながら、協力して調理を進めることができる。	・食品衛生 ・調理の基礎 ・日常食の調理	・調理の際の身支度・準備・調理・片付け ・レトルト食品をアレンジしたメニュー ・行事食 ・簡単なお菓子作り ・まとめプリント (iPad・視覚教材・PowerPoint)
留意点 引継ぎ等	※基本的に、学期毎にテスト及び実技テストを行う。				

令和5年度 第2学年 教科「 家庭 」 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	2年生（20名）		Survive!!

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) ・家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けようとする。 (思判表力) ・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。 (学・人) ・家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期 28	2	(知及技) ・被服実習における教室利用方法と基本的な注意事項を確認することができる。 (思判表力) ・学習内容と実習の心構え、年間計画を理解し、見通しを持つことができる。 (学・人) ・よりよい生活の実現に向け、自立を意識し主体的に取り組むことができる。	(知及技) ・被服実習における教室利用方法と基本的な注意事項を確認している。 (思・判・表) ・学習内容、実習の心構えなどを理解しプリントに記入している。 (学・人) ・家庭科で身につけたい内容について考え、プリントに記入している。	・オリエンテーション ・被服実習の心構え	・教室利用の仕方 ・注意事項、マナー、被服実習態度について ・学習内容・年間計画 ・ワークシート (iPad・視覚教材・PowerPoint)
	18	(知及技) ・用具の安全な取り扱いについて理解し、適切に活動できる。 (思判表力) ・目的に応じた縫い方について考え、工夫できる。 (学・人) ・道具の準備・片づけを協力して行うことができる。	(知・技) ・裁縫用具の名称を覚え、安全に気を付け、手縫い、ミシン縫いができる。 (思・判・表) ・毎時間まとめプリントへ学習内容・目標・自己評価、感想反省を記入し、実習を振り返っている。 (学・人) ・共同で使うアイロンやミシンなどの準備・片づけを、お互い声掛け合い協力して行っている。	・基礎技術 ・ミシンの使用方法 ・被服製作	・裁縫用具の名称と取り扱い ・玉結び、玉止め、なみ縫い、ボタンつけ ・ミシンの糸掛け、ミシン縫い ・刺し子巾着、タブレットケース製作(採寸、裁断、しるし付け、ミシンでの縫製、展示) ・まとめプリント (iPad・視覚教材・PowerPoint)
	8	(知及技) ・衣服と社会生活のかかわりにつて理解し、TP0応じた衣服選択ができる。 (思判表力) ・衛生と健康について考え工夫することができる。 (学・人) ・取り扱い絵表示を見て、衣服の素材や靴など状態に応じた手入れの方法を知り実践できる。	(知・技) ・家庭生活の中で目的や場所に応じた衣服を考え、工夫して生活の中に取り入れ実践している。 (思・判・表) ・日常着や靴などの適切な手入れの仕方を学び、実際に取り組んだことをまとめて発表している。 (主学) ・取り扱い表示を理解し、適切な洗濯方法について工夫して生活の中に取り入れ実践している。	・衣生活 ・日常着や靴などの手入れ	・衣服の役割 ・衣服の素材と種類 ・取り扱い表示、洗剤の種類 ・TP0に応じた衣服の選択と手入れ、靴の洗い方 ・ワークシート ・まとめプリント (iPad・視覚教材・PowerPoint)
2学期 24	2	(知及技) ・調理実習の心構えについて知り、調理器具の名称と用具の安全な取り扱いについて理解できる。 (思判表力) ・調理実習における学習内容を確認し、見通しを持つことができる。 (学・人) ・よりよい生活の実現に向け、自立を意識し主体的に取り組むことができる。	(知及技) ・調理器具の名称と用具の安全な取り扱いについてプリントにまとめ確認している。 (思・判・表) ・調理実習における教室利用の仕方や実習の心構え、学習内容などを理解しプリントにまとめている。 (学・人) ・作ってみたいレシピについて考えまとめている。	・調理実習の心構え ・調理器具の取り扱いと保管	・調理室利用の仕方 ・注意事項、マナー、調理実習態度について ・ワークシート (PowerPoint)
	4	(知及技) ・生活の中で食事が果たす役割について理解できる。 (思判表力) ・健康に良い食習慣を目指して、自分なりに工夫して課題学習に取り組むことができる。 (学・人) ・栄養バランスを意識した一日の献立について考えることができる。	(知・技) ・食事が果たす役割について確認し、ワークシートに記入することができる。 (思・判・表) ・健康に良い食習慣について考え、自らの食生活について振り返っている。 (学・人) ・5大栄養素など、学習したことを振り返り、グループで献立を考えている。	・食事の役割 ・五大栄養素	・食事が果たす役割について ・栄養素の種類と働きについて ・健康に良い食習慣について ・課題学習 (iPad・視覚教材・PowerPoint)
	18	(知及技) ・安全と衛生に留意しながら調理器具を扱い、日常食の調理ができる。 (思判表力) ・基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考えることができる。 (学・人) ・仲間と協力し調理に必要な道具の準備や片づけ、調理の役割分担について確認できる。	(知・技) ・安全と衛生に気を付け、基本的な日常食の調理を適切に行っている。 (思・判・表) ・毎時間まとめプリントへ学習内容・目標・自己評価、反省感想を記入し、実習を振り返っている。 (学・人) ・仲間と話し合いながら、協力して調理を進めることができる。	・食品衛生 ・調理の基礎	・調理の際の身支度・準備・調理・片付け ・日常食の調理 ・レトルト食品をアレンジしたメニュー ・麺料理 ・沖縄料理 ・行事食 ・簡単なお菓子作り ・まとめプリント (iPad・視覚教材・PowerPoint)

3 学 期 1 8	10	(知及技) ・購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解できる。 (思判表力) ・家庭生活の課題について関心を持ち、改善するための計画を立てることができる。 (学・人) ・安全で快適な住生活についてイメージし、プリントにまとめることができる。	(知・技) ・自立に向けて身近な消費生活や環境などについて自分の生活と結びつけて考え、基礎的な知識を身につけ生活に生かそうとしている。 (思・判・表) ・家族がよりよく過ごすために実現できることを自ら計画して実践できることを考え、解決を目指している。 (主学) ・自分の理想の家の間取りを考えている。	・消費生活・環境 ・ホームプロジェクト ・住まいの役割 ・住まいの手入れ	・自分の消費行動（お小遣い管理） ・3R(リデュース・リユース・リサイクル) ・SPDS(課題設定、計画、実施、評価、反省・発表・感想) ・情報収集（写真や動画、エピソード聞き取り） ・「自分史」の発表、掲示 ・まとめプリント (iPad・視覚教材・PowerPoint・Keynote)
	8	(知及技) ・安全と衛生に留意しながら調理器具を扱い、日常食の調理ができる。 (思判表力) ・基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考えることができる。 (学・人) ・仲間と協力し調理に必要な道具の準備や片づけ、調理の役割分担について確認できる。	(知・技) ・安全と衛生に気を付け、基本的な日常食の調理を適切に行っている。 (思・判・表) ・毎時間まとめプリントへ学習内容・目標・自己評価、反省感想を記入し、実習を振り返っている。 (学・人) ・仲間と話し合いながら、協力して調理を進めることができる。	・食品衛生 ・調理の基礎 ・日常食の調理	・調理の際の身支度・準備・調理・片付け ・レトルト食品をアレンジしたメニュー ・行事食 ・簡単なお菓子作り ・まとめプリント (iPad・視覚教材・PowerPoint)
留意点 引継ぎ等	※基本的に、学期毎にテスト及び実技テストを行う。				

令和5年度 年間指導計画 第3学年「家庭」 週（2時間）

目標	衣食住に関する実習等を通して、基礎的な知識と技能を習得し、家庭で実践できる態度を育てる。					
学期 時数	月	単元・題材	単元・題材の目標	単元・題材の活動内容	教材・教具等	備考・配慮事項等
1 学期 26 時間	4 ～ 7 月	オリエンテーション	学習内容がわかる。	(1) 家庭の学習内容について	プリント	・実習を伴う衣食住に関する学習が主であることがわかる。
		ライフプランと家庭経済	自分の人生設計を立て、生活する上で必要となるお金について知る。	(1) ライフプラン (2) 生活に必要なお金	プリント 人生ゲーム	・自分の人生設計を立てることができる。 ・生活する上で必要なお金が何かわかる。
		被服1 基礎技術	手縫いで布巾を縫うことができる。	(1) 刺し子について (2) 刺し子布巾づくり	裁縫用具 刺し子キット	・刺し子縫いの仕方がわかる。 ・印に沿って均一に並縫いし布巾を仕上げることができる。
		被服2 袋物の製作	ミシンを使ってトートバッグを製作する。	(1) トートバッグ作り 袋の構成→裁断→仮縫い→本縫い→仕上げ→展示・評価	裁縫用具 家庭用ミシン 生地	・トートバッグの作業工程がわかる。 ・裁ちばさみの使い方に慣れ、印通りに裁断できる。 ・布を重ねて印通りに縫うことができる。 ・アイロンを安全に扱い、仕上げるができる。
		食物1 調理実習の心構え	衛生面に注意し、調理器具を安全に使用する。	(1) 調理実習の心構え (2) 調理器具の取り扱いと保管	プリント 調理用具	・衛生面に注意し調理器具を適切に使うことができる。 ・食器の洗浄、調理台・コンロ等の拭き掃除ができる。
		食物2 日常食の調理	調理実習を通して、調理の基礎的・基本的な技術を身につけ、日常食を作る。	(1) 麺料理	調理用具 プリント 実習材料・調味料	・調理の際の身支度ができる。 ・共同作業を通して、責任感を持ち協力して実習ができる。 ・炊く、ゆでる、煮る、焼く、炒める等の調理ができる。
		まとめ	1学期の学習を振り返る。	テスト、解答、反省とまとめ	テスト問題	・1学期を振り返り、課題や目標の確認をする。
2 学期 32 時間	8 ～ 12 月	被服3 衣服の手入れ	身につけるものの汚れを落とし、清潔に保つことがわかる。	(1) 衣服の洗濯	たらい、洗濯石鹸、 洗剤、洗濯機	・洗濯の目的や仕組みを知り、洗濯表示に種類があることがわかる。 ・実際に衣服や靴の汚れを落とすことができる。
		被服4 衣服の手入れ	身につけるものの汚れを落とし、清潔に保つことがわかる。	(1) 衣服の保管と補修	アイロン	・洗濯物にアイロンをかけたり、畳んでしまうことができる。 ・衣服の補修方法について知ることができる。
		食物3 日常食の調理	調理実習を通して、調理の基礎的・基本的な技術を身につけ、日常食を作る。	(2) 沖縄料理 (3) 肉を使ったメニュー	プリント・調理用具・実習材料・調味料	・調理の際の身支度ができる。 ・共同作業を通して、責任感を持ち協力して実習ができる。 ・炊く、ゆでる、煮る、焼く、炒める等の調理ができる。
		食物4 食事のマナー	社会人として必要な食事のマナーを身につけることができる。	(1) 食事のマナーについて (2) コース料理の練習	調理用具・プリント	・和洋、ビュッフェの食事マナーがわかる。 ・マナーを守ってナイフとフォークを扱うことができる。
		まとめ	2学期の学習を振り返る。	テスト、解答、反省とまとめ	テスト問題	・2学期を振り返り、課題や目標の確認をする。
3 学期 12 時間	1 ～ 3 月	卒業に向けて1 計画的な消費生活	お金の適切な使い方や商品の選び方について知る。	(1) お金の使い方 (2) 悪徳商法と契約	プリント・タブレット	・1か月の生活費と給料の適切な使い道を理解する。 ・悪徳商法の手口を理解する。
		卒業に向けて2 社会人の身だしなみ	社会人として必要な身だしなみや服装について理解する。	(1) 社会人の身だしなみ講座	鏡・化粧品・ネクタイ・洗面用具等	・社会人にふさわしい身だしなみや肌の手入れについて理解する。 ・TPOに合わせた服装について理解する。
		食物5 日常食の調理	調理実習を通して、調理の基礎的・基本的な技術を身につけ、日常食を作る。	(4) お弁当作り (5) お菓子	調理用具、プリント 食品見本実習材料・調味料	・調理の際の身支度ができる。 ・共同作業を通して、責任感を持ち協力して実習することができる。 ・炊く、ゆでる、煮る、焼く、炒める等の調理ができる。
		まとめ	1年間の学習を振り返る。	テスト、解答、反省とまとめ	テスト問題	・1年間の学習を振り返り、卒業後へつなげる。

総授業時数 (70) 時間

令和 5年度 高等部 1年 英語科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	1学年(20名)		BLUE SKY English Course

目標：(知及技)知識及び技能

(思判表力)思考力、判断力、表現力等

(学・人)学びに向かう力・人間性等

評価：(知・技)知識・技能

(思・判・表)思考・判断・表現

(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間 目標		(知及技) 外国語の音声や文字、語彙、表現、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気づくとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身につけるようにする。 (思判表力) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。 (学・人) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮し、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学 期	4	(知及技) ・英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気づくことができる。 (思判表力) ・数字や日付などの身近で簡単な事柄について、表示などを参考にしながら具体的な情報を聞き取ることができる。 (学・人) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。	(知・技) ・英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気づくことができる。 (思・判・表) ・数字や日付などの身近で簡単な事柄について、表示などを参考にしながら具体的な情報を聞き取ることができる。 (主学) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。	Let's start ・学校での会話を聞こう ・アルファベットを読み書きしよう ・数字を聞いて使ってみよう ・英語を聞いて使ってみよう	・Classroom Englishの練習 ・教科や教室内の英単語の確認 ・アルファベットの読み書き ・数字と日付の言い方の違いの確認 ・今日の日付や誕生日についての会話練習 ・中学校の思い出の行事の発表
	5	(知及技) ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気づくことができる。 (思判表力) ・活字体の大文字、小文字を区別して自己紹介文を書くことができる。 ・簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の得意なことを伝えたり、簡単な質問に答えたりして伝え合うことができる。 (学・人) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。	(知・技) ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで自分の得意なことについて相手に伝わることに気づいている。 (思・判・表) ・活字体の大文字、小文字を区別して自己紹介文を書くことができる。 ・簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の得意なことを伝えたり、簡単な質問に答えたりして伝え合っている。 (主学) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。	Unit1 英語で話そう 基本文①I am-. 基本文②You are-. /Are you-?	・自分の名前をローマ字で書く ・自分の学年と学校名を英語で発表する ・文を書くときのルールに留意して自己紹介文を書く(基本文①) ・相手の得意なことを聞くことができる。(基本文②)
	4	(知及技) ・英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気づくことができる。 (思判表力) ・家族や友達などの身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現で話される会話や説明をイラストや写真を参考にしながら聞き、必要な情報を聞き取ることができる。 (学・人) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。	(知・技) ・英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気づくことができる。 (思・判・表) ・家族や友達などの身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現で話される会話や説明をイラストや写真を参考にしながら機器、必要な情報を聞き取っている。 (主学) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。	Unit2 学校での会話 基本文①This is-. /Is that-? /It is-. 基本文②What is this? 基本文③He[She]is-. Let's talk (時刻)	・身の回りのものの名前を説明する(基本文①) ・自分の知らないものについて質問をする(基本文②) ・友達や家族を紹介する(基本文③) ・ロールプレイ(世界の国名を覚えて、現地時間を答える) ・基本文まとめ(1学期)

2 学期	5	<p>(知及技)</p> <p>・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで自分の意見や要件が相手に伝わることに気づくことができる。</p> <p>(思判表力)</p> <p>・自分の関する簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話したり、相手に尋ねたりすることができる。</p> <p>(学・人)</p> <p>・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。</p>	<p>(知・技)</p> <p>・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで自分の意見や要件が相手に伝わることに気づいている。</p> <p>(思・判・表)</p> <p>・自分に関する簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話したり、相手に尋ねたりすることができている。</p> <p>(主学)</p> <p>・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。</p>	<p>Unit5 エミリーの言えでの会話 基本文①I can-./I cannot-./Can you-? 基本文②Who is-? 基本文③Do you know her?/I like them. ・Let’s talk (お願い)</p>	<p>・できることとできないことについて話したり、相手に尋ねる練習(基本文①)</p> <p>・知らない人について尋ねる練習(基本文②)</p> <p>・人やものを代名詞で表現したり、好きなキャラクターについて会話をする(基本文③)</p> <p>・ロールプレイ(canを用いて相手に依頼をしてみよう)</p>
---------	---	--	--	--	---

	5	<p>(知及技) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気づくことができる。</p> <p>(思判表力) ・簡単な事柄について、伝えようとした内容を理解した上で、簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。</p> <p>(学・人) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。</p>	<p>(知・技) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの動きがあることに気づいている。</p> <p>(思・判・表) ・簡単な事柄について、伝えようとした内容を理解した上で、簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができている。</p> <p>(主学) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。</p>	<p>・友達にインタビューをしよう！</p> <p>・インタビューの内容をまとめて友達紹介をしよう！</p>	<p>・インタビューの質問例の確認と発音練習</p> <p>・ペアワーク(インタビュー)</p> <p>・インタビューでメモしたことを参考にして相手の紹介カードを作る</p> <p>・紹介カードを交換して感想を伝え合おう</p>
	4	<p>(知及技) ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気づくことができる。</p> <p>(思判表力) ・相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ語彙や表現などをもちいてカードに書き写すことができる。</p> <p>(学・人) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。</p>	<p>(知・技) ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気づいている。</p> <p>(思・判・表) ・相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ語彙や表現などをもちいてカードに書き写している。</p> <p>(主学) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。</p>	<p>・グリーティングカードを書こう</p> <p>・サンタクロースへ手紙をだそう！</p> <p>・2学期のまとめ</p>	<p>・世界のクリスマスや年末年始の過ごし方をALTと学ぶ</p> <p>・グリーティングカードを書く</p> <p>・サンタクロースへ手紙を書く</p> <p>・友達にインタビューをして紹介文を書く</p> <p>・基本文のまとめ(2学期)</p>
3 学 期	4	<p>(知及技) ・英語の音声を聞いて話したり、簡単な語句や表現などを読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気づくことができる。</p> <p>(思判表力) ・日常生活に関する身近で簡単な事柄を内容とする文章や掲示、パンフレットなどから自分の必要とする情報を得ることができる。</p> <p>(学・人) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。</p>	<p>(知・技) ・英語の音声を聞いて話したり、簡単な語句や表現などを読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気づいている。</p> <p>(思・判・表) ・日常生活に関する身近で簡単な事柄を内容とする文章や掲示、パンフレットなどから自分の必要とする情報を得ることができている。</p> <p>(主学) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。</p>	<p>Unit9 冬休みの思い出 基本文①I visited-. 基本文②I went to-. 基本文③Did you visit-? We did not visit-.</p>	<p>・過去の出来事について話したり、相手に尋ねたりする(基本文①②)</p> <p>・冬休みの出来事についての文章を読む</p>
	4	<p>(知及技) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気づくことができる。</p> <p>(思判表力) ・予定や施設の予約などの場面において身近で簡単な事柄について、自分の要件を伝えたり、簡単な質問をしたり質問に答えたりして伝え合うことができる。</p> <p>(学・人) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。</p>	<p>(知・技) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気づくことができている。</p> <p>(思・判・表) ・予定や施設の予約などの場面において身近で簡単な事柄について、自分の要件を伝えたり、簡単な質問をしたり質問に答えたりして伝え合っている。</p> <p>(主学) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。</p>	<p>・Let's talk(電話)</p> <p>・1年間のまとめ</p>	<p>・ロールプレイ(電話で自分の要件を伝えたり、相手の要件を聞いたりしてみよう)</p> <p>・</p> <p>・基本文のまとめ(1年間の振り返り)</p>
留意点 引継ぎ等					

令和 5年度 高等部 2年 英語科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	2 学年(20名)		BLUE SKY English Course

目標：(知及技)知識及び技能

(思判表力)思考力、判断力、表現力等

(学・人)学びに向かう力・人間性等

評価：(知・技)知識・技能

(思・判・表)思考・判断・表現

(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間 目標		(知及技) 外国語の音声や文字、語彙、表現、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気づくとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身につけるようにする。 (思判表力) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。 (学・人) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮し、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学 期	4	(知及技) ・英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などの違いに気づくことができる。 (思判表力) ・数字や日付などの身近で簡単な事柄について、表示などを参考にしながら具体的な情報を聞き取ることができる。 (学・人) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。	(知・技) ・英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などの違いに気づくことができる。 (思・判・表) ・数字や日付などの身近で簡単な事柄について、表示などを参考にしながら具体的な情報を聞き取ることができる。 (主学) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。	Let's start ・学校での会話を聞こう ・アルファベットを読み書きしよう ・数字を聞いて使ってみよう ・英語を聞いて使ってみよう	・Classroom Englishの練習 ・教科や教室内の英単語の確認 ・アルファベットの読み書き ・数字と日付の言い方の違いの確認 ・今日の日付や誕生日についての会話練習 ・中学校の思い出の行事の発表
	5	(知及技) ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気づくことができる。 (思判表力) ・活字体の大文字、小文字を区別して自己紹介文を書くことができる。 ・簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の得意なことを伝えたり、簡単な質問に答えたりして伝え合うことができる。 (学・人) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。	(知・技) ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで自分の得意なことについて相手に伝えることに気づいている。 (思・判・表) ・活字体の大文字、小文字を区別して自己紹介文を書くことができる。 ・簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の得意なことを伝えたり、簡単な質問に答えたりして伝え合っている。 (主学) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。	Unit1 英語で話そう 基本文①I am-. 基本文②You are-. /Are you-?	・自分の名前をローマ字で書く ・自分の学年と学校名を英語で発表する ・文を書くときのルールに留意して自己紹介文を書く(基本文①) ・相手の得意なことを聞くことができる。(基本文②)
	4	(知及技) ・英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などの違いに気づくことができる。 (思判表力) ・家族や友達などの身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現で話される会話や説明をイラストや写真を参考にしながら聞き、必要な情報を聞き取ることができる。 (学・人) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。	(知・技) ・英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などの違いに気づくことができる。 (思・判・表) ・家族や友達などの身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現で話される会話や説明をイラストや写真を参考にしながら機器、必要な情報を聞き取っている。 (主学) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。	Unit3 学校での会話 基本文①I like-. 基本文②Do you like-? /I do not like-. 基本文③Look-./Don't look-. Let's talk (私も！)	・普段することや好きなことについて話す練習(基本文①) ・普段することや好きなことについて相手に尋ねる練習(基本文②) ・相手に指示するときを使う単語練習(基本文③) ・ロールプレイ(相手の好きなことや自分の好きなことについてのやりとりで相づちをうつ練習) ・基本文まとめ(1学期)

2 学期	5	<p>(知及技)</p> <p>・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで自分の意見や要件が相手に伝わることに気づくことができる。</p> <p>(思判表力)</p> <p>・自分の関する簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話したり、相手に尋ねたりすることができる。</p> <p>(学・人)</p> <p>・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。</p>	<p>(知・技)</p> <p>・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで自分の意見や要件が相手に伝わることに気づいている。</p> <p>(思・判・表)</p> <p>・自分に関する簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話したり、相手に尋ねたりすることができる。</p> <p>(主学)</p> <p>・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。</p>	<p>Unit7 エミリーの言えでの会話 基本文①When does the school year begin?/When is Labor Day? 基本文②Where do they keep-?/Where are their lockers? 基本文③How do they go to-? ・Let’s talk (道案内)</p>	<p>・「いつ」と時を尋ねる練習 (基本文①) ・「どこで」と場所を尋ねる練習 (基本文②) ・「どのように」と方法を尋ねる練習 (基本文③) ・ロールプレイ(疑問詞を使って道案内をしてみよう) ・Labor DayについてALTと学習 ・諸外国の学校の様子について動画学習</p>
---------	---	--	--	--	---

	5	<p>(知及技) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気づくことができる。</p> <p>(思判表力) ・簡単な事柄について、伝えようとした内容を理解した上で、簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。</p> <p>(学・人) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。</p>	<p>(知・技) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの動きがあることに気づいている。</p> <p>(思・判・表) ・簡単な事柄について、伝えようとした内容を理解した上で、簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができている。</p> <p>(主学) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。</p>	<p>・友達にインタビューをしよう！</p> <p>・インタビューの内容をまとめて友達紹介をしよう！</p>	<p>・インタビューの質問例の確認と発音練習</p> <p>・ペアワーク(インタビュー)</p> <p>・インタビューでメモしたことを参考にして相手の紹介カードを作る</p> <p>・紹介カードを交換して感想を伝え合おう</p>
	4	<p>(知及技) ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気づくことができる。</p> <p>(思判表力) ・相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ語彙や表現などをもちいてカードに書き写すことができる。</p> <p>(学・人) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。</p>	<p>(知・技) ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気づいている。</p> <p>(思・判・表) ・相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ語彙や表現などをもちいてカードに書き写している。</p> <p>(主学) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。</p>	<p>・グリーティングカードを書こう</p> <p>・サンタクロースへ手紙をだそう！</p> <p>・2学期のまとめ</p>	<p>・世界のクリスマスや年末年始の過ごし方をALTと学ぶ</p> <p>・グリーティングカードを書く</p> <p>・サンタクロースへ手紙を書く</p> <p>・友達にインタビューをして紹介文を書く</p> <p>・基本文のまとめ(2学期)</p>
3 学 期	4	<p>(知及技) ・英語の音声聞いて話したり、簡単な語句や表現などを読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気づくことができる。</p> <p>(思判表力) ・日常生活に関する身近で簡単な事柄を内容とする文章や掲示、パンフレットなどから自分の必要とする情報を得ることができる。</p> <p>(学・人) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。</p>	<p>(知・技) ・英語の音声聞いて話したり、簡単な語句や表現などを読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気づいている。</p> <p>(思・判・表) ・日常生活に関する身近で簡単な事柄を内容とする文章や掲示、パンフレットなどから自分の必要とする情報を得ることができている。</p> <p>(主学) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。</p>	<p>Unit9 冬休みの思い出</p> <p>基本文①I visited-.</p> <p>基本文②I went to-.</p> <p>基本文③Did you visit- ?/We did not visit-.</p>	<p>・過去の出来事について話したり、相手に尋ねたりする(基本文①②)</p> <p>・冬休みの出来事についての文章を読む</p>
	4	<p>(知及技) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気づくことができる。</p> <p>(思判表力) ・相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句や基本的な表現などを用いて伝え合うことができる。</p> <p>(学・人) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。</p>	<p>(知・技) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気づくことができている。</p> <p>(思・判・表) ・相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句や基本的な表現などを用いて伝え合うことができている。</p> <p>(主学) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。</p>	<p>Let's lieten(CM/News)</p> <p>・1年間のまとめ</p>	<p>・アクティビティ(諸外国のCMやNewsを見て自分に必要な情報を聞き取ろう)</p> <p>・アクティビティ(CM動画を作ってみよう)</p> <p>・基本文のまとめ(1年間の振り返り)</p>
留意点 引継ぎ等					

令和 5年度 高等部 3年 英語科 年間指導計画

単位数 ／配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	3 学年(18名)		BLUE SKY English Course

目標：(知及技)知識及び技能

(思判表力)思考力、判断力、表現力等

(学・人)学びに向かう力・人間性等

評価：(知・技)知識・技能

(思・判・表)思考・判断・表現

(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間 目標		<p>(知及技) 外国語の音声や文字、語彙、表現、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気づくとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身につけるようにする。</p> <p>(思判表力) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。</p> <p>(学・人) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮し、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	4	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none">・英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気づくことができる。 <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none">・数字や日付などの身近で簡単な事柄について、表示などを参考にしながら具体的な情報を聞き取ることができる。 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none">・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none">・英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気づくことができる。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none">・数字や日付などの身近で簡単な事柄について、表示などを参考にしながら具体的な情報を聞き取ることができる。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none">・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。	Let’s start ・学校での会話を聞こう ・アルファベットを読み書きしよう ・数字を聞いて使ってみよう ・英語を聞いて使ってみよう	・Classroom Englishの練習 ・教科や教室内の英単語の確認 ・アルファベットの読み書き ・数字と日付の言い方の違いの確認 ・今日の日付や誕生日についての会話練習 ・中学校の思い出の行事の発表
	5	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none">・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気づくことができる。 <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none">・活字体の大文字、小文字を区別して自己紹介文を書くことができる。・簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の得意なことを伝えたり、簡単な質問に答えたりして伝え合うことができる。 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none">・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none">・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで自分の得意なことについて相手に伝わることに気づいている。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none">・活字体の大文字、小文字を区別して自己紹介文を書くことができる。・簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の得意なことを伝えたり、簡単な質問に答えたりして伝え合っている。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none">・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。	Unit1 英語で話そう 基本文①I am-. 基本文②You are-. /Are you-? ?	・自分の名前をローマ字で書く ・自分の学年と学校名を英語で発表する ・文を書くときのルールに留意して自己紹介文を書く(基本文①) ・相手の得意なことを聞くことができる。(基本文②)
	4	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none">・英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気づくことができる。 <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none">・日付や値段、物の名前などを表す表現や、音声で慣れ親しんだ身近な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができる。 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none">・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none">・英語の音声を聞いて話したり、文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気づくことができる。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none">・日付や値段、物の名前などを表す表現や、音声で慣れ親しんだ身近な事柄について、具体的な情報を聞き取っている。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none">・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。	Unit4 美術館で 基本文①What do you see- ?/What do animal do you see? 基本文②two animals 基本文③How many postcards-? Let’s talk (ショッピング)	・相手が何をするのか尋ねる練習(基本文①) ・二つ以上の数のものについての会話をする(基本文②) ・数がいくつあるのかを尋ねる表現を活用する(基本文③) ・ロールプレイ(値段を尋ねる基本的な表現を使って買い物のやりとりをする) ・基本文まとめ(1学期)

2
学
期

5

(知及技)
・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで自分の意見や要件が相手に伝わることに気づくことができる。
(思判表力)
・自分の関する簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話したり、相手に尋ねたりすることができる。
(学・人)
・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。

(知・技)
・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで自分の意見や要件が相手に伝わることに気づいている。
(思・判・表)
・自分の関する簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話したり、相手に尋ねたりすることができている。
(主学)
・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。

Unit8 ベル先生の買い物
基本文①which do you recommend-?
基本文②Why do you-?
Because-?
基本文③This kotatsu was- ./This kotatsu was not- ./Was this kotatsu-?
・Let’s talk (ファストフード店)

・選ぶ場面にて「どちらを」と尋ねる練習(基本文①)
・「なぜ」と理由を尋ねたり、答える練習(基本文②)
・過去のことを説明する練習(基本文③)
・ロールプレイ(基本文を用いて、飲食店で注文したり、注文を受けたりするやりとりを行う)

	5	<p>(知及技) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気づくことができる。</p> <p>(思判表力) ・簡単な事柄について、伝えようとした内容を理解した上で、簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。</p> <p>(学・人) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。</p>	<p>(知・技) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気づいている。</p> <p>(思・判・表) ・簡単な事柄について、伝えようとした内容を理解した上で、簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができている。</p> <p>(主学) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。</p>	<p>・友達にインタビューをしよう！</p> <p>・インタビューの内容をまとめて友達紹介をしよう！</p>	<p>・インタビューの質問例の確認と発音練習</p> <p>・ペアワーク(インタビュー)</p> <p>・インタビューでメモしたことを参考にして相手の紹介カードを作る</p> <p>・紹介カードを交換して感想を伝え合おう</p>
	4	<p>(知及技) ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気づくことができる。</p> <p>(思判表力) ・相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ語彙や表現などをもちいてカードに書き写すことができる。</p> <p>(学・人) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。</p>	<p>(知・技) ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気づいている。</p> <p>(思・判・表) ・相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ語彙や表現などをもちいてカードに書き写している。</p> <p>(主学) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。</p>	<p>・グリーティングカードを書こう</p> <p>・サンタクロースへ手紙をだそう！</p> <p>・2学期のまとめ</p>	<p>・世界のクリスマスや年末年始の過ごし方をALTと学ぶ</p> <p>・グリーティングカードを書く</p> <p>・サンタクロースへ手紙を書く</p> <p>・友達にインタビューをして紹介文を書く</p> <p>・基本文のまとめ(2学期)</p>
3 学 期	4	<p>(知及技) ・英語の音声を聞いて話したり、簡単な語句や表現などを読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気づくことができる。</p> <p>(思判表力) ・日常生活に関する身近で簡単な事柄を内容とする文章や掲示、パンフレットなどから自分の必要とする情報を得ることができる。</p> <p>(学・人) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。</p>	<p>(知・技) ・英語の音声を聞いて話したり、簡単な語句や表現などを読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気づいている。</p> <p>(思・判・表) ・日常生活に関する身近で簡単な事柄を内容とする文章や掲示、パンフレットなどから自分の必要とする情報を得ることができる。</p> <p>(主学) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。</p>	<p>Unit9 冬休みの思い出</p> <p>基本文①I visited-.</p> <p>基本文②I went to-.</p> <p>基本文③Did you visit-?/We did not visit-.</p> <p>・Let's talk(電話)</p>	<p>・過去の出来事について話したり、相手に尋ねたりする(基本文①②)</p> <p>・冬休みの出来事についての文章を読む</p> <p>・ロールプレイ(電話で自分の要件を伝えたり、相手の要件を聞いたりしてみよう)</p>
	4	<p>(知及技) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気づくことができる。</p> <p>(思判表力) ・相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ語彙などを書き写すことができる。</p> <p>(学・人) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。</p>	<p>(知・技) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気づくことができている。</p> <p>(思・判・表) ・相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ語彙などを書き写すことができている。</p> <p>(主学) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。</p>	<p>・日記を書こう</p> <p>・1年間のまとめ</p>	<p>・日記でよく使う表現の確認</p> <p>・既習の文や単語を組み合わせて、日記を書く</p> <p>・書いた日記を発表してお互いに質問したり、質問に答えたりする</p> <p>・基本文のまとめ(1年間の振り返り)</p>
留意点 引継ぎ等					

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	1学年（20名）		情報Ⅰ 図解と実習 （日本文教出版）

目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等

評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 身近にある情報と情報技術及びこれらを活用して問題を知り、問題を解決する方法について理解し、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて理解できるようにする。 (思判表力) 身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 (学・人) 身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	4	(知及技) ・情報の科目について、どのような学習内容なのかを知るとともに、ICT機器についての操作方を身に付ける。 (思判表力) ・身近な事柄を情報と結び付けて考えるとともに、ICT機器の活用方法を身に付けることができる。	(知・技) ・情報の科目について、どのような学習内容なのかを知るとともに、ICT機器についての操作方を身に付けている。 (思・判・表) ・身近な事柄を情報と結び付けて考えるとともに、ICT機器の活用方法を身に付けることができる。	・教科「情報」とは ・パソコンの基礎 ・ICT機器の活用	・「情報」の科目について知る ・パソコン各部の名称と機能を知る ・パソコン操作の基本を理解する ・ローマ字入力ができる（通年） ・iPadの基本操作を知り、正しい利用方法を知る ・Teamsアプリのインストール、基本操作を学習する
	6	(学・人) ・情報モラルを理解し、配慮するとともに、自らも情報技術を活用することができる。	(主学) ・情報モラルを理解し、配慮するとともに、自らも情報技術を活用することができる。	・ワープロソフトの活用 ・日本語ワープロ検定 ・文書デザイン ・インターネットの基礎	・ワードの画面各部の名称と機能を知る ・操作の基本を理解する ・文章入力、画像の挿入などを学習する ・iPadでウェブアプリの適切な利用方法を知る ・必要な情報の検索ができる
	3			・情報モラル ・1学期のまとめ	・SNSの利活用について話し合い、お互いの経験を共有する ・学んだ学習について振り返る
2 学期	6	(知及技) ・ICT機器のアプリケーションの操作方を身に付けることができる。 (思判表力) ・課題を解決するために、ICT機器を活用する方法を身に付けることができる。 ・著作権などについて学び、情報化社会においてルールや、マナーを身に付けて活用しなければならないことを理解することができる。	(知・技) ・ICT機器のアプリケーションの操作方を身に付けることができる。 (思・判・表) ・課題を解決するために、ICT機器を活用する方法を身に付けることができる。 ・著作権などについて学び、情報化社会においてルールや、マナーを身に付けて活用しなければならないことを理解しようとしている。	・画像の撮影 ・動画アプリの学習	・iPadで校内の写真などを撮る ・imovieアプリの活用
	2			・情報モラル ・著作権や個人情報について	・著作権などについて学習し、情報化社会におけるルールや、マナーの重要性を身に付ける
	6	(学・人) ・学んだ学習を生かし、自ら情報をまとめることができる。	(主学) ・学んだ学習を生かし、自ら情報をまとめることができる。	・表計算ソフトの活用 ・2学期のまとめ	・エクセルの画面各部の名称と機能を知る ・操作の基本を理解する ・数字の入力、関数の活用を学習する ・技能検定（過去問） ・学んだ学習について振り返る
3 学期	5	(知及技) ・動画の編集についてアプリケーションを活用することができる。 (思判表力) ・情報モラルに配慮しながら課題の作成を行うことができる。	(知・技) ・動画の編集についてアプリケーションを活用することができる。 (思・判・表) ・情報モラルに配慮しながら課題の作成を行うことができる。	・プログラミング学習 ・スライド作成	・iPadアプリを利用する ・microbitの構造について ・microbitの操作方法 ・画像を利用して動画作成を行う ・テキストなどを挿入する ・音楽を挿入する
	3	(学・人) ・これまでの学習を振り返るとともに、今後の活用について自ら工夫することができる。	(主学) ・これまでの学習を振り返るとともに、今後の活用について自ら工夫しようとしている。	・iPadのメンテナンス ・1年のまとめ	・iPadの設定を確認する ・これまで学習した内容を振り返り、生活に活かせるようにする

留意点 引継ぎ等	<ul style="list-style-type: none">・授業開始時に、毎回パソコン検定ソフトにてタイピング練習・iPadを活用し、Teamsにて授業内容の説明・iPadを活用し、Formsにて自己評価や振り返りシートの記入
-------------	--

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	2学年（20名）		情報Ⅰ 図解と実習 （日本文教出版）

目標：(知及技)知識及び技能（思判表力)思考力、判断力、表現力等（学・人)学びに向かう力・人間性等

評価：(知・技)知識・技能（思・判・表)思考・判断・表現（主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 身近にある情報と情報技術及びこれらを活用して問題を知り、問題を解決する方法について理解し、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて理解できるようにする。 (思判表力) 身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 (学・人) 身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	4	(知及技) ・情報の科目について、どのような学習内容なのかを知るとともに、ICT機器についての操作方法を身に付ける。 (思判表力) ・身近な事柄を情報と結び付けて考えるとともに、ICT機器の活用方法を身に付けることができる。	(知・技) ・情報の科目について、どのような学習内容なのかを知るとともに、ICT機器についての操作方法を身に付けている。 (思・判・表) ・身近な事柄を情報と結び付けて考えるとともに、ICT機器の活用方法を身に付けることができる。	・パソコンの基礎 (1学年の復習) ・ICT機器の活用	・パソコン各部の名称と機能を知る ・パソコン操作の基本を理解する ・ローマ字入力ができる（通年） ・iPadの基本操作を知り、正しい利用方法を知る
	6	(学・人) ・情報モラルを理解し、配慮するとともに、自らも情報技術を活用することができる。	(主学) ・情報モラルを理解し、配慮するとともに、自らも情報技術を活用することができる。	・ワープロソフトの活用 ・日本語ワープロ検定 ・文書デザイン ・インターネットの基礎	・ワードの画面各部の名称と機能を知る ・操作の基本を理解する ・ローマ字入力で文章を作成し、基本的な書式設定を学習する ・画像や表を挿入し、見やすい文書を作成する ・文書を指定された場所へ保存し印刷をする ・検定に興味を持ち、簡単なビジネス文書を作成する
	3			・インターネットの基礎 ・情報モラル ・1学期のまとめ	・iPadでウェブアプリの適切な利用方法を知る ・必要な情報の検索ができる ・適切なパスワード管理について学習する ・SNSの利活用について話し合い、お互いの経験を共有する ・学んだ学習について振り返る
2 学期	6	(知及技) ・ICT機器のアプリケーションの操作方法を身に付けることができる。 (思判表力) ・課題を解決するために、ICT機器を活用する方法を身に付けることができる。 ・著作権などについて学び、情報化社会においてルールや、マナーを身に付けて活用しなければならないことを理解することができる。	(知・技) ・ICT機器のアプリケーションの操作方法を身に付けることができる。 (思・判・表) ・課題を解決するために、ICT機器を活用する方法を身に付けることができる。 ・著作権などについて学び、情報化社会においてルールや、マナーを身に付けて活用しなければならないことを理解しようとしている。	・画像の撮影 ・動画アプリの学習	・iPadで校内の写真などを撮る ・imovieアプリの活用
	2	(学・人) ・学んだ学習を生かし、自ら情報をまとめることができる。	(主学) ・学んだ学習を生かし、自ら情報をまとめることができる。	・情報モラル ・著作権や個人情報について	・著作権などについて学習し、情報化社会においてのルールや、マナーの重要性を身に付ける
	6			・表計算ソフトの活用 ・2学期のまとめ	・エクセルの画面各部の名称と機能を知る ・操作の基本を理解する ・数字の入力、関数の活用を学習する ・技能検定（過去問） ・学んだ学習について振り返る
3 学期	5	(知及技) ・動画の編集についてアプリケーションを活用することができる。 (思判表力) ・情報モラルに配慮しながら課題の作成を行うことができる。	(知・技) ・動画の編集についてアプリケーションを活用することができる。 (思・判・表) ・情報モラルに配慮しながら課題の作成を行うことができる。	・プログラミング学習 ・スライド作成	・iPadアプリを利用する ・microbitの構造について ・microbitの操作方法 ・画像を利用して動画作成を行う ・テキストなどを挿入する ・音楽を挿入する
	3	(学・人) ・これまでの学習を振り返るとともに、今後の活用について自ら工夫することができる。	(主学) ・これまでの学習を振り返るとともに、今後の活用について自ら工夫しようとしている。	・iPadのメンテナンス ・1年のまとめ	・iPadの設定を確認する ・これまで学習した内容を振り返り、生活に活かせるようにする
留意点 引継ぎ等		・授業開始時に、毎回パソコン検定ソフトにてタイピング練習 ・iPadを活用し、Teamsにて授業内容の説明 ・iPadを活用し、Formsにて自己評価や振り返りシートの記入			

R5年度 年間学習指導計画 第3学年 教科名「情報」週時数（1時間）

目標	情報に関する科学的な見方、考え方を働かせ、効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について理解し、情報社会に主体的、協働的に参画するための資質・能力を育成する。					
学期 時数	月	単元・題材	単元目標	指導内容	教材・教具等	基礎的・基本的事項
1 学期 13 h	4 ～ 7 月	パソコンの基礎 (2学年の復習)	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン各部の名称と機能を知る。 ・パソコン操作の基本を理解する。 ・ローマ字入力ができる。(通年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・キーの名称と機能 ・マウスの操作方法 ・ハードウェアとソフトウェア ・タイピング練習(通年) 	パソコンー式 プロジェクター スクリーン テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の指示に従い、集中し最後まで課題に取り組む。 ・キーボードとマウスの操作の基本がわかる。 ・文字入力の切り替え操作や、パソコンの起動や終了を正しく行うことができる。
		ワードプロセッサの 活用と応用	<ul style="list-style-type: none"> ・画面各部の名称と機能を知る。 ・操作の基本を理解する。 ・与えられた課題を作成できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Wordの画面構成 ・文章入力、書式設定 ・文書、ポスター作成 ・ファイル保存、印刷 ・ワープロ検定の練習 	パソコンー式 プロジェクター スクリーン テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・ローマ字入力で文章を作成し、基本的な書式を設定できる。 ・画像や表を挿入し、見やすい文書を作成できる。 ・文書を適切な設定で印刷や保存することができる。 ・検定に興味を持ち、簡単なビジネス文書を作成できる。
		インターネットとコ ミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを知り、適切な利用方法及びコミュニケーションの方法について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットへの接続 ・メールによるコミュニケーション ・SNSの仕組みについて ・コミュニケーションの種類 	テキスト 学習ノート パソコン iPad	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークの仕組みを知ることができる。 ・インターネットの正しい利用方法を知る。 ・SNSの適切な利用方法について理解することができる。 ・サイバー犯罪の種類について理解することができる。
2 学期 16 h	9 ～ 12 月	情報テクノロジー	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの仕組みを知り、主な装置の役割を知ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5大装置の学習 ・基礎変数 ・プロトコルについて ・アプリケーションについて 	テキスト 学習ノート ハードディスク	<ul style="list-style-type: none"> ・主な装置の仕組みを知ることができる。 ・主なアプリケーションの操作を理解することができる。 ・ファイルサイズについて理解して、単位変換ができる。
		情報モラルと情報セ キュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ・Webページ利用上の注意点や携帯電話の適切な利用方法を理解する。 ・著作権や個人情報について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報 ・プライバシーの保護 ・著作権 ・インターネットの問題点 	テキスト 学習ノート パソコン iPad	<ul style="list-style-type: none"> ・Webページで信頼できる情報を見極めることができる。 ・掲示板やSNSの注意すべき点を理解する。 ・肖像権やパブリシティ権について理解する。
		表計算ソフトの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・画面各部の名称と機能を知る。 ・操作の基本を理解する。 ・計算式の入力方法を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Excelの画面構成 ・文章入力、計算式の入力 ・書式設定、グラフ作成 ・ファイル保存、印刷 	パソコンー式 プロジェクター スクリーン テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・セル配置やフォントの変更ができる。 ・グラフや図形を挿入することができる。 ・簡単な関数の挿入について理解することができる。
3 学期 6 h	1 ～ 2 月	コンピュータとプログ ラミング	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミングの基本的な方法を知る。 ・簡単なアルゴリズムを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・microbitの構造について ・microbitの操作方法 ・コード作成 ・他の教科で活用する 	パソコンー式 microbit スピーカー コードエディタ	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミングの基礎知識を身に付けることができる。 ・論理的思考を養う。 ・成果物を実際の学校生活で活用する。
		学習のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・学習したことを生活に活かせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで学習した内容の確認 	パソコンー式	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで学習した内容を復習しながら、与えられた課題を製作することができる。
年 て 間 行 を う 通 し	4 ～ 2 月	iPadの基本操作、活 用 Teams等の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・iPadの基本操作を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習アプリのインストール ・Teamsで自己評価、振り返りシートの記入 ・写真、動画アプリの活用 ・情報モラルについて 	iPad Applepencil Apple TV TVモニター	<ul style="list-style-type: none"> ・iPadの基本操作を知り、正しい利用方法を知る。 ・Teamsの基本操作を知り、アンケートや自己評価、課題の提出方法を学習する。 ・他教科の授業や日常生活でも活用できるようにする。
総授業時数（35）時間						

R5年度 第1学年 教科「農業(農園芸)」 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	1学年 生徒20名		

目標：(知及技)知識及び技能(思判表力)思考力、判断力、表現力等(学・人)学びに向かう力・人間性等

評価：(知・技)知識・技能(思・判・表)思考・判断・表現(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)農業に関することについて理解しているとともに、関連する技術を身に付けることができる。 (思判表力)農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を身に付けることができる。 (学・人)職業人として必要な人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	20	(知及技)産業社会における農業の意義と役割などについて理解し、職業生活に必要なとなる知識、技術を身につけることができる。 (思判表力)農業を通して地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する職業人となる視点から、よりよい作物等の栽培などをするために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人)農業の意義と役割について自ら学び、農業生産物の栽培と管理に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技)産業社会における農業の意義と役割などについて理解し、職業生活に必要なとなる知識、技術を身につけている。 (思・判・表)農業を通して地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する職業人となる視点から、よりよい作物等の栽培などをするために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現している。 (主学)農業の意義と役割について自ら学び、農業生産物の栽培と管理に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	(1)農業の概要 ア 農業の意義と役割 イ 農業の基礎 ウ 農機具や農業機械、コンピュータ等の情報機器の取扱い (2)農業生物の栽培と管理 イ 野菜の種類と特徴 エ 草花の種類と特徴 オ 栽培と管理の工程	(1)農業の概要 ア 野菜の種類と栽培について。 イ 作業に適切な服装、挨拶・返事、働くために必要な態度について。 ウ クワやスコップ、剪定バサミなどの農機具、耕耘機などの農業機械について、名称や用途について。 (2)農業生物の栽培と管理 イ野菜(ニラ、はつかネギ、ナス、キュウリ、豆類等)の栽培と管理 エ草花(トレニア、マリーゴールド、コリウス窓)の栽培と管理 オ野菜、草花の栽培計画、栽培に関する知識及び農地の管理、種まき、育苗、除草、追肥などの栽培と管理。
2 学期	30	(知及技)農業生物の種類と基本的な特徴について理解し、農作物を生産する上での栽培と管理に係わる知識、技術を身につけることができる。 (思判表力)農業生物の生産において、よりよい生産物を栽培するために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人)農業生物の栽培と管理について自ら学び、生産物の栽培と管理に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技)農業生物の種類と基本的な特徴について理解しているとともに、農作物を生産する上での栽培と管理に係わる知識、技術を身につけている。 (思・判・表)農業生物の生産において、よりよい生産物を栽培するために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現している。 (主学)農業生物の栽培と管理について自ら学び、生産物の栽培と管理に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	(2)農業生物の栽培と管理 イ 野菜の種類と特徴 エ 草花の種類と特徴 オ 栽培と管理の工程	(2)農業生物の栽培と管理 イ 野菜(ダイコン、キャベツ、ジャガイモ、レタス等)の栽培と管理。 エ 草花(ペゴニア、パンジー、マリーゴールド、ビオラ等)の栽培と管理 オ 野菜・草花に関する栽培計画、栽培に関する知識及び農地の管理、種まき、育苗、除草追肥などの栽培と管理、収穫生産物の販売。
3 学期	20	(知及技)農業生物の種類と基本的な特徴について理解し、農作物を生産する上での栽培と管理に係わる知識、技術を身につけることができる。 (思判表力)農業生物の生産において、よりよい生産物を栽培するために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人)農業生物の栽培と管理について自ら学び、生産物の栽培と管理に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技)農業生物の種類と基本的な特徴について理解しているとともに、農作物を生産する上での栽培と管理に係わる知識、技術を身につけている。 (思・判・表)農業生物の生産において、よりよい生産物を栽培するために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現している。 (主学)農業生物の栽培と管理について自ら学び、生産物の栽培と管理に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	(2)農業生物の栽培と管理 イ 野菜の種類と特徴 エ 草花の種類と特徴 オ 栽培と管理の工程	(2)農業生物の栽培と管理 イ 野菜(ダイコン、キャベツ、ジャガイモ、レタス等)の栽培と管理。 エ 草花(ペゴニア、パンジー、マリーゴールド、ビオラ等)の栽培と管理 オ 野菜・草花に関する栽培計画、栽培に関する知識及び農地の管理、種まき、育苗、除草追肥などの栽培と管理、収穫生産物の販売。
留意点 引継ぎ等		[基礎的・基本的事項] ・熱中症対策で、水分補給をしっかりとることができる。 ・忘れ物をせず、服装を整えて作業に参加できる。 ・色々な農具や器具の名称を覚え、安全に使用することができる ・教師の指示通りに作業することができる。 ・分からない時は質問できる。 ・報告・連絡・相談ができる。 ・道具の準備・後片付けができる。 ・与えられた仕事を最後まで責任を持って行う。 ・仲間と協力して作業する。 ・野菜の栽培→収穫→販売の一連の流れを理解し、作業意欲を高める。			

R5年度 第2学年「農業(農園芸)」 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
4/140	2学年 生徒6名		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)農業に関することについて理解しているとともに、関連する技術を身に付けることができる。 (思判表力)農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を身に付けることができる。 (学・人)よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	52	(知及技)農業が社会で果たしている意義と役割などについて理解し、職業生活に必要な技術を身に付けることができる。 (思判表力)農業を通して地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する職業人となる視点から、よりよい作物等の栽培などをするために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人)農業の意義と役割について自ら学ぶことができる。	(知・技)農業が社会で果たしている意義と役割などについて理解するとともに、職業生活に必要な技術を身に付けている。 (思・判・表)農業を通して地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する職業人となる視点から、よりよい作物等の栽培などをするために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現している。 (主学)農業の意義と役割について自ら学んでいる。	(1)農業の概要 ア 農業の意義と役割 イ 農業の基礎 ウ 農機具や農業機械、コンピュータ等の情報機器の取扱い (2)農業生物の栽培と管理 イ 野菜の種類と特徴 エ 草花の種類と特徴 オ 栽培と管理の工程	(1)農業の概要 ア 県産野菜の種類と栽培について。 イ 作業に適切な服装、挨拶・返事、働くために必要な態度について。 ウ クワやスコップなどの農機具、耕耘機やトラクターなどの農業機械について、名称や用途について。 (2)農業生物の栽培と管理 イ 夏野菜の栽培と管理。 エ 夏の草花の栽培と管理 オ 野菜・草花に関する栽培計画、栽培に関する知識及び農地の管理、種まき、育苗、除草追肥などの栽培と管理。
2 学期	56	(知及技)農業生物の種類と基本的な特徴について理解し、農作物を生産する上での栽培と管理に係わる技術を身に付けることができる。 (思判表力)農業生物の生産において、よりよい生産物を栽培するために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人)農業生物の栽培と管理について自ら学び、生産物の栽培と管理に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技)農業生物の種類と基本的な特徴について理解しているとともに、農作物を生産する上での栽培と管理に係わる技術を身に付けている。 (思・判・表)農業生物の生産において、よりよい生産物を栽培するために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現している。 (主学)農業生物の栽培と管理について自ら学び、生産物の栽培と管理に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	(2)農業生物の栽培と管理 イ 野菜の種類と特徴 エ 草花の種類と特徴 オ 栽培と管理の工程	(2)農業生物の栽培と管理 イ 冬野菜の栽培と管理。 エ 秋冬の草花(ペゴニア、パンジー、ビオラ等)の栽培と管理 オ 野菜・草花に関する栽培計画、栽培に関する知識及び農地の管理、種まき、育苗、除草追肥などの栽培と管理、収穫生産物の販売。 カ 行事(卒業式・入学式)に向けた草花の栽培
3 学期	32	(知及技)農業生物の種類と基本的な特徴について理解し、農作物を生産する上での栽培と管理に係わる技術を身に付けることができる。 (思判表力)農業生物の生産において、よりよい生産物を栽培するために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人)農業生物の栽培と管理について自ら学び、生産物の栽培と管理に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技)農業生物の種類と基本的な特徴について理解しているとともに、農作物を生産する上での栽培と管理に係わる技術を身に付けている。 (思・判・表)農業生物の生産において、よりよい生産物を栽培するために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現している。 (主学)農業生物の栽培と管理について自ら学び、生産物の栽培と管理に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	(2)農業生物の栽培と管理 イ 野菜の種類と特徴 エ 草花の種類と特徴 オ 栽培と管理の工程	(2)農業生物の栽培と管理 イ 冬野菜(人参、ダイコン、キャベツ、ブロッコリー、等)の栽培と管理。 エ 夏の草花(ペゴニア、パンジー、ビオラ等)の栽培と管理 オ 野菜・草花に関する栽培計画、栽培に関する知識及び農地の管理、種まき、育苗、除草追肥などの栽培と管理、収穫生産物の販売。 カ 行事(卒業式・入学式)に向けた草花の栽培
留意点 引継ぎ等		[基礎的・基本的事項] ・忘れ物をせず、服装を整えて作業に参加できる。 ・色々な農具や器具の名称を覚え、安全に使用することができる ・教師の指示通りに作業することができる。 ・分からない時は質問できる。 ・報告・連絡・相談ができる。 ・道具の準備・後片付けができる。 ・与えられた仕事を最後まで責任を持って行う。 ・仲間と協力して作業する。 ・野菜の栽培→収穫→販売の一連の流れを理解し、作業意欲を高める。			

R5年度 第3学年「農業(農園芸)」 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
8/280	3学年 生徒6名		

目標：(知及技)知識及び技能(思判表力)思考力、判断力、表現力等(学・人)学びに向かう力・人間性等

評価：(知・技)知識・技能(思・判・表)思考・判断・表現(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)農業に関することについて理解しているとともに、関連する技術を身に付けることができる。 (思判表力)農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を身に付けることができる。 (学・人)よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	104	(知及技)農業が社会で果たしている意義と役割などについて理解し、職業生活に必要な技術を身に付けることができる。 (思判表力)農業を通して地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する職業人となる視点から、よりよい作物等の栽培などをするために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人)農業の意義と役割について自ら学ぶことができる。	(知・技)農業が社会で果たしている意義と役割などについて理解するとともに、職業生活に必要な技術を身に付けている。 (思・判・表)農業を通して地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する職業人となる視点から、よりよい作物等の栽培などをするために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現している。 (主学)農業の意義と役割について自ら学んでいる。	(1)農業の概要 ア 農業の意義と役割 イ 農業の基礎 ウ 農機具や農業機械、コンピュータ等の情報機器の取扱い (2)農業生物の栽培と管理 イ 野菜の種類と特徴 エ 草花の種類と特徴 オ 栽培と管理の工程	(1)農業の概要 ア 県産野菜の種類と栽培について。 イ 作業に適切な服装、挨拶・返事、働くために必要な態度について。 ウ クワやスコップなどの農機具、耕耘機やトラクターなどの農業機械について、名称や用途について。 (2)農業生物の栽培と管理 イ 夏野菜の栽培と管理。 エ 夏の草花の栽培と管理 オ 野菜・草花に関する栽培計画、栽培に関する知識及び農地の管理、種まき、育苗、除草追肥などの栽培と管理。
2 学期	112	(知及技)農業生物の種類と基本的な特徴について理解し、農作物を生産する上での栽培と管理に係わる技術を身に付けることができる。 (思判表力)農業生物の生産において、よりよい生産物を栽培するために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人)農業生物の栽培と管理について自ら学び、生産物の栽培と管理に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技)農業生物の種類と基本的な特徴について理解しているとともに、農作物を生産する上での栽培と管理に係わる技術を身に付けている。 (思・判・表)農業生物の生産において、よりよい生産物を栽培するために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現している。 (主学)農業生物の栽培と管理について自ら学び、生産物の栽培と管理に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	(2)農業生物の栽培と管理 イ 野菜の種類と特徴 エ 草花の種類と特徴 オ 栽培と管理の工程	(2)農業生物の栽培と管理 イ 冬野菜の栽培と管理。 エ 秋冬の草花(ペゴニア、パンジー、ビオラ等)の栽培と管理 オ 野菜・草花に関する栽培計画、栽培に関する知識及び農地の管理、種まき、育苗、除草追肥などの栽培と管理、収穫生産物の販売。 カ 行事(卒業式・入学式)に向けた草花の栽培
3 学期	64	(知及技)農業生物の種類と基本的な特徴について理解し、農作物を生産する上での栽培と管理に係わる技術を身に付けることができる。 (思判表力)農業生物の生産において、よりよい生産物を栽培するために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人)農業生物の栽培と管理について自ら学び、生産物の栽培と管理に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技)農業生物の種類と基本的な特徴について理解しているとともに、農作物を生産する上での栽培と管理に係わる技術を身に付けている。 (思・判・表)農業生物の生産において、よりよい生産物を栽培するために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現している。 (主学)農業生物の栽培と管理について自ら学び、生産物の栽培と管理に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	(2)農業生物の栽培と管理 イ 野菜の種類と特徴 エ 草花の種類と特徴 オ 栽培と管理の工程	(2)農業生物の栽培と管理 イ 冬野菜(人参、ダイコン、キャベツ、ブロッコリー、等)の栽培と管理。 エ 夏の草花(ペゴニア、パンジー、ビオラ等)の栽培と管理 オ 野菜・草花に関する栽培計画、栽培に関する知識及び農地の管理、種まき、育苗、除草追肥などの栽培と管理、収穫生産物の販売。 カ 行事(卒業式・入学式)に向けた草花の栽培
留意点 引継ぎ等		[基礎的・基本的事項] ・忘れ物をせず、服装を整えて作業に参加できる。 ・色々な農具や器具の名称を覚え、安全に使用することができる ・教師の指示通りに作業することができる。 ・分からない時は質問できる。 ・報告・連絡・相談ができる。 ・道具の準備・後片付けができる。 ・与えられた仕事を最後まで責任を持って行う。 ・仲間と協力して作業する。 ・野菜の栽培→収穫→販売の一連の流れを理解し、作業意欲を高める。			

R5年度 第1学年 教科「農業(食品加工)」 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	1学年 生徒20名		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度 添削

年間目標		(知及技) 農業に関することについて理解しているとともに、関連する技術を身に付けることができる。 (思判表力) 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を身に付けることができる。 (学・人) よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	8	(知及技) 農業が社会で果たしている意義と役割などについて理解し、職業生活に必要な技術を身に付けることができる。 (思判表力) 農業を通して地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する職業人となる視点から、よりよい作物等の栽培などをするために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人) 農業の意義と役割について自ら学ぶことができる。	(知・技) 農業が社会で果たしている意義と役割などについて理解するとともに、職業生活に必要な技術を身に付けている。 (思・判・表) 農業を通して地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する職業人となる視点から、よりよい作物等の栽培などをするために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現している。 (主学) 農業の意義と役割について自ら学んでいる。	(1) 食品加工の概要 ア 食品加工の意義と役割 イ 食品加工の基礎 ウ 食品加工に関する機械、コンピューター等の情報機器の取扱い	(1) 農業の概要 ア 食品加工の種類と定義について。 イ 作業に適切な服装、挨拶・返事、働くために必要な態度について。 ウ 食品加工に関する機械、計量器、通信機器などの名称、その用途、操作手順、保管・管理について。
	18	(知及技) 食品加工の種類と基本的な特徴について理解し、農作物を生産する上での栽培と管理に係わる技術を身につけることができる。 (思判表力) 食品加工の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人) 食品加工の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技) 食加工の種類と基本的な特徴について理解しているとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身につけている。 (思・判・表) 食品加工の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現している。 (主学) 食品加工の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	(2) 食品の加工と管理 ア 食品加工の種類と特徴 イ 食品の加工と管理の工程	(2) 食品の加工と管理 ア パン類、菓子類、沖縄そば、うどんなどの麺類、豆腐、味噌などの大豆製品、漬け物類、切り干し大根、梅干し、ジャム、チーズ、バターなどの乳製品などの特徴について。 イ 食品製造における衛生に関する知識、穀類、大豆などの加工、乳製品、食品の包装、販売などに関する知識と技術、身支度や実習の準備、後片付けなど、食品の加工を行う上での管理と工程について。
2 学	8	農業が社会で果たしている意義と役割などについて理解し、職業生活に必要な技術を身につけることができる。 (思判表力) 農業を通して地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する職業人となる視点から、よりよい作物等の栽培などをするために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 農業の意義と役割について自ら学ぶことができる。	(知・技) 農業が社会で果たしている意義と役割などについて理解するとともに、職業生活に必要な技術を身に付けている。 (思・判・表) 農業を通して地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する職業人となる視点から、よりよい作物等の栽培などをするために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現している。 (主学) 農業の意義と役割について自ら学んでいる。	(1) 食品加工の概要 ア 食品加工の意義と役割 イ 食品加工の基礎 ウ 食品加工に関する機械、コンピューター等の情報機器の取扱い	(1) 農業の概要 ア 食品加工の種類と定義について。 イ 作業に適切な服装、挨拶・返事、働くために必要な態度について。 ウ 食品加工に関する機械、計量器、通信機器などの名称、その用途、操作手順、保管・管理について。

1 期	20	(知及技) 食品加工の種類と基本的な特徴について理解し、農作物を生産する上での栽培と管理に係わる技術を身につけることができる。 (思判表力)食品加工の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人)食品加工の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技) 食加工の種類と基本的な特徴について理解しているとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身につけている。 (思・判・表)食品加工の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現している。 (主学)食品加工の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	(2) 食品の加工と管理 ア食品加工の種類と特徴 イ食品の加工と管理の工程	(2) 食品の加工と管理 ア パン類、菓子類、沖縄そば、うどんなどの麺類、豆腐、味噌などの大豆製品、漬け物類、切り干し大根、梅干し、ジャム、チーズ、バターなどの乳製品などの特徴について。 イ 食品製造における衛生に関する知識、穀類、大豆、などの加工、食品の包装、販売などに関する知識と技術、身支度や実習の準備、後片付けなど、食品の加工を行う上での管理と工程について。
	4	(知及技)農業が社会で果たしている意義と役割などについて理解し、職業生活に必要なとなる技術を身につけることができる。 (思判表力)農業を通して地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する職業人となる視点から、よりよい作物等の栽培などをするために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人)農業の意義と役割について自ら学ぶことができる。	(知・技) 農業が社会で果たしている意義と役割などについて理解するとともに、職業生活に必要なとなる技術を身につけている。 (思・判・表)農業を通して地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する職業人となる視点から、よりよい作物等の栽培などをするために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現している。 (主学)農業の意義と役割について自ら学んでいる。	(1) 食品加工の概要 ア 食品加工の意義と役割 イ 食品加工の基礎 ウ 食品加工に関する機械、コンピューター等の情報機器の取扱い	(1) 農業の概要 ア 食品加工の種類と定義について。 イ 作業に適切な服装、挨拶・返事、働くために必要な態度について。 ウ 食品加工に関する機械、計量器、通信機器などの名称、その用途、操作手順、保管・管理について。
3 学期	12	(知及技) 食品加工の種類と基本的な特徴について理解し、農作物を生産する上での栽培と管理に係わる技術を身につけることができる。 (思判表力)食品加工の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人)(学・人)食品加工の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技) 食加工の種類と基本的な特徴について理解しているとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身につけている。 (思・判・表)食品加工の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現している。 (主学)食品加工の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	(2) 食品の加工と管理 ア食品加工の種類と特徴 イ食品の加工と管理の工程	(2) 食品の加工と管理 ア パン類、菓子類、沖縄そば、うどんなどの麺類、豆腐、味噌などの大豆製品、漬け物類、切り干し大根、梅干し、ジャム、チーズ、バターなどの乳製品などの特徴について。 イ 食品製造における衛生に関する知識、パンの製造、食品の包装、販売などに関する知識と技術、身支度や実習の準備、後片付けなど、食品の加工を行う上での管理と工程について。
留意点 引継ぎ等		[基礎的・基本的事項] ・忘れ物をせず、服装を整えて作業に参加できる。 ・色々な調理器具の名称を覚え、安全に使用することができる ・教師の指示通りに作業することができる。 ・分からない時は質問できる。 ・報告・連絡・相談ができる。 ・道具の準備・後片付けができる。 ・与えられた仕事を最後まで責任を持って行う。 ・仲間と協力して作業する。 ・食品の加工→包装→販売の一連の流れを理解し、作業意欲を高める。			

R5年度 第2学年 教科「農業(食品加工)」 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
8/280	2学年 生徒10名		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食品加工に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (知及び技)食品加工について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けることができる。 (思判表力)食品加工に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けることができる。 (学・人)食品加工について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及び技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができる。 (思判表力)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができたか。 (思・判・表)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができたか。 (主学)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができたか。	(1)食品加工の基礎 ア 身だしなみ、態度 イ 食品衛生 ウ 校外学習	(1)食品加工の基礎 ア 作業に適切な服装、挨拶・返事、働くために必要な態度について学習する。 イ 食品衛生が、食品の安全性や品質を確保するとともに、人の生命と健康を守ることを目的としていることを学習する。 ウ 製パン、菓子・ケーキ、その他加工食品等の食品加工工場における、職人の手仕事や生産ラインを実際に見学し、製品に入った原材料や製造ラインを具体的にイメージし、食品の加工と管理の工程について学習する。
	84	(知及び技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができる。 (思判表力)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができたか。 (思・判・表)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができたか。 (主学)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができたか。	(2)食品の加工と管理の工程 ア 食品の加工 イ 食品の加工と管理の工程	(2)食品の加工と管理の工程 ア パン類、菓子類の加工実習。 イ 食品製造における衛生に関する知識、パンや菓子類などの加工、食品の包装、販売などに関する知識と技術、身支度や実習の準備、後片付けなど、食品の加工を行う上での管理と工程について実習を通して学習する。
2 学期	24	(知及び技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができる。 (思判表力)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができたか。 (思・判・表)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができたか。 (主学)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができたか。	(1)食品加工の基礎 ア 食中毒 イ 食品の分類 ウ 校外学習	(1)食品加工の基礎 ア 食中毒の定義を理解し、食中毒の発生状況及び食中毒にも食中毒菌による食中毒だけでなく、様々な種類があることを学習する。 イ 食品の分類が、農産物・畜産物・水産物による大別のほか、食品成分表や加工法により分類されることを学習する。 ウ 製パン、菓子・ケーキ、その他加工食品等の食品加工工場における、職人の手仕事や生産ラインを実際に見学し、製品に入った原材料や製造ラインを具体的にイメージし、食品の加工と管理の工程について学習する。
	90	(知及び技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができる。 (思判表力)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができたか。 (思・判・表)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができたか。 (主学)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができたか。	(2)食品の加工と管理の工程 ア 食品の加工 イ 食品の加工と管理の工程	(2)食品の加工と管理の工程 ア パン類、菓子類の加工実習。 イ 食品製造における衛生に関する知識、パンや菓子類などの加工、食品の包装、販売などに関する知識と技術、身支度や実習の準備、後片付けなど、食品の加工を行う上での管理と工程について実習を通して学習する。

3 学 期	12	(知及び技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができる。 (思判表力)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができたか。 (思・判・表)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができたか。 (主学)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができたか。	(1)食品加工の基礎 ア 食品加工の種類と特徴 イ 食品加工に関する機械、コンピューター等の情報機器の取扱い ウ 校外学習	(1)食品加工の基礎 ア パン類、菓子類、沖縄そば、うどんなどの麺類、豆腐、味噌などの大豆製品、漬け物類、切り干し大根、梅干し、ジャム、チーズ、バターなどの乳製品などの特徴について。 イ 食品加工に関する機械、計量器などの名称、その用途、操作手順、保管・管理について。 ウ 製パン、菓子・ケーキ、その他加工食品等の食品加工工場における、職人の手仕事や生産ラインを実際に見学し、製品に入った原材料や製造ラインを具体的にイメージし、食品の加工と管理の工程について学習する。
	46	(知及び技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができる。 (思判表力)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができたか。 (思・判・表)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができたか。 (主学)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができたか。	(2)食品の加工と管理の工程 ア 食品の加工 イ 食品の加工と管理の工程	(2)食品の加工と管理の工程 ア パン類、菓子類の加工実習。 イ 食品製造における衛生に関する知識、パンや菓子類などの加工、食品の包装、販売などに関する知識と技術、身支度や実習の準備、後片付けなど、食品の加工を行う上での管理と工程について実習を通して学習する。
留意点 引継ぎ等		[基礎的・基本的事項] ・忘れ物をせず、服装を整えて作業に参加できる。 ・色々な調理器具の名称を覚え、安全に使用することができる。 ・教師の指示通りに作業することができる。 ・分からない時は質問できる。 ・報告・連絡・相談ができる。 ・道具の準備・後片付けができる。 ・与えられた仕事を最後まで責任を持って行う。 ・仲間と協力して作業する。 ・食品の加工→包装→販売の一連の流れを理解し、意欲的に作業に参加することができる。			

R5年度 第3学年 教科「農業(食品加工)」 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
8/280	3学年 生徒6名		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食品加工に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (知及び技)食品加工について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けることができる。 (思判表力)食品加工に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けることができる。 (学・人)食品加工について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができる。 (思判表力)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができるか。 (思・判・表)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができたか。 (主学)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができたか。	(1)食品加工の基礎 ア 身だしなみ、態度 イ 食品衛生 ウ 校外学習	(1)食品加工の基礎 ア 作業に適切な服装、挨拶・返事、働くために必要な態度について学習する。 イ 食品衛生が、食品の安全性や品質を確保するとともに、人の生命と健康を守ることを目的としていることを学習する。 ウ 製パン、菓子・ケーキ、その他加工食品等の食品加工工場における、職人の手仕事や生産ラインを実際に見学し、製品に入った原材料や製造ラインを具体的にイメージし、食品の加工と管理の工程について学習する。
	84	(知及技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができる。 (思判表力)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができるか。 (思・判・表)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができたか。 (主学)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができたか。	(2)食品の加工と管理の工程 ア 食品の加工 イ 食品の加工と管理の工程	(2)食品の加工と管理の工程 ア パン類、菓子類の加工実習。 イ 食品製造における衛生に関する知識、パンや菓子類などの加工、食品の包装、販売などに関する知識と技術、身支度や実習の準備、後片付けなど、食品の加工を行う上での管理と工程について実習を通して学習する。
2学期	24	(知及技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができる。 (思判表力)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができるか。 (思・判・表)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができたか。 (主学)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができたか。	(1)食品加工の基礎 ア 食中毒 イ 食品の分類 ウ 校外学習	(1)食品加工の基礎 ア 食中毒の定義を理解し、食中毒の発生状況及び食中毒にも食中毒菌による食中毒だけでなく、様々な種類があることを学習する。 イ 食品の分類が、農産物・畜産物・水産物による大別のほか、食品成分表や加工法により分類されることを学習する。 ウ 製パン、菓子・ケーキ、その他加工食品等の食品加工工場における、職人の手仕事や生産ラインを実際に見学し、製品に入った原材料や製造ラインを具体的にイメージし、食品の加工と管理の工程について学習する。
	90	(知及技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができる。 (思判表力)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができるか。 (思・判・表)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができたか。 (主学)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができたか。	(2)食品の加工と管理の工程 ア 食品の加工 イ 食品の加工と管理の工程	(2)食品の加工と管理の工程 ア パン類、菓子類の加工実習。 イ 食品製造における衛生に関する知識、パンや菓子類などの加工、食品の包装、販売などに関する知識と技術、身支度や実習の準備、後片付けなど、食品の加工を行う上での管理と工程について実習を通して学習する。

3 学 期	12	(知及技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができる。 (思判表力)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができたか。 (思・判・表)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができたか。 (主学)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができたか。	(1)食品加工の基礎 ア 食品加工の種類と特徴 イ 食品加工に関する機械、コンピューター等の情報機器の取扱い ウ 校外学習	(1)食品加工の基礎 ア パン類、菓子類、沖縄そば、うどんなどの麺類、豆腐、味噌などの大豆製品、漬け物類、切り干し大根、梅干し、ジャム、チーズ、バターなどの乳製品などの特徴について。 イ 食品加工に関する機械、計量器などの名称、その用途、操作手順、保管・管理について。 ウ 製パン、菓子・ケーキ、その他加工食品等の食品加工工場における、職人の手仕事や生産ラインを実際に見学し、製品に入った原材料や製造ラインを具体的にイメージし、食品の加工と管理の工程について学習する。
	46	(知及技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができる。 (思判表力)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができたか。 (思・判・表)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができたか。 (主学)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができたか。	(2)食品の加工と管理の工程 ア 食品の加工 イ 食品の加工と管理の工程	(2)食品の加工と管理の工程 ア パン類、菓子類の加工実習。 イ 食品製造における衛生に関する知識、パンや菓子類などの加工、食品の包装、販売などに関する知識と技術、身支度や実習の準備、後片付けなど、食品の加工を行う上での管理と工程について実習を通して学習する。
留意点 引継ぎ等		[基礎的・基本的事項] ・忘れ物をせず、服装を整えて作業に参加できる。 ・色々な調理器具の名称を覚え、安全に使用することができる。 ・教師の指示通りに作業することができる。 ・分からない時は質問できる。 ・報告・連絡・相談ができる。 ・道具の準備・後片付けができる。 ・与えられた仕事を最後まで責任を持って行う。 ・仲間と協力して作業する。 ・食品の加工→包装→販売の一連の流れを理解し、意欲的に作業に参加することができる。			

令和4年度 1年 年間指導計画「トータルクリーニング」

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	1学年（20名）		

目標：(知及技)知識及び技能（思判表力)思考力、判断力、表現力等（学・人)学びに向かう力・人間性等

評価：(知・技)知識・技能（思・判・表)思考・判断・表現（主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 清掃に関することについて理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。 (思判表力)清掃サービス業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養う。 (学・人)職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	(知及技) ・清掃業務の内容と特徴を理解し、関連する技術を身につけることができる。 (思判表力) ・清掃業務に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、主体的に課題を解決することができる。 (学・人) ・職業人として必要な豊かな人間性を育み。社会貢献に主体的にかつ協働的に取り組むことができる。	(知・技) ・清掃業務の内容と特徴を理解し、関連する技術を身につけている。 (思・判・表) ・清掃業務に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、主体的に課題を解決しようとしている。 (主学) ・職業人として必要な豊かな人間性を育み。社会貢献に主体的にかつ協働的に取り組んでいる。	(1) サービス業の概要 ア サービス業の意義と役割 イ 清掃活動の内容 ウ 道具の取り扱い (2) 清掃 ア清掃業務の内容と特徴 イ清掃の方法	<div>・トータルクリーニングの作業について</div> <div>・作業を行う基本的な態度</div> <div>・体調管理、基礎体力</div> <div>・作業を行う上での安全面の諸注意</div> <div>・協調性、チームワークの大切さ</div> <div>・作業の心得を確認</div> <div>・作業内容、手順の確認</div> <div>・道具の片付け方の確認</div>
		<div>〔教室清掃、机ふき、窓ふき〕</div> <div>・清掃の手順の理解や清掃技術の習得</div> <div>・安全、確実、丁寧に清掃する</div> <div>・基本的なタオルの洗い方、絞り方、たたみ方</div> <div>・基本的なモップの洗い方、絞り方</div> <div>・窓の拭き方、スクイジーの使い方</div> <div>・アビリンピックへ向けての練習</div>			
2 学期	28	(知及技) ・清掃業務の内容と特徴を理解し、関連する技術を身につけることができる。 (思判表力) ・清掃業務に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、主体的に課題を解決することができる。 (学・人) ・職業人として必要な豊かな人間性を育み。社会貢献に主体的にかつ協働的に取り組むことができる。	(知・技) ・清掃業務の内容と特徴を理解し、関連する技術を身につけている。 (思・判・表) ・清掃業務に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、主体的に課題を解決しようとしている。 (主学) ・職業人として必要な豊かな人間性を育み。社会貢献に主体的にかつ協働的に取り組んでいる。	(1) サービス業の概要 ウ（清掃）機械の取り扱い (2) 清掃 ア清掃業務の内容と特徴 イ清掃の方法	<div>・トータルクリーニングの作業について</div> <div>・作業を行う基本的な態度</div> <div>・体調管理、基礎体力</div> <div>・作業を行う上での安全面の諸注意</div> <div>・協調性、チームワークの大切さ</div> <div>・作業の心得を確認</div> <div>・作業内容、手順の確認</div> <div>・道具の片付け方の確認</div>
		<div>〔窓ふき、モップ、ダスタークロス、床清掃〕</div> <div>・清掃の手順の理解や清掃技術の習得</div> <div>・安全、確実、丁寧に清掃する</div> <div>・基本的なタオルの洗い方、絞り方、たたみ方</div> <div>・基本的なモップの洗い方、絞り方</div> <div>・窓の拭き方、スクイジーの使い方</div> <div>・機械（オーボット、スリーパー）の操作方法</div> <div>・技能検定へ向けての練習</div>			
3 学期	16	(知及技) ・清掃業務の内容と特徴を理解し、関連する技術を身につけることができる。 (思判表力) ・清掃業務に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、主体的に課題を解決することができる。 (学・人) ・職業人として必要な豊かな人間性を育み。社会貢献に主体的にかつ協働的に取り組むことができる。	(知・技) ・清掃業務の内容と特徴を理解し、関連する技術を身につけている。 (思・判・表) ・清掃業務に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、主体的に課題を解決しようとしている。 (主学) ・職業人として必要な豊かな人間性を育み。社会貢献に主体的にかつ協働的に取り組んでいる。	(1) サービス業の概要 ウ（清掃）機械の取り扱い (2) 清掃 ア清掃業務の内容と特徴 イ清掃の方法	<div>・トータルクリーニングの作業について</div> <div>・作業を行う基本的な態度</div> <div>・体調管理、基礎体力</div> <div>・作業を行う上での安全面の諸注意</div> <div>・協調性、チームワークの大切さ</div> <div>・作業の心得を確認</div> <div>・作業内容、手順の確認</div> <div>・道具の片付け方の確認</div> <div>・1年間のまとめ</div>
		<div>〔窓ふき、洗車〕</div> <div>・清掃の手順の理解や清掃技術の習得</div> <div>・安全、確実、丁寧に清掃する</div> <div>・基本的なタオルの洗い方、絞り方、たたみ方</div> <div>・窓の拭き方、スクイジーの使い方</div> <div>・洗車の手順の確認</div>			
留意点 引継ぎ等		※生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図る。 ※実践的・体験的な学習活動の充実を図る。			

令和 5年度 2年 年間指導計画 流通サービス「トータルクリーニング」

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
4/140	2学年（10名）		

目標：(知及技)知識及び技能（思判表力)思考力、判断力、表現力等（学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能（思・判・表)思考・判断・表現（主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 流通サービスに関することについて理解するとともに、関連する技術の向上を図るようにする。 (思判表力)流通業やサービス業に関する課題や現状を把握し、職業人に求められる倫理観を踏まえ自ら課題を解決する力を養う。 (学・人)職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	52	(知及技) ・清掃業務の内容と特徴を理解し、関連する技術の向上を図ることができる。 (思判表力) ・清掃業務に関する課題や現状を把握し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、主体的に課題を解決することができる。 (学・人) ・職業人として必要な豊かな人間性を育み。社会貢献に主体的にかつ協働的に取り組むことができる。	(知・技) ・清掃業務の内容と特徴を理解し、関連する技術の向上を図る。 (思・判・表) ・清掃業務に関する課題や現状を把握し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、主体的に課題を解決する。 (主学) ・職業人として必要な豊かな人間性を育み。社会貢献に主体的にかつ協働的に取り組む。	(１) 流通業やサービス業の概要 ア 流通業やサービス業の意義と役割 イ 流通業の基礎 ウ 道具の取り扱い (４) 清掃 ア清掃業務の内容と特徴 イ清掃の方法	・トータルクリーニングの作業について ・作業を行う基本的な態度 ・体調管理、基礎体力 ・作業を行う上での安全面の諸注意 ・協調性、チームワークの大切さ ・作業の心得を確認 ・作業内容、手順の確認 ・道具の片付け方の確認
					〔教室清掃、野外清掃、机ふき、窓ふき〕 ・清掃の手順の理解や清掃技術の習得 ・安全、確実、丁寧に清掃する ・基本的なタオルの洗い方、絞り方、たたみ方 ・基本的なモップの洗い方、絞り方 ・窓の拭き方、スクイジーの使い方 ・草刈りや野外整備の仕方
2 学期	56	(知及技) ・清掃業務の内容と特徴を理解し、関連する技術や技法を身につけることができる。 (思判表力) ・清掃業務に関する課題や現状を把握し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、主体的に課題を解決することができる。 (学・人) ・職業人として必要な豊かな人間性を育み。社会貢献に主体的にかつ協働的に取り組むことができる。	(知・技) ・清掃業務の内容と特徴を理解し、関連する技術や技法を身につける。 (思・判・表) ・清掃業務に関する課題や現状を把握し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、主体的に課題を解決する。 (主学) ・職業人として必要な豊かな人間性を育み。社会貢献に主体的にかつ協働的に取り組む。	(１) 流通業やサービス業の概要 ウ（清掃）機械の取り扱い (４) 清掃 ア清掃業務の内容と特徴 イ清掃の方法	・トータルクリーニングの作業について ・作業を行う基本的な態度 ・体調管理、基礎体力 ・作業を行う上での安全面の諸注意 ・協調性、チームワークの大切さ ・作業の心得を確認 ・作業内容、手順の確認 ・道具の片付け方の確認
					〔窓ふき、モップ、ダスタークロス、野外清掃〕 ・清掃の手順の理解や清掃技術の習得 ・安全、確実、丁寧に清掃する ・基本的なタオルの洗い方、絞り方、たたみ方 ・基本的なモップの洗い方、絞り方 ・窓の拭き方、スクイジーの使い方 ・機械（オーボット、スーパパー）の操作方法 ・技能検定へ向けての練習 ・草刈りや野外整備の仕方
3 学期	32	(知及技) ・清掃業務の内容と特徴を理解し、関連する技術や技法を身につけることができる。 (思判表力) ・清掃業務に関する課題や現状を把握し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、主体的に課題を解決することができる。 (学・人) ・職業人として必要な豊かな人間性を育み。社会貢献に主体的にかつ協働的に取り組むことができる。	(知・技) ・清掃業務の内容と特徴を理解し、関連する技術や技法を身につける。 (思・判・表) ・清掃業務に関する課題や現状を把握し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、主体的に課題を解決する。 (主学) ・職業人として必要な豊かな人間性を育み。社会貢献に主体的にかつ協働的に取り組む。	(１) 流通業やサービス業の概要 ウ（清掃）機械の取り扱い (４) 清掃 ア清掃業務の内容と特徴 イ清掃の方法	・トータルクリーニングの作業について ・作業を行う基本的な態度 ・体調管理、基礎体力 ・作業を行う上での安全面の諸注意 ・協調性、チームワークの大切さ ・作業の心得を確認 ・作業内容、手順の確認 ・道具の片付け方の確認 ・1年間のまとめ
					〔窓ふき、洗車、野外清掃〕 ・清掃の手順の理解や清掃技術の習得 ・安全、確実、丁寧に清掃する ・基本的なタオルの洗い方、絞り方、たたみ方 ・窓の拭き方、スクイジーの使い方 ・洗車の手順の確認 ・草刈りや野外整備の仕方

留意点 引継ぎ等	※生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図る。 ※実践的・体験的な学習活動の充実を図る。
-------------	---

留意点	
-----	--

R5年度 年間指導計画 第3学年 教科名:選択A「トータルクリーニング」 週時数(8時間)

目標						
1. 清掃業に従事する職業人としての基本的な態度や心構えを身につける。2. トータルクリーニングに関する用具や機材を利用し、作業する技術を身につける。						
学期 時数	月	単元・題材	単元目標	活動内容	教材・教具等	備考・配慮事項
年間を通して行う	4 月 3 月	トータルクリーニング 作業について	・作業従事者の心得を理解する。 ・作業内容を知る。 ・清掃用具の名称、用途、清掃手順を知る。	・作業従事者の心得について確認する。(作業に主体的かつ協同的に取り組む態度。安全面について。協調性、チームワークの大切さ。) ・作業内容について学習する。 ・清掃用具の名称、用途、清掃手順を学習する。	・作業の心得 ・プリント ・PowerPointスライド資料	・作業に従事する際に求められるマナーを確認する。 ・自分の役割をきちんと行い、互いに助け合う態度を身につけられるよう指導する。 ・挨拶、返事、報告、連絡、相談を意識するよう常に確認する。 ・清掃作業の目的や役割を確認する。
		<u>以下は年間を通して行う</u>	<u>以下は年間を通して行う</u>	<u>以下は年間を通して行う</u>	<u>以下は年間を通して行う</u>	<u>以下は年間を通して行う</u>
		①校内清掃 ・廊下の窓ガラス ・体育館の窓・書道教室 ・図書館の本棚 ・パソコン室 ・校舎周辺草刈り ・校内草刈り ・草集め ・セミナーハウス清掃 ・古紙運搬 ・洗車	・手順を理解し、作業を行うことができる。 ・用具を大切に扱うことができる。 ・丁寧に作業することができる。 ・安全な作業を心掛けることができる。 ・挨拶、返事、報告、連絡、相談ができる。 ・反省から課題を見つけ、改善に向けて努力することができる。	・作業の心得を読み上げ、主体的かつ協同的に取り組む態度を確認する。 ・目標と作業内容、安全面について確認する。 ・窓ガラスの清掃。 ・床面の清掃。 ・オーボットやスーパーなどの清掃機材の使用。 ・安全な脚立の使い方。 ・洗車の手順確認、実践(学校車など) ・古紙の仕分け、運搬作業。 ・清掃用具の片付け、保管方法。 ・清掃用具のメンテナンス。 ・自己評価や反省を記入し発表する。	・作業の心得(窓) バケツ、養生シート、スクイジー、シャンピング、プリント、伸縮ポール、タオル青・白、清掃パネル、脚立など (机・棚) バケツ、養生シート、タオル青・白、メラミンスポンジなど (床面) オーボット、スーパー、床面洗剤、自在ほうき、ちりとり、ガム取り、スカッチ、清掃パネルなど (洗車) バケツ、タオル青・白、洗車ブラシ、掃除機など (草刈り) ほうき、ちりとり、手袋、スーパー、草刈り機など	・作業手順がなぜその手順で行われるのか確認する。 ・安全かつ効率良く作業できるように手順を考えさせる。 ・丁寧に時間内に作業できるように指導する。 ・自分の役割を理解し、責任感を持って作業を行うことができるように指導する。 ・互いに助け合うことができるように指導する。 ・目標や自己評価、教師からの評価を振り返り、次回の取り組みに活かすことができるように指導する。
		③技能検定に向けて ・机ふき ・モップ ・ダスターモップ	・技能検定用に指定された手順で作業できる。 ・丁寧かつ的確に作業できる。	・技能検定の見学。 ・技能検定に向け、手順の確認と練習。		
総授業時数 (280) 時間						

令和5年度 1 年 流通・サービス「サービスオフィス」 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	1 学年（20名）		新・見てわかるビジネスマナー集

目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等

評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技） 流通やサービスに関することについて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 （思判表力） 流通業やサービス業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養う。 （学・人） 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	【（5）事務】 （知及技） ・事務業務の内容と特徴について理解するとともに、事務処理の手順や方法など事務業務に関する技術を身に付けることができる。 （思判表力） ・事務業務において、企業でのニーズに応じた事務処理のために必要な課題を発見し、よりよい事務処理のための工夫について考え、表現することができる。 （学・人） ・事務業務の内容と特徴などについて自ら学び、事務業務に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	（知・技） ・事務業務の内容と特徴について理解しようとしている。 ・事務処理の手順や方法など事務業務に関する技術を身に付けようとしている。 （思・判・表） ・事務業務において、企業でのニーズに応じた事務処理のために必要な課題を発見し、よりよい事務処理のための工夫について考え、表現しようとしている。 （主学） ・事務業務の内容と特徴などについて自ら学び、事務業務に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	【ビジネスマナー】 ・あいさつ ・身だしなみ ・言葉づかい ・アドバイスの受け方 ・報告、連絡、相談 【ピッキング】 ・指示書の確認 ・ピックアップ作業 【タイピング】 ・ローマ字変換 ・ホームポジション練習	・教科書やプリントを活用し、ビジネスマナーについて学習する。 ・ワークサンプル幕張版の教材を利用し、ピッキング作業を行う。 ・日本語のローマ字変換方法を確認し、マナビジョン（ホームポジション編）を利用しタイピング練習を行う。
2 学期	4	【（1）流通業やサービス業の概要】 （知及技） ・流通業やサービス業が社会で果たしている意義と役割などについて理解するとともに、事務機器の取扱いなどに関する技術を身に付けることができる。 （思判表力） ・商品の流通やサービスの提供などを通して地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する視点から、顧客のニーズに応じた商品の流通やサービスの提供などのための工夫について考え、表現することができる。 （学・人） ・流通業やサービス業の意義と役割などについて自ら学ぶことができる。	（知・技） ・流通業やサービス業が社会で果たしている意義と役割などについて理解しようとしている。 ・事務機器の取扱いなどに関する技術を身に付けようとしている。 （思・判・表） ・商品の流通やサービスの提供などを通して地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する視点から、顧客のニーズに応じた商品の流通やサービスの提供などのための工夫について考え、表現しようとしている。 （主学） ・流通業やサービス業の意義と役割などについて自ら学ぼうとしている。	【流通業やサービス業について】 ・意義と役割 ・身近な流通業やサービス業	・身近な商品が、生産者からどのように私たちに届くのか学習する。 ・県内の流通業やサービス業を担う事業所や市場について学習する。（可能であれば見学を行う）
	24	【（5）事務】 （知及技） ・事務業務の内容と特徴について理解するとともに、事務処理の手順や方法など事務業務に関する技術を身に付けることができる。 （思判表力） ・事務業務において、企業でのニーズに応じた事務処理のために必要な課題を発見し、よりよい事務処理のための工夫について考え、表現することができる。 （学・人） ・事務業務の内容と特徴などについて自ら学び、事務業務に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	（知・技） ・事務業務の内容と特徴について理解しようとしている。 ・事務処理の手順や方法など事務業務に関する技術を身に付けようとしている。 （思・判・表） ・事務業務において、企業でのニーズに応じた事務処理のために必要な課題を発見し、よりよい事務処理のための工夫について考え、表現しようとしている。 （主学） ・事務業務の内容と特徴などについて自ら学び、事務業務に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	【ビジネスマナー】 ・会社見学や実習の心得 ・面接時の服装や態度 ・寝る前と出かける前に必要な準備 ・通勤時に気をつけること 【ピッキング】 ・指示書の確認 ・ピックアップ作業 【数値入力・チェック】 ・数値入力 ・誤入力チェック作業	・教科書やプリントを活用し、ビジネスマナーについて学習する。 ・ワークサンプル幕張版の教材を利用し、ピッキング作業を行う。 ・ワークサンプル幕張版の教材を利用し、数値入力や入力ミスのチェック作業を行う。

3 学 期	16	<p>【(5)事務】 (知及技) ・事務業務の内容と特徴について理解するとともに、事務処理の手順や方法など事務業務に関する技術を身に付けることができる。</p> <p>(思判表力) ・事務業務において、企業でのニーズに応じた事務処理のために必要な課題を発見し、よりよい事務処理のための工夫について考え、表現することができる。</p> <p>(学・人) ・事務業務の内容と特徴などについて自ら学び、事務業務に主体的かつ協働的に取り組むことができる。</p>	<p>(知・技) ・事務業務の内容と特徴について理解しようとしている。 ・事務処理の手順や方法など事務業務に関する技術を身に付けようとしている。</p> <p>(思・判・表) ・事務業務において、企業でのニーズに応じた事務処理のために必要な課題を発見し、よりよい事務処理のための工夫について考え、表現しようとしている。</p> <p>(主学) ・事務業務の内容と特徴などについて自ら学び、事務業務に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p>	<p>【ビジネスマナー】 ・机や作業台の整理整頓 ・職場内の移動 ・休憩時間の過ごし方 ・仕事の終わり方</p> <p>【ピッキング】 ・指示書の確認 ・ピックアップ作業</p> <p>【電卓】 ・電卓技能検定試験 5・6・7級レベル</p>	<p>・教科書やプリントを活用し、ビジネスマナーについて学習する。 ・ワークサンプル幕張版の教材を利用し、ピッキング作業を行う。 ・電卓技能検定5・6・7級問題集を利用し、電卓入力の練習を行う。</p>
留意点 引継ぎ等					

令和 5年度 2年 年間指導計画 流通サービス「サービスオフィス」

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
4／140	2学年（10名）		新・見てわかるビジネスマナー集

目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等
評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技） 流通やサービスに関することについて理解するとともに、関連する技術を向上させるようにする。 （思判表力） 流通業やサービス業に関する課題や現状を把握し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養う。 （学・人） 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	52	【（5）事務】 （知及技） ・事務業務の内容と特徴について理解するとともに、事務処理の手順や方法など事務業務に関する技術を向上することができる。 （思判表力） ・事務業務において、企業でのニーズに応じた事務処理のために必要な課題を発見し、よりよい事務処理のための創意工夫について考え、表現することができる。 （学・人） ・事務業務の内容と特徴などについて自ら学び、事務業務に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	（知・技） ・事務業務の内容と特徴について理解する。 ・事務処理の手順や方法など事務業務に関する技術を向上させる。 （思・判・表） ・事務業務において、企業でのニーズに応じた事務処理のために必要な課題を発見し、よりよい事務処理のための創意工夫について考え、表現する。 （主学） ・事務業務の内容と特徴などについて自ら学び、事務業務に主体的かつ協働的に取り組む。	【ビジネスマナー】 ・あいさつ ・身だしなみ ・言葉づかい ・アドバイスの受け方 ・報告、連絡、相談 【ピッキング】 ・指示書の確認 ・ピックアップ作業 【タイピング】 ・ローマ字変換 ・ホームポジション練習	・教科書やプリントを活用し、ビジネスマナーについて学習する。 ・ワークサンプル幕張版の教材を利用し、ピッキング作業を行う。 ・日本語のローマ字変換方法を確認し、マナビジョン（ホームポジション編）を利用しタイピング練習を行う。
2 学期	16	【（1）流通業やサービス業の概要】 （知及技） ・流通業やサービス業が社会で果たしている意義と役割などについて理解するとともに、事務機器の取扱いなどに関する技術を身に付けることができる。 （思判表力） ・商品の流通やサービスの提供などを通して地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する視点から、顧客のニーズに応じた商品の流通やサービスの提供などのための工夫について考え、表現することができる。 （学・人） ・流通業やサービス業の意義と役割などについて自ら学ぶことができる。	（知・技） ・流通業やサービス業が社会で果たしている意義と役割などについて理解しようとしている。 ・事務機器の取扱いなどに関する技術を身に付ける。 （思・判・表） ・商品の流通やサービスの提供などを通して地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する視点から、顧客のニーズに応じた商品の流通やサービスの提供などのための工夫について考え、表現しようとしている。 （主学） ・流通業やサービス業の意義と役割などについて自ら学ぼうとしている。	【流通業やサービス業について】 ・意義と役割 ・身近な流通業やサービス業 ・事務機器や情報機器の取扱い	・身近な商品が、生産者からどのように私たちに届くのか学習する。 ・県内の流通業やサービス業を担う事業所や市場について学習する。（可能であれば見学を行う） ・複合機（コピー機）や印刷機、FAXなどの事務機器の使用方法について学習する。
	40	【（5）事務】 （知及技） ・事務業務の内容と特徴について理解するとともに、事務処理の手順や方法など事務業務に関する技術を身に付けることができる。 （思判表力） ・事務業務において、企業でのニーズに応じた事務処理のために必要な課題を発見し、よりよい事務処理のための工夫について考え、表現することができる。 （学・人） ・事務業務の内容と特徴などについて自ら学び、事務業務に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	（知・技） ・事務業務の内容と特徴について理解しようとしている。 ・事務処理の手順や方法など事務業務に関する技術を身に付けようとしている。 （思・判・表） ・事務業務において、企業でのニーズに応じた事務処理のために必要な課題を発見し、よりよい事務処理のための工夫について考え、表現しようとしている。 （主学） ・事務業務の内容と特徴などについて自ら学び、事務業務に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	【ビジネスマナー】 ・会社見学や実習の心得 ・面接時の服装や態度 ・寝る前と出かける前に必要な準備 ・通勤時に気をつけること 【ピッキング】 ・指示書の確認 ・ピックアップ作業 【文書作成】 ・ビジネス文書実務検定 速度部門3級 入力練習	・教科書やプリントを活用し、ビジネスマナーについて学習する。 ・ワークサンプル幕張版の教材を利用し、ピッキング作業を行う。 ・全商ビジネス文書実務検定問題集3級を利用し、文字入力を行う速度部門の練習を行う。
3 学期	32	【（5）事務】 （知及技） ・事務業務の内容と特徴について理解するとともに、事務処理の手順や方法など事務業務に関する技術を身に付けることができる。 （思判表力） ・事務業務において、企業でのニーズに応じた事務処理のために必要な課題を発見し、よりよい事務処理のための工夫について考え、表現することができる。 （学・人） ・事務業務の内容と特徴などについて自ら学び、事務業務に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	（知・技） ・事務業務の内容と特徴について理解しようとしている。 ・事務処理の手順や方法など事務業務に関する技術を身に付けようとしている。 （思・判・表） ・事務業務において、企業でのニーズに応じた事務処理のために必要な課題を発見し、よりよい事務処理のための工夫について考え、表現しようとしている。 （主学） ・事務業務の内容と特徴などについて自ら学び、事務業務に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	【ビジネスマナー】 ・机や作業台の整理整頓 ・職場内の移動 ・休憩時間の過ごし方 ・仕事の終わり方 【ピッキング】 ・指示書の確認 ・ピックアップ作業 【数値入力・チェック】 ・数値入力 ・誤入力チェック作業 ・電卓技能検定	・教科書やプリントを活用し、ビジネスマナーについて学習する。 ・ワークサンプル幕張版の教材を利用し、ピッキング作業を行う。 ・ワークサンプル幕張版の教材を利用し、数値入力や入力ミスのチェック作業を行う。 ・電卓技能検定試験5・6・7級問題集を利用し、電卓の活用方法や計算の速さや正確性の向上を図る。
留意点 引継ぎ等					

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／7 0	1 学年（20名）		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) ものづくりに関することについて理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。 (思判表力)ものづくりを通して職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を発見し、自ら解決する力を養う。 (学・人)職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	(知及技) ・基本的な用具を適切に扱い、安全に作業する心構えを習得することができる。	(知・技) ・授業で使用した工具の使い方を理解し一人で使うことができる。	・ものづくり学習の目的 ・作業の安全 ・木工作品の製作 (1-7小物入れ、1-8ミニイス等)の製作	・ものづくりとは（導入） 授業の進め方と年間の学習計画材料や道具等の取り扱い方 ・製品の工程を理解し、必要な用具の準備・片づけ・製作ができる。 ・就労の具体的なイメージを持つこと及び自己の特性を知る。 ・材料の種類や工具等の扱い方 木材・ノコギリ・差しがね・糸のこ盤・紙やすり・ベルトサンダー・バンドソー・ドライバー・ハンマーなど製作の工程表、作業報告書、完成作品見本 (1-7小物入れ、1-8ミニイス等)の製作 ・学期を割り振り、今後の目標を立てる。
		(思判表力) ・基本的姿勢と態度の定着することができる。	(思・判・表) ・木工用工具が安全で正しく丁寧に目的に合った使い方ができている。		
		(学・人) ・設計から完成までの学習を通して、就労意欲の向上と自立に必要な基礎的・基本的姿勢と態度の定着をはかる。	(主学) 主体的に学習に取り組む態度が身についている。		
2 学期	28	(知及技) 道具や機械の操作に慣れ、正確な作業ができる。	(知・技) ・授業で使用した工具の使い方を理解し一人で使うことができる。	・各種木工製品等の製作 ・展示販売などの準備と取り組み ・木工作品の製作 (1-8小物入れ、1-7ミニイス等)の製作	・材料の準備、片付けがスムーズにできる。 ・材料の種類や工具等の扱い方 木材・ノコギリ・差しがね・糸のこ盤・紙やすり・ベルトサンダー・バンドソー・ドライバー・ハンマーなど製作の工程表、作業報告書、完成作品見本 ・簡単な木工製品（1-8小物入れ、1-7ミニイス）の製作 ・販売方法・役割分担・製品の展示 ・2学期の反省
		(思判表力) ・基本的姿勢と態度の定着をはかる。	(思・判・表) 各自の作業量が把握できるように、記録簿や個別のかごなどを使用することができる。		
		(学・人) ・設計から完成までの学習を通して、就労意欲の向上と自立に必要な基礎的・基本的姿勢と態度の定着をはかる。	(主学) 主体的に学習に取り組む態度が身についている。		
3 学期	16	(知及技) ・基本的な用具を適切に扱い、安全に作業する心構えを習得する。	(知・技) ・授業で使用した工具の使い方を理解し一人で使うことができる。	・展示販売作品製作 ・展示販売の準備 ・木工作品の製作 (筆箱、お箸入れ等) ・年間のまとめ	・各種工具や機械の取り扱いかた 木材・ノコギリ・差しがね・糸のこ盤・紙やすり・ベルトサンダー・バンドソー・ドライバー・ハンマーなど製作の工程表、作業報告書、完成作品見本 ・簡単な木工製品（1-8筆箱、1-7お箸入れ）の製作 ・ものづくり学習の反省・評価・発表
		(思判表力) ・基本的姿勢と態度の定着をはかる。	(思・判・表) ・木工用工具が安全で正しく丁寧に目的に合った使い方ができている。		
		(学・人) ・設計から完成までの学習を通して、就労意欲の向上と自立に必要な基礎的・基本的姿勢と態度の定着をはかる。	(主学) 主体的に学習に取り組む態度が身についている。		
留意点 引継ぎ等					

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
4／140	2学年(6名)		

目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)ものづくりに関することについて理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。 (思判表力)ものづくりを通して職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を発見し、自ら解決する力を養う。 (学・人)職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価 規 準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学 期	26	(知及技) ・基本的な用具を適切に扱い、安全に作業する心構えを習得することができる。	(知・技) ・授業で使用した工具の使い方を理解し一人で使うことができる。	・ものづくり学習の目的 ・作業の安全	・ものづくりとは(導入) 授業の進め方と年間の学習計画材料や道具等の取り扱い方 ・製品の工程を理解し、必要な用具の準備・片づけ・製作ができる。 ・就労の具体的なイメージを持つこと及び自己の特性を知る。 ・材料の種類や工具等の扱い方 木材・ノコギリ・差しがね・糸のこ盤・紙やすり・ベルトサンダー・バンドソー・ドライバー・ハンマーなど製作の工程表、作業報告書、完成作品見本 (小物入れ、ミニイス等)の製作 ・学期を割り振り、今後の目標を立てる。
		(思判表力) ・基本的姿勢と態度の定着することができる。	(思・判・表) ・木工用工具が安全で正しく丁寧に目的に合った使い方ができている。	・木工作品の製作 (小物入れ、ミニ椅子)の製作	
		(学・人) ・設計から完成までの学習を通して、就労意欲の向上と自立に必要な基礎的・基本的姿勢と態度の定着をはかる。	(主学) 主体的に学習に取り組む態度が身についている。		
2 学 期	28	(知及技) 道具や機械の操作に慣れ、正確な作業ができる。	(知・技) ・授業で使用した工具の使い方を理解し一人で使うことができる。	・各種木工製品等の製作 ・展示販売などの準備と取り組み	・材料の準備、片付けがスムーズにできる。 ・材料の種類や工具等の扱い方 木材・ノコギリ・差しがね・糸のこ盤・紙やすり・ベルトサンダー・バンドソー・ドライバー・ハンマーなど製作の工程表、作業報告書、完成作品見本 ・共同制作木工製品(ベンチ)の製作 ・販売方法・役割分担・製品の展示 ・2学期の反省
		(思判表力) ・基本的姿勢と態度の定着をはかる。	(思・判・表) 各自の作業量が把握できるように、記録簿や個別のかごなどを使用することができる。	・木工作品の製作 (ベンチの製作)	
		(学・人) ・設計から完成までの学習を通して、就労意欲の向上と自立に必要な基礎的・基本的姿勢と態度の定着をはかる。	(主学) 主体的に学習に取り組む態度が身についている。		
3 学 期	16	(知及技) ・基本的な用具を適切に扱い、安全に作業する心構えを習得する。	(知・技) ・授業で使用した工具の使い方を理解し一人で使うことができる。	・作品製作販売を行う。 ・販売の準備	・各種工具や機械の取り扱いかた 木材・ノコギリ・差しがね・糸のこ盤・紙やすり・ベルトサンダー・バンドソー・ドライバー・ハンマーなど製作の工程表、作業報告書、完成作品見本 ・簡単な木工製品(個人自由作品製作)の製作 ・ものづくり学習の反省・評価・発表
		(思判表力) ・基本的姿勢と態度の定着をはかる。	(思・判・表) ・木工用工具が安全で正しく丁寧に目的に合った使い方ができている。	・木工作品の製作 (鍋敷き、コースター)	
		(学・人) ・設計から完成までの学習を通して、就労意欲の向上と自立に必要な基礎的・基本的姿勢と態度の定着をはかる。	(主学) 主体的に学習に取り組む態度が身についている。	・年間のまとめ	

留意点 引継ぎ等	・3学期の製作作品は、3年になっても続きを行う。
-------------	--------------------------

令和 5 年度 高等部 第1学年 教科「ものづくり」 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
4／140	3学年(6名)		

目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)ものづくりに関することについて理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。 (思判表力)ものづくりを通して職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を発見し、自ら解決する力を養う。 (学・人)職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価 規 準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学 期	52	(知及技) ・基本的な用具を適切に扱い、安全に作業する心構えを習得することができる。	(知・技) ・授業で使 用した工 具の使 い方を理 解し一 人で使 用する ことが でき てい る。	・ものづくり学習の目的 ・作業の安全 ・木工作品の製作 (小物入れ、ミニ椅子)の製作	・ものづくりとは(導入) 授業の進め方と年間の学習計画材料や道具等の取り扱い方 ・製品の工程を理解し、必要な用具の準備・片づけ・製作ができる。 ・就労の具体的なイメージを持つこと及び自己の特性を知る。 ・材料の種類や工具等の扱い方 木材・ノコギリ・差しがね・糸のこ盤・紙やすり・ベルトサンダー・バンドソー・ドライバー・ハンマーなど製作の工程表、作業報告書、完成作品見本 (小物入れ、ミニイス等)の製作 ・学期を割り振り、今後の目標を立てる。
		(思判表力) ・基本的姿勢と態度の定着することができる。	(思・判・表) ・木工用工具が安全で正しく丁寧に目的に合った使い方ができている。		
		(学・人) ・設計から完成までの学習を通して、就労意欲の向上と自立に必要な基礎的・基本的姿勢と態度の定着をはかる。	(主学) 主体的に学習に取り組む態度が身についている。		
2 学 期	64	(知及技) 道具や機械の操作に慣れ、正確な作業ができる。	(知・技) ・授業で使 用した工 具の使 い方を理 解し一 人で使 用する ことが でき てい る。	・各種木工製品等の製作 ・展示販売などの準備と取 り組み ・木工作品の製作 (ベンチの製作)	・材料の準備、片付けがスムーズにできる。 ・材料の種類や工具等の扱い方 木材・ノコギリ・差しがね・糸のこ盤・紙やすり・ベルトサンダー・バンドソー・ドライバー・ハンマーなど製作の工程表、作業報告書、完成作品見本 ・共同制作木工製品(ベンチ、可動式本立て等)の製作 ・販売方法・役割分担・製品の展示 ・2学期の反省
		(思判表力) ・基本的姿勢と態度の定着をはかる。	(思・判・表) 各自の作業量が把握できるように、記録簿や個別のかごなどを使用することができる。		
		(学・人) ・設計から完成までの学習を通して、就労意欲の向上と自立に必要な基礎的・基本的姿勢と態度の定着をはかる。	(主学) 主体的に学習に取り組む態度が身についている。		
3 学 期	24	(知及技) ・基本的な用具を適切に扱い、安全に作業する心構えを習得する。	(知・技) ・授業で使 用した工 具の使 い方を理 解し一 人で使 用する ことが でき てい る。	・展示販売作品製作 ・展示販売の準備 ・木工作品の製作 (鍋敷き、コースター) ・年間のまとめ	・各種工具や機械の取り扱いかた 木材・ノコギリ・差しがね・糸のこ盤・紙やすり・ベルトサンダー・バンドソー・ドライバー・ハンマーなど製作の工程表、作業報告書、完成作品見本 ・簡単な木工製品(自由作品制作)の製作 ・ものづくり学習の反省・評価・発表
		(思判表力) ・基本的姿勢と態度の定着をはかる。	(思・判・表) ・木工用工具が安全で正しく丁寧に目的に合った使い方ができている。		
		(学・人) ・設計から完成までの学習を通して、就労意欲の向上と自立に必要な基礎的・基本的姿勢と態度の定着をはかる。	(主学) 主体的に学習に取り組む態度が身についている。		
留意点 引継ぎ等					

令和5年度 1 年 福祉科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	1年生 20名		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)福祉に関することについて理解するとともに、関連する技術を身につけられるようにする。 (思判表力)福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養う。 (学・人)職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期 (20)	6	(知及技) ・社会福祉が社会で果たしている意義と役割について理解することができる。 (思判表力) ・よりよい社会福祉サービスの提供をするために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人) ・社会福祉に係る事項について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技) ・社会福祉が社会で果たしている意義と役割がわかる。 (思・判・表) ・よりよい社会福祉サービスの提供をするために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現しようとしている。 (主学) ・社会福祉に係る事項について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	1、社会福祉の概要 (1)社会福祉の意義と役割	・社会福祉の概念、対象者、領域を考える。 ・社会福祉の制度や社会福祉サービスに関する様々な職業、業務を行うにあたっての心構えや知識、その職業で必要とされる技術などを確認する。 ・ワークシートを使用し、本時の内容の理解を深める。
	6	(知及技) ・家事援助や介護などの業務を行うに当たっての心構えや知識、支援者自身の清潔保持について理解するとともに、関連する技術を身につけることができる。 (思判表力) ・手洗いをするために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人) ・手洗いについて自ら学び、実習に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技) ・手洗いの目的がわかる。 ・手洗いの方法を身につけている。 (思・判・表) ・手洗いをするために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現しようとしている。 (主学) ・手洗いについて自ら学び、実習に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	2、社会福祉サービスの基礎 (1)衛生学的手洗い	・蛍光塗料クリーム、ブラックライトを使用し、「流水だけの手洗い」と「石鹼を使用しての普段の手洗い」、「衛生学的手洗い」をした際の手の汚れの残り具合を比較し、ワークシートに記録する。
	8	(知及技) ・車いすの名称を知り、基本的な操作を身につけることができる。 (思判表力) ・車いすユーザーの心理を体感させ、あるべき支援方法、寄り添う態度について考え、表現することができる。 (学・人) ・車いすユーザーへの支援方法について自ら学び、実習に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技) ・車いすの基本的な操作がわかる。 ・スロープ、段差、速度、グレーチングなど、状況に応じた車いす操作技術を身につける。 ・車いすの名称がわかる。 (思・判・表) ・車いすユーザーの心理を体感させ、あるべき支援方法、寄り添う態度について考え、表現しようとしている。 (主学) ・車いすユーザーへの支援方法について自ら学び、実習に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	3、福祉機器や用具、コンピュータ等の情報機器の取り扱い (1)車いすの操作実習 (2)車いすを畳んだり、広げたりなど、車いすの基本的な操作について (3)状況に応じた車いす操作 (4)車いすの部品の名称	・車いすを畳んだり、広げたりなど、車いすの基本的な操作を行う。 ・実習では2人1組で車いすユーザー体験、支援者の立場を体験し、状況に応じた車いす操作を行う。 ・ワークシートを使用し、車いすの名称を確認する。

2 学 期 （ 3 4 ）	14	<p>（知及技）</p> <ul style="list-style-type: none">・安全で安楽な支援などについて理解することができることができる。 <p>（思判表力）</p> <ul style="list-style-type: none">・福祉サービス利用者のニーズに応じ、生活支援をするために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができることができる。 <p>（学・人）</p> <ul style="list-style-type: none">・当事者理解体験を通して、感じている、見えている世界の違いを実感させ、今後の学習につなげることができることができる。	<p>（知・技）</p> <ul style="list-style-type: none">・疑似体験を通して、安全で安楽な支援がわかる。 <p>（思・判・表）</p> <ul style="list-style-type: none">・福祉サービス利用者のニーズに応じ、生活支援をするために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現しようとしている。 <p>（主学）</p> <ul style="list-style-type: none">・当事者理解体験を通して、感じている、見えている世界の違いを実感させ、今後の学習につなげようとしている。	<p>4、福祉機器や用具、コンピュータ等の情報機器の取り扱い</p> <ul style="list-style-type: none">（1）アイマスク体験（2）ガイドヘルパー（支援者）の役割 <p>5、介護を必要とする人の理解</p> <ul style="list-style-type: none">（1）介護を必要とする人の理解（2）高齢者疑似体験	<ul style="list-style-type: none">・視覚障害、ガイドヘルパー（支援者）の役割についてプリントで学習する。・実習は、2人1組で行い、それぞれ視覚障がい体験、支援者の立場を体験する。・装具をつけて、高齢者疑似体験を行う。実習後は振り返りを行い、内容、感想をまとめる。
	20	<p>（知及技）</p> <ul style="list-style-type: none">・安全で安楽なベッドメイキングについて理解するとともに、関連する技術を身につけることができる。 <p>（思判表力）</p> <ul style="list-style-type: none">・「寝る場所」ではなく、「生活する場所」という当事者の心情を理解し、あるべき支援方法について考え、表現することができる。 <p>（学・人）</p> <ul style="list-style-type: none">・ベッドメイキングについて自ら学び、実習に主体的かつ協同的に取り組むことができる。	<p>（知・技）</p> <ul style="list-style-type: none">・物品の準備、片付け方法がわかる。・リネン類の準備、正しいたたみ方を身につける。・ベッドメイキングの意義と方法を身につける。・ベッドメイキングの手順を学び、身につける。 <p>（思・判・表）</p> <ul style="list-style-type: none">・「寝る場所」ではなく、「生活する場所」という当事者の心情を理解し、あるべき支援方法について考え、表現しようとしている。 <p>（主学）</p> <ul style="list-style-type: none">・ベッドメイキングについて自ら学び、実習に主体的かつ協同的に取り組もうとしている。	<p>6、生活支援の技術</p> <ul style="list-style-type: none">（1）ベッドメイキング実習（2）物品の準備、片付け方法（3）リネン類の準備、正しいたたみ方（4）ベッドメイキングの意義と方法	<ul style="list-style-type: none">・リネン類の準備、正しいたたみ方を確認する。・ベッドメイキングを行う。
3 学 期 （ 1 6 ）	16	<p>（知及技）</p> <ul style="list-style-type: none">・安全で安楽なベッドメイキングについて理解するとともに、関連する技術を身につけることができる。 <p>（思判表力）</p> <ul style="list-style-type: none">・「寝る場所」ではなく、「生活する場所」という当事者の心情を理解し、あるべき支援方法について考え、表現することができる。 <p>（学・人）</p> <ul style="list-style-type: none">・ベッドメイキングについて自ら学び、実習に主体的かつ協同的に取り組むことができる。	<p>（知・技）</p> <ul style="list-style-type: none">・物品の準備、片付け方法がわかる。・リネン類の準備、正しいたたみ方を身につける。・ベッドメイキングの意義と方法を身につける。・ベッドメイキングの手順を学び、身につける。 <p>（思・判・表）</p> <ul style="list-style-type: none">・「寝る場所」ではなく、「生活する場所」という当事者の心情を理解し、あるべき支援方法について考え、表現しようとしている。 <p>（主学）</p> <ul style="list-style-type: none">・ベッドメイキングについて自ら学び、実習に主体的かつ協同的に取り組もうとしている。	<p>7、生活支援の技術</p> <ul style="list-style-type: none">（1）ベッドメイキング実習（2）物品の準備、片付け方法（3）リネン類の準備、正しいたたみ方（4）ベッドメイキングの意義と方法	<ul style="list-style-type: none">・リネン類の準備、正しいたたみ方を確認する。・ベッドメイキングを行う。
留意点 引継ぎ等					

令和5年度 2年 福祉科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
4／140	2年生（福祉選択者）8名		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 福祉に関することについて理解するとともに、関連する技術を身につけられるようにする。 (思判表力) 福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養う。 (学・人) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	26	(知及技) 介護の意義と役割を理解し、関連する技術を身につけることができる。 (思判表力) 自立と尊厳を意識できる気持ちを育み、ケアを必要とする人に何が必要かイメージし表現することができる。 (学・人) 人間の尊厳を支え自立支援を行うために適切な介護の実践を主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技) 介護の意義と役割を理解し、関連する技術を身につけている。 (思・判・表) 自立と尊厳を意識し、ケアを必要とする人に何が必要かイメージし、表現しようとしている。 (主学) 人間の尊厳を支え自立支援を行うために適切な介護の実践を主体的かつ協働的に取り組む。	1. 介護・福祉サービスの理解 (1)介護の仕事概要について（介護の職務・基礎） 2. 高齢者理解と介護について（介護を必要とする人の理解） (1)高齢者疑似体験 (2)ベッドメイキング	・介護に関わる仕事や目的を理解する。介護には「生活支援」、「身体介護」、「相談・助言」があることをわかる。 ・サービス利用者が生活する場所によって、どのようにサービスが異なるか考える。 ・高齢者の身体的・精神的特徴を体験し理解する。また、どのような社会が高齢者にとって過ごしやすい環境か考える。 ・高齢者にとっての「楽しみ」や「生きがい」の大切さを理解する。
	26	(知及技) 安全で安楽な支援などについて理解することができる。 (思判表力) 福祉サービス利用者のニーズに応じた生活支援をするために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人) 当事者体験を通して、感じている、見えている世界の違いを実感させ、今後の学習につなげることができる。	(知・技) 疑似体験を通して安全で安楽な支援について理解している。 (思・判・表) 福祉サービス利用者のニーズに応じた生活支援をするために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現しようとしている。 (主学) 当事者体験を通して、感じている、見えている世界の違いを実感させ、今後の学習につなげようとしている。	3. 介護を必要とする人の理解 (1)アイマスク体験 (2)車イス体験 (3)老々介護体験	・場面やニーズに応じた介護技術を考え、取り組む。 ・実習では2人1組で当事者役・支援者役となり、それぞれの気持ち、目線、適した支援方法を体験的、主体的に学習する。 ・車イスの安全な操作や声かけの方法を身につける。 ・高齢者の状態に応じた介護技術がわかる。 ・疑似体験を通して、介護される側（当事者）の気持ちを理解する。 ・体験を通して、感じたこと、振りかえりをまとめ互いに共有する発表の場を持つ。
	56	(知乃技) 介護を必要とする一人一人に合った支援や声かけについて理解し、関連する技術を身につけることができる。 (思判表力) 福祉サービス利用者のニーズに応じ、生活支援をするために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人) 自立生活の適切な支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を養うことができる。	(知・技) 介護を必要とする一人一人に合った支援や声かけについて理解し、関連する技術を身につけている。 (思・判・表) 福祉サービス利用者のニーズに応じ、生活支援をするために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現しようとしている。 (主学) 自立生活の適切な支援に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	4. 介護を必要とする一人一人に合わせた生活支援技術について (1)コミュニケーションの理解 (2)杖歩行・白杖ユーザーへの同行援護 (3)更衣介助 (4)食事介助	・場面やニーズに応じた介護技術を考え、取り組む。 ・実習では2人1組で当事者役・支援者役となり、それぞれの気持ち、目線、適した支援方法を体験的、主体的に学習する。 ・食事介助では、食事形態は多様にあることを学び、それを必要とする方はどのような方か考える。 ・安心、安全を意識した介護技術の実践を行うよう、相手の立場にたって支援する。 ・体験を通して、感じたこと、振りかえりをまとめ互いに共有する発表の場を持つ ・地域の高齢者施設等に触れあい、見学、交流を通して、福祉を必要としている方々に触れ、生活支援技術の学びを深める。
3学期	16	(知乃技) レクリエーションの意義や目的を理解することができる。 (思判表力) 生きがいや自己実現につながるレクリエーションの展開を考え、工夫し表現することができる。 (学・人) 安全・安楽・尊厳を意識した介助を行う態度を養うことができる。	(知・技) レクリエーションの意義や目的を理解している。 (思・判・表) 生きがいや自己実現につながるレクリエーションの展開を考え、工夫し表現しようとしている。 (主学) 安全・安楽・尊厳を意識した介助を行うことを意識して取り組もうとしている。	5. 介護を必要とする一人一人に合わせた生活支援技術について～レクリエーションの実践～ (1)介護レクリエーション (2)クラフトレクリエーション	・レクリエーションは安全・安楽で相手の尊厳を意識した内容を考え、ルール決め、実践する。（ゲーム、ストレッチ） ・クラフトレクリエーションでは物作りに取り組む。
	16	(知乃技) これまで学んだ知識や技術を統合し、地域や生活上の課題を調査、分析することができる。 (思判表力) 地域や身近な生活上の課題を調査、分析し解決に向け発表することができる。 (学・人) 地域や身近な生活上の課題をグループで調査、分析し解決に向けて協同的に取り組むことができる。	(知・技) これまで学んだ知識や技術を統合し、地域や生活上の課題を調査、分析している。 (思・判・表) 地域や身近な生活上の課題を調査、分析し解決に向け発表している。 (主学) 地域や身近な生活上の課題をグループで調査、分析し解決に向けて協同的に取り組もうとしている。	6. 介護総合演習 地域や生活上の課題を、グループで調査、分析し解決に向けて取り組む。	・地域や生活上の課題を設定し、解決に向けて調査、分析し学んだ知識や技術の深化、統合化を図る。
留意点 引継ぎ等					

令和5年度 年間指導計画 第3学年 教科名「福祉」週時数（4時間）

目 標	1. 多様な福祉領域の紹介を通し、興味関心を高め、主体的な学びの態度育成に努める。 2. 福祉・介護に関する知識・技術の獲得を図り、他者に伝えることができる能力育成の指導を通して、自己有用感を高める。 3. 地域社会の健全で持続可能な福祉社会の発展に寄与する職業人として必要な資質・能力を育成する。
-----	---

学期	月 (時数)	単元・題材	単元・題材の目標	単元・題材の活動内容	教材・教具等	基礎的・基本的事項
1 学期	4～7 (5 2)	1. 福祉探求 2. 生活支援 技術 3. 介護ロボ ット	1. 福祉に関するテーマを探求・発表 し、福祉視点の理解を広げることが できる。 2. 基本的生活支援技術のポイント を他者に伝えることができる。 3. コミュニケーションロボットを体 験し、福祉現場での活用方法を考 えることができる。	1. 福祉探求 1) 福祉に関するテーマを各自で設定、探求 2) プレゼンテーション資料の資料の作成、発表 2. 生活支援技術の実践 1) コミュニケーション技術 2) 環境整備 3) 移動介護 3. 介護ロボット研修 1) 介護ロボットの基本操作体験 2) 福祉現場での活用方法検討	○ワークシート ○個人端末 ○リネン類 ○ベッド ○杖 ○車いす ○介護ロボット ※県立総合教育センター	○司書教諭と連携し、幅広い福祉教材を紹介してもらい、そ こからテーマを絞る。 ○関係サイトからの文言を、自身の言葉で伝えるためのサポ ートをする。 ○福祉用具等を使用するため、生徒の安全管理に留意する。 ○要介護者の心身状況をイメージさせた生活支援技術の実 践を図る。 ○県立総合教育センターの生徒実習要項を遵守する。
2 学期	8～1 2 (6 4)	4. 生活支援 技術 5. 余暇支援 6. 認知症理 解 7. 地域理解	4. 個別に応じた生活支援技術を実 践することができる。 5. レクリエーションプログラムを企 画し、福祉現場で実践することがで きる。 6. 認知症について、理解を深め発表 することができる。 7. 地域の自助活動取材し、発表す ることができる。	4. 個別的生活支援技術の実践 1) 食事、入浴、排泄 2) 感染予防 5. レクリエーション実習 1) 企画・検討 2) 実践 6. 認知症理解 1) 種類 2) 症状 3) 支援方法 7. 地域支え合いの理解と発信 1) 各自治会の取材 2) 発表	○ベッド ○車いす ○自助具 ○おむつ ○ポータブルトイレ ○文具 ○個人端末 ※小規模あん ○ワークシート ○個人端末 ※浦添市いきいき高齢支援課 ○個人端末 ※浦添市社会福祉協議会、各自治会	○福祉用具等を使用するため、生徒の安全管理に留意する。 ○要介護者の心身状況をイメージさせた生活支援技術の実 践を図る。 ○要介護高齢者の住まいを訪問し、余暇を一緒に過ごし、プロ グラムを検討する。 ○福祉現場でレクリエーション実習を実施する。 ○認知症の見え方を体感し、適切な支援方法を考える。 ○認知症サポーター研修会を実施する。 ○地域の自助活動取材し、地域住民へインタビューする。 ○内容をまとめ、発表する。
3 学期	1～3 (2 4)	8. 生活支援 技術 9. 障害理解 10. まとめ	8. 個別に応じた生活支援技術の実 践することができる。 9. 障害の理解を図り、ノーマライゼ ーションの視点を持つことができる。 10. まとめ	8. 個別的生活支援技術の実践 1) 睡眠 2) 移乗 9. 3障害の理解 1) 身体 2) 知的 3) 精神 4) 障害に応じたコミュニケーション方法 ①手話 ②点字 10. 「できるようになったこと」「社会での活かし 方」のまとめ・発表	○ベッド ○リフト ※福祉用具事業所 ○ワークシート ○個人端末 ※浦添市障がい福祉課 ○ワークシート ○個人端末	○福祉用具等を使用するため、生徒の安全管理に留意する。 ○要介護者の心身状況をイメージさせた生活支援技術の実 践を図る。 ○障害の理解を図る際、生徒自身の状況へ配慮した授業展開に 留意する。 ○点字、手話の講座を実施する。 ○職業人を目指した学びのまとめを行い、持続可能な社会を 「支える側」の視点を持ってもらう。

総授業時数	140時間	※「介護入門的研修」に関する指導項目は、年間を通して実施する（テキスト「介護入門的研修」は沖縄人材カレッジ様より無償提供） ※連携機関 ①県立総合教育センター ②小規模あん ③浦添市いきいき高齢支援課 ④浦添市社会福祉協議会 ⑤浦添市各自治会 ⑥福祉用具事業所 ⑦浦添市障がい福祉課 ⑧その他
-------	-------	---

令和5年度 道徳教育全体計画

陽明高等支援学校

関係法令等 日本国憲法 教育基本法 学校教育法 学習指導要領 沖縄県教育振興基本計画	学校教育目標			生徒の実態 ・明るく素直である。 ・協調性があり、学校行事等、協力して取り組むことができる。 ・友達や異性との関わりや距離感などに課題がある生徒がいる。
	校訓「自主・創造・敬愛・剛健」			
	教育目標(総合産業科)			
	生徒一人一人の個性を大切にし、社会のニーズに対応した専門教科を中心とした教育を行い、人格の形成と社会的・職業的自立に必要な専門的な知識・技能・態度を養う。また、規範意識を身につけ、自ら考えて行動することができると共に、自他の生命と人権、多様性を尊重できる心豊かな人材を育成する。			
道徳教育の推進体制 道徳教育推進教師を中心として、全職員が参画する校内推進体制を充実させる。 ※全体計画、年間指導計画の運用・見直し・再編を行う。 担任との情報交換会を設定し、道徳の時間の指導法の研究、教材研究について考える。	めざす生徒像(総合産業科)			保護者の願い ・友達と仲良く協力して、学校生活を楽しくしてほしい。 ・規則正しい生活が送れるようになってほしい。 ・将来に役立つ力を育ててほしい。 ・社会に貢献できる人になってほしい。
	1. 健康で、明るくたくましく、心豊かな生徒 2. 強い心を持ち、最後までやり抜く生徒 3. 自分で考えて行動できる生徒 4. 地域社会の一員としての役割を意識し、社会に貢献できる生徒			
	道徳教育重点目標			
	学習活動や体験活動を通じて、自分自身の在り方生き方について考え、将来にわたって主体的に生きる態度や他者の立場を尊重し、思いやりの心と協調性の精神、規範意識を高め、社会に貢献する意欲的な態度を育てる。 ①望ましい集団生活の構築 ②規範意識の育成 ③安全についての意識向上 ④適切な職業観の育成			
	各学年の重点目標			
	【1年】集団の一員としての自覚を持ち、思いやりの心を育てる。 重要内容項目：向上心・個性の伸長(A)思いやり、感謝(B)よりよい学校生活、集団生活の充実(C)、健全な異性観			
	【2年】自律の精神を重んじ、自主的に考え判断する態度を育てる。 重要内容項目：自主・自律、自由と責任(A)相互理解、寛容(B)遵法精神、公德心(C)、健全な異性観			
	【3年】法やきまりの意義を理解し時と場に応じた適切な言動、態度を育てる。 重要内容項目：節度、節制(A)礼儀(B)社会参画、公共の精神(C)生命の大切さ(D)健全な異性観			
各教科		特別活動	総合的な探究の時間	自立活動
各教科の目標達成に努める中で、道徳的実践力の指導に留意する。 各教科ごとに道徳教育に関する目標を明確にし、豊かな心の教育に努める。		様々な学校行事、HR活動、生徒会活動を通して他者との関わり合いを学び、自己のよさや可能性を大切にして集団行動を行おうとする態度を育てる。	体験的な活動などを通して自信をつけ、自己を肯定的にとらえる感情を高める。問題を主体的に解決する力、情報収集や発表する力を育成する。 ※就業体験	道徳、自立活動は週に1h、隔週で実施。 個別の指導計画を作成し、個々の課題克服に向けた内容を行う。
進路指導		生徒指導	特色ある取り組み・豊かな体験	家庭・地域等との連携
・自分の特性や将来の生き方を考え、自分にふさわしい進路を選択するとともに、その実現に向けて努力する態度を育てる。 ・職業、就業体験、職業に関する科目の実践を通して、適切な職業観の育成を図る。		・日常生活において、物事を多面的・多角的に考え、自らの判断により適切な行動を選択し、実践するなど、道徳教育の指導内容が生徒の日常生活に生かされるようにする。 ・学校生活の決まりを守り、正しい生活習慣を身につけ規範意識の育成を図る。 ・安全教育を通して安全についての意識の育成を図る。 ※年2回考える避難訓練の実施 ・いじめの防止や安全の確保といった課題について、道徳教育の特質を生かし、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことで、生徒がそれらの課題に主体的に関わることができるようにする。 ※薬物乱用防止教室 ※スマホ安全教室	・「職業」の時間の設定 ・職業科目の充実 ・体育における合同授業 ・職業に関する専門教科の学習や職業(進路活動、清掃活動)、全体清掃等を通して環境美化に努める態度を育成し、緑と花にあふれた潤いのある学校づくりを進める。	・地域の人々との交流や地域行事への参加を通して、社会の一員としての自覚と郷土の良さへの気づきを促す。 ・三者面談や諸行事などを通して保護者との信頼関係を築く。 ・併設校との交流及び共同学習の推進を図る。 ・生徒の個々の問題については、生徒サポート部(教育相談)を中心に、関係機関とケース会議を持ち、支援の在り方を検討する。

1 学年「道徳」年間指導計画

【指導の重点】集団の一員としての自覚を持ち、思いやりの心を育てる。 【重要内容項目】向上心・個性の伸長(A) 思いやり、感謝(B) よりよい学校生活、集団生活の充実(C)、※健全な異性観					
月	(主題)主として自分自身に関すること		ねらい	展開の概要	留意点
年間を通して実施する	自主、自律、自由と責任	自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。	周囲や相手の状況を踏まえて行動することの難しさやよさについて、自律的に判断し、責任のある行動をする態度を養う。	①やって良い事、いけない事について考える。 ②自由と責任について考える。	第2節 道徳科の目標 (「第3章 特別の教科 道徳」の「第1 目標」) 第1章総則の第1の2に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
	節度、節制	望ましい生活習慣を身につけ、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け、安全で調和のある生活をする事。	社会でまわりを守ることの意義やよさについて自分との関わりで理解し、公共物や公共の場を大切にしようとする実践意欲を高める。	①物や金銭の使い方について考える。 ②将来の生活について考える。	
	向上心、個性の伸長	自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。	自分の特徴を多面的・多角的に捉え、長所を伸ばすと共に、短所も自分の特徴の一側面であることに気付き、改善していく努力を重ねながら個性を伸ばそうとする心情を育てる。	①自分の長所や短所について知る。 ②お互いの長所について話し合う。	
	希望と勇氣 努力と強い意志	より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇氣をもち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。	自分の目標に向かって努力を続けることの大切さに気付き粘り強くやり抜こうとする心情を育てる。	①夢を実現した人の生き方に学ぶ。 ②諦めない強い意志、粘り強い態度について考える。	
	真理の探究、創造	真実を大切にし、真理を追究して新しいものを生み出そうと努めること。	好きなことや興味のあることを追究し、真理を求めようとする心情を高める。	①目標が達成できた経験を話し合う。 ②自分の理想を求め、実現できる手だてを考える。	
	(主題)「主として人との関わりに関すること				※学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の目標と同様に、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。
	思いやり、感謝	思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。	相手の立場に立ち、誰に対しても思いやりの心をもって接していこうとする心情を育てる。 日々の生活が多くの人々の支えによって成り立っていることに感謝し、それに応えようとする意欲を高める。	①自分自身のこれまでの経験を語り合う。 ②ソーシャルスキルのワークなどを用いて、場面に合わせた気持ちや行動について考える。	
	礼儀	礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとること。	周りの人々を思いやり、深く考えて場をわきまえた行動を取ろうとする態度を養う。	①挨拶は私たちの生活の中でどんな意義を持つか話し合う。	
	友情、信頼	友情の大切さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。	相手の身になって考え、信頼関係を築き、困っている時にはお互い助け合おうとする心情を育てる。	①友達と自分の関わりについて考える。	
	相互理解、寛容	自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。	年齢や性別、国籍などに関係なく、相手の立場や意見を尊重することの大切さを理解し、つねに相手の立場に立って考え、親切に行動しようとする態度を養う。	①失敗や過ちを犯したあとの望ましい態度について話し合う。	
	(主題)「主として集団や社会との関わりに関すること				
	遵法精神、公德心	法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切にし、義務を果たして、規律ある安定した社会の現実に努めること。	自分がかもつ権利の行使について考えを深めて、よりよい社会生活のために大切なことを守ろうとする態度を養う。	①社会の秩序と規律を高めていくためには、社会の一員としての義務を果たすことの大切さに気づき考えを深める。	
	公正、公平、社会正義	正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めること。	差別をすることや偏見をもつことが間違っていることについて改めて理解し、誰に対しても公正、公平な態度で接しようとする態度を養う。	①差別やいじめについて考え、話し合う。	
	社会参画、公共の精神	社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。	社会の一員であるという自覚を持ち、理想的な社会の在り方について考え、より良い社会の実現に尽くそうとする気持ちを育てる。	①良い集団、よりよいクラスづくりについて話し合う。 ②ボランティアや社会貢献について考える。	※全学年共通した重要内容項目として「健全な異性観」を置き、計画的に性教育に取り組む。 ワークシート、ロールプレイ、妊婦体験などを取り入れる。
	勤労	勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通して社会に貢献すること。	働くとは、いつでも自分の役割を自覚し、主体的に責任を果たそうとすることだと気付き、公共のために役立つことをしようとする心情を育てる。	①勤労生産学習で社会のしくみや勤労について考える。	
	家族愛、家庭生活の充実	父母、祖父母を敬愛し、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くこと。	家族の中で自分の役割や家族を支えることについて考え、家族の一員として思いやり助け合って、進んで家族の役に立とうとする心情を育てる。	①家族について考える。※指導に当たっては多様な家族構成、家庭状況があることに留意する。 ②自分自身について見つめる。	
	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	郷土の伝統と文化を大切にし、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めること。	日本に伝わる伝統や文化、それを守ろうとする人の生き方を通して、我が国や郷土の伝統や文化を受け継ぎ、大切にしようとする心情を育てる。	①郷土の先人について調べる。 ②彼らの業績から学んだことを発表する。	
	国際理解、国際親善	世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与すること。	外国の人々との間にある言語や文化、考え方のちがいについて考え、外国の人々や文化を尊重する心をもち、世界の人々と理解し合おうとする心情を育てる。	①諸外国の歴史・文化を知り生活や習慣の違いについてについて考える。	
	(主題)主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること				
	生命の尊さ	生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重すること。	自分の命がたくさんの支えの中であることを知り、命ある全てのものを大切にしようとする心情を育てる。	①人命の尊さと戦争の社会悪について理解を深め、平和の尊さについて話し合う。	
	自然愛護	自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然の愛護に努めること。	自然や動植物を愛し、自然環境を大切にしようとする心情を育てる。	①日本や世界の自然環境について考える。 ②過去から未来へ向けて私たちができることを考える。	
	感動、畏敬の念	美しいものや気高いものに感動する心をもち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めること。	自然の中にある美しいものや不思議なものに感動する心に気付き、今後の生活の中で、それらを大切にしようとする心情を育てる。	①人間生活と自然との調和、共存について話し合う。 ②先人たちの生き方、考え方に学ぶ。	
	よりよく生きる喜び	人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることの喜びを見いだすこと。	弱さを乗り越えようとする心の存在に気付き、人間としての誇りをもって、よりよく生きようとする態度を育てる。	①自分の気持ちを見つめる。 ②人間らしさについて考え自分の生き方につなげる。	

2学年「道徳」年間指導計画

【指導の重点】自律の精神を重んじ、自主的に考え判断する態度を育てる。

【重要内容項目】自主・自律、自由と責任(A)相互理解、寛容(B)遵法精神、公德心(C)、※健全な異性観

月	(主題)主として自分自身に関すること		ねらい	展開の概要	留意点
年間を通して実施する	自主、自律、自由と責任	自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。	周囲や相手の状況を踏まえて行動することの難しさやよさについて、自律的に判断し、責任のある行動をする態度を養う。	①やって良い事、いけない事について考える。 ②自由と責任について考える。	第2節 道徳科の目標 (「第3章 特別の教科 道徳」の「第1 目標」) 第1章総則の第1の2に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
	節度、節制	望ましい生活習慣を身につけ、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け、安全で調和のある生活をする。	社会でまわりを守ることの意義やよさについて自分との関わりで理解し、公共物や公共の場を大切にしようとする実践意欲を高める。	①物や金銭の使い方について考える。 ②将来の生活について考える。	
	向上心、個性の伸長	自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。	自分の特徴を多面的・多角的に捉え、長所を伸ばすと共に、短所も自分の特徴の一側面であることに気付き、改善していく努力を重ねながら個性を伸ばそうとする心情を育てる。	①自分の長所や短所について知る。 ②お互いの長所について話し合う。	
	希望と勇氣 努力と強い意志	より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇氣をもち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。	自分の目標に向かって努力を続けることの大切さに気付き粘り強くやり抜こうとする心情を育てる。	①夢を実現した人の生き方に学ぶ。 ②諦めない強い意志、粘り強い態度について考える。	
	真理の探究、創造	真実を大切にし、真理を追究して新しいものを生み出そうと努めること。	好きなことや興味のあることを追究し、真理を求めようとする心情を高める。	①目標が達成できた経験を話し合う。 ②自分の理想を求め、実現できる手だてを考える。	
	(主題)「主として人との関わりに関すること				※学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の目標と同様に、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。
	思いやり、感謝	思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。	相手の立場に立ち、誰に対しても思いやりの心をもって接していこうとする心情を育てる。 日々の生活が多くの人々の支えによって成り立っていることに感謝し、それに応えようとする意欲を高める。	①自分自身のこれまでの経験を語り合う。 ②ソーシャルスキルのワークなどを用いて、場面に合わせた気持ちや行動について考える。	
	礼儀	礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとること。	周りの人々を思いやり、深く考えて場をわきまえた行動を取ろうとする態度を養う。	①挨拶は私たちの生活の中でどんな意義を持つか話し合う。	
	友情、信頼	友情の大切さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。	相手の身になって考え、信頼関係を築き、困っている時にはお互い助け合おうとする心情を育てる。	①友達と自分の関わりについて考える。	
	相互理解、寛容	自分の考えや意見を相手に伝えるときにも、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。	年齢や性別、国籍などに関係なく、相手の立場や意見を尊重することの大切さを理解し、つねに相手の立場に立って考え、親切に行動しようとする態度を養う。	①失敗や過ちを犯したあとの望ましい態度について話し合う。	
	(主題)「主として集団や社会との関わりに関すること				
	遵法精神、公德心	法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切に、義務を果たして、規律ある安定した社会の現実に努めること。	自分がかつ権利の行使について考えを深めて、よりよい社会生活のために大切なことを守ろうとする態度を養う。	①社会の秩序と規律を高めていくためには、社会の一員としての義務を果たすことの大切さに気づき考えを深める。	
	公正、公平、社会正義	正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めること。	差別をすることや偏見をもつことが間違っていることについて改めて理解し、誰に対しても公正、公平な態度で接しようとする態度を養う。	①差別やいじめについて考え、話し合う。	
	社会参画、公共の精神	社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。	社会の一員であるという自覚を持ち、理想的な社会の在り方について考え、よりよい社会の実現に尽くそうとする気持ちを育てる。	①良い集団、よりよいクラスづくりに関して話し合う。 ②ボランティアや社会貢献について考える。	※全学年共通した重要内容項目として「健全な異性観」を置き、計画的に性教育に取り組む。 ワークシート、ロールプレイ、妊婦体験などを取り入れる。
	勤労	勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通して社会に貢献すること。	働くとは、いつでも自分の役割を自覚し、主体的に責任を果たそうとすることだと気づき、公共のために役立つことをしようとする心情を育てる。	①勤労生産学習で社会のしくみや勤労について考える。	
	家族愛、家庭生活の充実	父母、祖父母を敬愛し、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くこと。	家族の中で自分の役割や家族を支えることについて考え、家族の一員として思いやり助け合って、進んで家族の役に立とうとする心情を育てる。	①家族について考える。※指導に当たっては多様な家族構成、家庭状況があることに留意する。 ②自分自身について見つめる。	
	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	郷土の伝統と文化を大切に、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めること。	日本に伝わる伝統や文化、それを守ろうとする人の生き方を通して、我が国や郷土の伝統や文化を受け継ぎ、大切にしようとする心情を育てる。	①郷土の先人について調べる。 ②彼らの業績から学んだことを発表する。	
	国際理解、国際親善	世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与すること。	外国の人々との間にある言語や文化、考え方のちがいについて考え、外国の人々や文化を尊重する心をもち、世界の人々と理解し合おうとする心情を育てる。	①諸外国の歴史・文化を知り生活や習慣の違いについてについて考える。	
	(主題)主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること				
	生命の尊さ	生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重すること。	自分の命がたくさんの支えの中であることを知り、命ある全てのものを大切にしようとする心情を育てる。	①人命の尊さと戦争の社会悪について理解を深め、平和の尊さについて話し合う。	
	自然愛護	自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然の愛護に努めること。	自然や動植物を愛し、自然環境を大切にしようとする心情を育てる。	①日本や世界の自然環境について考える。 ②過去から未来へ向けて私たちができることを考える。	
	感動、畏敬の念	美しいものや気高いものに感動する心をもち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めること。	自然の中にある美しいものや不思議なものに感動する心に気付き、今後の生活の中で、それらを大切にしようとする心情を育てる。	①人間生活と自然との調和、共存について話し合う。 ②先人たちの生き方、考え方に学ぶ。	
	よりよく生きる喜び	人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることの喜びを見いだすこと。	弱さを乗り越えようとする心の存在に気付き、人間としての誇りをもって、よりよく生きようとする態度を育てる。	①自分の気持ちを見つめる。 ②人間らしさについて考え自分の生き方につなげる。	

3学年「道徳」年間指導計画

【指導の重点】法やきまりの意義を理解し時と場に応じた適切な言動、態度を育てる。 【重要内容項目】節度、節制(A)礼儀(B)社会参画、公共の精神(C)生命の大切さ(D)、※健全な異性観					
月	(主題)主として自分自身に関すること		ねらい	展開の概要	留意点
年間を通して実施する	自主、自律、自由と責任	自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。	周囲や相手の状況を踏まえて行動することの難しさやよさについて、自律的に判断し、責任のある行動をする態度を養う。	①やって良い事、いけない事について考える。 ②自由と責任について考える。	第2節 道徳科の目標 (「第3章 特別の教科 道徳」の「第1 目標」) 第1章総則の第1の2に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
	節度、節制	望ましい生活習慣を身につけ、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け、安全で調和のある生活をすること。	社会できまりを守ることの意義やよさについて自分との関わりで理解し、公共物や公共の場を大切にしようとする実践意欲を高める。	①物や金銭の使い方について考える。 ②将来の生活について考える。	
	向上心、個性の伸長	自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。	自分の特徴を多面的・多角的に捉え、長所を伸ばすと共に、短所も自分の特徴の一側面であることに気付き、改善していく努力を重ねながら個性を伸ばそうとする心情を育てる。	①自分の長所や短所について知る。 ②お互いの長所について話し合う。	
	希望と勇氣 努力と強い意志	より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇氣をもち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。	自分の目標に向かって努力を続けることの大切さに気付き粘り強くやり抜こうとする心情を育てる。	①夢を実現した人の生き方に学ぶ。 ②諦めない強い意志、粘り強い態度について考える。	
	真理の探究、創造	真実を大切にし、真理を追究して新しいものを生み出そうと努めること。	好きなことや興味のあることを追究し、真理を求めようとする心情を高める。	①目標が達成できた経験を話し合う。 ②自分の理想を求め、実現できる手だてを考える。	
	(主題)「主として人との関わりに関すること				※学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の目標と同様に、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。
	思いやり、感謝	思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。	相手の立場に立ち、誰に対しても思いやりの心をもって接していこうとする心情を育てる。 日々の生活が多くの人々の支えによって成り立っていることに感謝し、それに応えようとする意欲を高める。	①自分自身のこれまでの経験を語り合う。 ②ソーシャルスキルのワークなどを用いて、場面に合わせた気持ちや行動について考える。	
	礼儀	礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとること。	周りの人々を思いやり、深く考えて場をわきまえた行動を取ろうとする態度を養う。	①挨拶は私たちの生活の中でどんな意義を持つか話し合う。	
	友情、信頼	友情の大切さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。	相手の身になって考え、信頼関係を築き、困っている時にはお互い助け合おうとする心情を育てる。	①友達と自分の関わりについて考える。	
	相互理解、寛容	自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。	年齢や性別、国籍などに関係なく、相手の立場や意見を尊重することの大切さを理解し、つねに相手の立場に立って考え、親切に行動しようとする態度を養う。	①失敗や過ちを犯したあとの望ましい態度について話し合う。	
	(主題)「主として集団や社会との関わりに関すること				
	遵法精神、公德心	法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切にし、義務を果たして、規律ある安定した社会の現実に努めること。	自分がかもつ権利の行使について考えを深めて、よりよい社会生活のために大切なことを守ろうとする態度を養う。	①社会の秩序と規律を高めていくためには、社会の一員としての義務を果たすことの大切さに気づき考えを深める。	
	公正、公平、社会正義	正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めること。	差別をすることや偏見をもつことが間違っていることについて改めて理解し、誰に対しても公正、公平な態度で接しようとする態度を養う。	①差別やいじめについて考え、話し合う。	
	社会参画、公共の精神	社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。	社会の一員であるという自覚を持ち、理想的な社会の在り方について考え、よりよい社会の実現に尽くそうとする気持ちを育てる。	①良い集団、よりよいクラスづくりについて話し合う。 ②ボランティアや社会貢献について考える。	※全学年共通した重要内容項目として「健全な異性観」を置き、計画的に性教育に取り組む。 ワークシート、ロールプレイ、妊婦体験などを取り入れる。
	勤労	勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通して社会に貢献すること。	働くとは、いつでも自分の役割を自覚し、主体的に責任を果たそうとすることだと気づき、公共のために役立つことをしようとする心情を育てる。	①勤労生産学習で社会のしくみや勤労について考える。	
	家族愛、家庭生活の充実	父母、祖父母を敬愛し、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くこと。	家族の中で自分の役割や家族を支えることについて考え、家族の一員として思いやり助け合って、進んで家族の役に立とうとする心情を育てる。	①家族について考える。※指導に当たっては多様な家族構成、家庭状況があることに留意する。 ②自分自身について見つめる。	
	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	郷土の伝統と文化を大切にし、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めること。	日本に伝わる伝統や文化、それを守ろうとする人の生き方を通して、我が国や郷土の伝統や文化を受け継ぎ、大切にしようとする心情を育てる。	①郷土の先人について調べる。 ②彼らの業績から学んだことを発表する。	
	国際理解、国際親善	世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与すること。	外国の人々との間にある言語や文化、考え方のちがいについて考え、外国の人々や文化を尊重する心をもち、世界の人々と理解し合おうとする心情を育てる。	①諸外国の歴史・文化を知り生活や習慣の違いについてについて考える。	
	(主題)主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること				
	生命の尊さ	生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重すること。	自分の命がたくさんの支えの中であることを知り、命ある全てのものを大切にしようとする心情を育てる。	①人命の尊さと戦争の社会悪について理解を深め、平和の尊さについて話し合う。	
	自然愛護	自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然の愛護に努めること。	自然や動植物を愛し、自然環境を大切にしようとする心情を育てる。	①日本や世界の自然環境について考える。 ②過去から未来へ向けて私たちができることを考える。	
	感動、畏敬の念	美しいものや気高いものに感動する心をもち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めること。	自然の中にある美しいものや不思議なものに感動する心に気付き、今後の生活の中で、それらを大切にしようとする心情を育てる。	①人間生活と自然との調和、共存について話し合う。 ②先人たちの生き方、考え方に学ぶ。	
	よりよく生きる喜び	人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることの喜びを見いだすこと。	弱さを乗り越えようとする心の存在に気付き、人間としての誇りをもって、よりよく生きようとする態度を育てる。	①自分の気持ちを見つめる。 ②人間らしさについて考え自分の生き方につなげる。	

R5年度 全学年「総合的な探究の時間」年間指導計画 年間指導計画

配当時数		対象生徒	担当者		教科書・副教材
35		全学年 生徒58名	進路指導部、全職員		就業体験のしおり・就業体験日誌
年間目標		探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。 (2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価基準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して指導		(知及技) ・年間の学習内容を大まかに理解し見通しをもつことができる。 (思判表力) ・進路決定までの流れをイメージすることができる。 (学・人) ・就業体験の学習に関心をもち、主体的に学習に取り組むことができる。	(知・技) ・年間の学習内容を理解している。 (思・判・表) ・予定表から進路決定までの流れをイメージしている。 (主学) ・進路の学習内容について関心をもち、必要な場面で発言している。	「就業体験に向けて」	・就業体験(校内実習)の年間計画を確認する。 ・進路決定までの流れについて知る。
		(知及技) ・学習を通して、職業生活に必要な知識や態度、技能を理解することができる。 (思判表力) ・実習を通して、自己の適性を理解し、将来の職業生活を見据え、生活する力、働く力を自己評価することができる。 (学・人) ・学習を通して、勤労意欲を高めながら、卒業後の進路について考えることができる。	(知・技) ・実習先での学習で必要な態度や礼儀、マナーについて知っている。 (思・判・表) ・就業体験の実習日誌に目標や成果また課題等を記述し、評価表をもとに、働く力、生活する力を評価し、自分の長所と短所を理解している。 (主学) ・目標を達成しようという意欲を高め、今後の課題について考えながら就業体験の振り返りを行っている。	「事前学習・事後学習」	・就業体験で必要な態度や礼儀、マナーについて知る。 ・実習の目的、日程、持ち物、作業内容等について知る。 ・振り返りや反省を踏まえ、これからの学校生活や将来に向けた目標を立てる。
		(知及技) ・卒業後の職業生活に必要な知識や態度、技能を理解することができる。 (思判表力) ・実習を通して、自己の適性を理解することができる。 (学・人) ・働くことを通して、就労意欲を高めながら、卒業後の進路について考えることができる。	(知・技) ・実習で学んだ技術、態度について考えている。 (思・判・表) ・実習での成果、課題について考えている。 (主学) ・就業体験を振り返り、今後の学校生活で取り組むべき事について考えている。	「就業体験(校内実習)」	・実習でできたこと、できなかったことを振り返る。 ・次の実習の目標を立てる。
		(知及技) ・進路講話を聞くことで、働くために必要な力や態度について知ることができる。 (思判表力) ・将来の職業生活を見据え、必要な課題を設定することができる。 (学・人) ・進路講話を通して、今後に向けた目標を設定することができる。	(知・技) ・講話の内容から、働くために必要な力を理解している。 (思・判・表) ・講話の内容で自分に必要なこと、課題に気付きメモしている。 (主学) ・講話を振り返り、自分の生活に必要な力と今後の目標について考えている。	「進路講話」	・講話を聞く態度を知る。 ・講師の方に聞きたい質問事項を考える。 ・講師の方に実際に質問をする。 ・講話を通して、感想をまとめ、今後の生活に生かせるように目標を立てる。
留意点 引き継ぎ等					

令和5年度 第1学年 HR活動年間指導計画 週時数(1時間)

	月	時数	題材名	目 標	活動内容	留意点
一 学 期	4月	12	学級びらき	① 学級目標達成に向けて、協力していく心構えを持つ。 ② 学級活動の役割分担を通し、自主的活動ができる学級作りを目指す。 ③ 個人目標設定を通し、課題解決に取り組める学級作りを目指す。	○担任、生徒の自己紹介 ○学級・個人目標の設定 ○学級委員長、副委員長の選出 ○週番、日直、清掃当番の割り振り ○掲示物の作成	・自己紹介等により級友を知り、互いに協力することを意識する。 ・役割分担や班編成に偏りがいないか確認し、活動がスムーズに出来るように内容を明確にする。 ・社会自立に向けて自分の課題を考える。
			新入生歓迎球技大会	① 新入生歓迎球技大会のねらいや意義を知る。	○実施方法やルールの確認 ○チーム編成について ○当日の諸注意	・協力して取り組むことにより、学級の和を図る機会であることを意識する。
			連休の過ごし方	① 有意義な連休を過ごす為、規則正しい生活、外出時の心得などを確認する。 ② 事故や安全に気をつけ連休をすこせたか確認する。	○連休の計画 ○規則正しい生活 ○外出時の確認	・担任や生徒サポート部の先生からの助言から有意義な連休になるように計画を立てる。
	5月	12	距離感について	① 人との関わりの中での距離の取り方を知る。	○パーソナルスペースについて	・人と人との適切な距離を理解する。
			高校総体選手激励式	① 陽明高等支援学校生の一員として、総体に参加する選手を激励する。	○高校総体や文化系コンテスト・大会に参加する選手の激励	・同学年、学校の生徒が大会へ出場することを激励し、自らも努力をすることができるようにする。
			心身の健康と安全	① 歯の衛生週間の意義を知る。	○歯の健康について	・衛生週間を通して歯の健康について正しい知識を身につける。
	6月		働くこととは	① 人は何のために働くのかを知る。	○働くことの目的を考える。 ○将来の職業を選ぶ基準について	・目的達成のために出来ること、やるべきことについて一緒に考え、実践につながるような指導を行う。 ・職業差別がないように、職種説明には配慮する。
			慰霊の日について	① 平和を愛する心を育てる。	○「慰霊の日」の意義を考える ○特設授業に参加し、感想文を書く	・慰霊の日は、沖縄戦で亡くなった人々の霊を慰める日であることを理解させると同時に、戦争をせず、いつでも平和を愛する心を育てる。
	7月		スマホ・SNSの利用について	① スマートフォンの正しい使い方、SNSの使用について確認し理解する。	○スマートフォン利用について	・スマートフォン利用についての問題を確認し、正しい使い方を学び、確認する。
			1学期の反省と夏休みの過ごし方	① 1学期の学習や生活を振り返る。 ② 自己の課題に気づき、2学期から望ましい学校生活について考える。 ③ 夏休みを有意義に過ごす為、簡易的な計画を立てる。	○1学期の学習面・生活面を自己評価する。 ○夏休みの生活指導、計画立案	・生徒サポート部からの『夏休みの過ごし方』について確認する。 ・個人面談により個々の課題や問題点について話し合い指導や助言を行う。
二 学 期	9月	13	2学期の目標と計画	① 1学期の反省から、2学期の目標を立てる。	○2学期の自己目標の設定 ○諸行事への取り組み計画	・学級目標と個人の目標について関連づける。 ・2学期はいろいろな行事があり、自主的に活動することを自覚する。 ・個人面談により夏休みの過ごし方について話し合い課題や問題点について指導や助言を行う。
			陽明祭に向けて	① 陽明祭のねらいや意義を知る。	○クラスの協力体制について	・行事の一つであることを知り、行事への参加態度を指導する。 ・クラスが一丸となって協力するような雰囲気作りに配慮する。
			本に親しむ	① 本に親しみ、読書意欲を高める。	○読書活動	・自分の好きな本を紹介することにより、読書活動の幅を広げる。 ・感想を発表し、読書活動の幅を広げる。
	10月	13	職業と人生	① 自分の身近な職業について仕事内容とそこで働く人々の生活を知る。 ② 将来の職業生活を考え、自分の適性に合った職業をについて考える。	○多くの職業内容やそこに働く人の生き方を知る ○仕事内容やそれに伴う生活の違いを知る	・進路指導部や保護者と連携して指導にあたる。 ・実習先の評価を参考にする。
			自分の適性	① 適性の意味を考える。 ② 希望職種と適性する職種について考える。	○希望する職業の特色 ○将来の夢	・職業選択について好きな職種、やりがい、仕事内容、給料、地域等いろいろな角度から一緒に考え、助言を行う。
	11月		特別支援学校体育大会に向けて	① 特別支援学校体育大会の意義を知る。	○選手としてのマナーについて ○服装、行動、安全等について ○公共施設の利用について	・他校の生徒との交流の機会でもあることを意識し積極的に参加ができるように指導する。
	12月		健康的な社会生活	① 薬物や タバコの害を理解し、健康を維持する心を育てる。	○薬物乱用防止について	・具体的な事例を用いてわかりやすく説明する。
			2学期の振り返りと冬休みの過ごし方	① 2学期の学習や生活態度を振り返る。 ② 3学期に向けての自己の課題について考える。 ③ 有意義な冬休みするために計画を立てる。	○2学期の学習面・生活面を自己評価する ○冬休みの生活指導・計画立案	・生徒サポート部からの『冬休みの過ごし方』について確認する。 ・個人面談により生徒個々の具体的な課題や問題点について話し合い、実態に応じて指導や助言を行う。
三 学 期	1月	10	3学期の目標と計画	① 2学期の反省を踏まえて、3学期の目標を立てる。	○3学期の自己目標の設定	・3学期はまとめの学期であることを意識し最上級生を迎えるにあたり、自分の課題を再確認する。
	2月		卒業式に向けて	① 卒業式に向けての活動を知る。 ② 先輩に対する感謝の気持ちを考える。	○卒業式に向けての取り組み ※メッセージや壁画作成 ※学校内外の美化活動	・卒業の門出にふさわしい礼儀(聞く態度、姿勢、身だしなみ)について確認する。
	3月		1年間の反省	① 1年間の各自の生活を振り返り自己理解を深める。 ② 進級する心構えや決意を述べる。	○個人の反省 ○3年生への抱負	・2年生へ進級する自覚を促し、激励する。
	総時数 35 時間					

令和5年度 第2学年 ホームルーム活動年間指導計画 週時数(1時間)

	月	時数	題材名	目標	活動内容	留意点
一学期	4月	12	学級びらき	① 学級目標達成に向けて、協力していく心構えを持つ。 ② 学級活動の役割分担や目標設定作りなどを通し、自主的活動ができる学級作りを目指す。	○担任、生徒の自己紹介 ○学級・個人目標の設定 ○学級委員長、副委員長の選出 ○週番、日直の取り組み ○清掃当番の割り振り ○掲示物の作成	・自己紹介等により級友を知り、互いに協力することを意識する。 ・役割分担や班編成に偏りが無いか確認し、活動がスムーズに出来るように内容を明確にする。 ・社会自立に向けて自分の課題を考える。
			身なりについて	①身なり指導習慣の意義を知る。	○学校の決まりを守る意義 ○就労を意識した身なり	・身なりに関する生徒指導のきまりを理解し、きまりを守る態度を育てる。 ・就職につなげる為、自分の身なりについて考えることができる。
			新入生歓迎球技大会	① 新入生歓迎球技大会のねらいや意義を知る。	○実施方法やルールの確認 ○チーム編成について ○当日の諸注意	・協力して取り組むことにより、学級の和を図る機会であることを意識する。
			連休の過ごし方	①有意義な連休を過ごす為、規則正しい生活、外出時の心得などを確認する。 ②事故や安全に気をつけ連休をすごせたか確認する。	○連休の計画 ○規則正しい生活 ○外出時の確認	・担任や生徒指導部の先生からの助言から有意義な連休になるように計画を立てる。
	5月～6月	就業体験の心構え	① 就業体験の心得を確認する。 ② 各実習先での心得を確認する。	○基本的なマナーの確認 (身だしなみ、あいさつ、言葉づかい等) ○行動等について	・生徒個々の職業に関する能力、適性に応じて適切な進路指導を行う。 ・実習の評価、反省を基に生徒個々の課題を的確に捉え共通確認し学校教育活動全体で指導する。	
		心身の健康と安全 その2	① 歯の衛生週間の意義を知る。	○歯の健康について	・衛生週間を通して歯の健康について正しい知識を身につける。	
		働くこととは	① 人は何のために働くのかを知る。	○働くことの目的を考える。 ○将来の職業を選ぶ基準について	・目的達成のために出来ること、やるべきことについて一緒に考え、実践につながるような指導を行う。 ・職業差別がないように、職種説明には配慮する。	
7月		慰霊の日について	① 平和を愛する心を育てる。	○「慰霊の日」の意義を考える ○特設授業に参加し、感想文を書く	・慰霊の日は、沖縄戦で亡くなった人々の霊を慰める日であることを理解させると同時に、戦争をせず、いつでも平和を愛する心を育てる。	
		1学期の反省と夏休みの過ごし方	① 1学期の学習や生活を振り返る。 ② 自己の課題に気づき、2学期から望ましい学校生活について考える。 ③ 夏休みを有意義に過ごす為、簡易的な計画を立てる。	○1学期の学習面・生活面を自己評価する。 ○夏休みの生活指導、計画立案	・生徒指導部からの『夏休みの過ごし方』について確認する。 ・個人面談により個々の課題や問題点について話し合い指導や助言を行う。	
二学期	9月		2学期の目標と計画	① 1学期の反省から、2学期の目標を立てる。	○2学期の自己目標の設定 ○諸行事への取り組み計画	・学級目標と個人の目標について関連づける。 ・2学期はいろいろな行事があり、自主的に活動することを自覚する。 ・個人面談により夏休みの過ごし方について話し合い課題や問題点について指導や助言を行う。
			陽明祭に向けて	① 陽明祭のねらいや意義を知る。	○クラスの協力体制について	・行事の一つであることを知り、行事への参加態度を指導する。 ・クラスが一丸となって協力するような雰囲気作りに配慮する。
			本に親しむ	① 本に親しみ、読書意欲を高める。	○読書活動	・自分の好きな本を紹介することにより、読書活動の幅を広げる。 ・感想を発表し、読書活動の幅を広げる。
	10月	13	職業と人生	① 自分の身近な職業について仕事内容とそこで働く人々の生活を知る。 ② 将来の職業生活を考え、自分の適性に合った職業をについて考える。	○多くの職業内容やそこに働く人の生き方を知る ○仕事内容やそれに伴う生活の違いを知る	・進路指導部や保護者と連携して指導にあたる。 ・実習先の評価を参考にする。
			自分の適性	① 適性の意味を考える。 ② 希望職種と適性する職種について考える。	○希望する職業の特色 ○将来の夢	・職業選択について好きな職種、やりがい、仕事内容、給料、地域等いろいろな角度から一緒に考え、助言を行う。
	11月		修学旅行について	○公共施設の利用とマナーを確認する。 ○団体行動について。 ○体調管理、荷物管理。	・団体行動ができるよう確認する ・睡眠や食事等を気をつけ体調について自己管理ができる	・団体行動の心得や、マナー規則についてわかりやすく説明する。 ・自己管理の大切さについて声かけする。
			特別支援学校 体育大会に向けて	① 特別支援学校体育大会の意義を知る。	○選手としてのマナーについて ○服装、行動、安全等について ○公共施設の利用について	・他校の生徒との交流の機会でもあることを意識し積極的に参加ができるように指導する。
12月		2学期の振り返りと冬休みの過ごし方	① 2学期の学習や生活態度を振り返る。 ② 3学期に向けての自己の課題について考える。 ③ 有意義な冬休みするために計画を立てる。	○2学期の学習面・生活面を自己評価する ○冬休みの生活指導・計画立案	・生徒指導部からの『冬休みの過ごし方』について確認する。 ・個人面談により生徒個々の具体的な課題や問題点について話し合い、実態に応じて指導や助言を行う。	
三学期	1月～3月	10	3学期の目標と計画	① 2学期の反省を踏まえて、3学期の目標を立てる。	○3学期の自己目標の設定	・3学期はまとめの学期であることを意識し最上級生を迎えるにあたり、自分の課題を再確認する。
			1年間の反省	① 1年間の各自の生活を振り返り自己理解を深める。 ② 進級する心構えや決意を述べる。	○個人の反省 ○3年生への抱負	・3年生へ進級する自覚を促し、激励する。
	総時数 35 時間					

令和5年度 第3学年 HR活動年間指導計画 週時数(1時間)

	月	時数	題材名	目標	活動内容	留意点
一学期	4月	13	HR開き	① 学級目標達成に向けて、協力していく心構えを持つ。 ② 学級活動の役割分担や目標設定作りなどを通し、自主的活動ができる学級作りを目指す。 ③進路先選択と決定に関連した個人目標の設定ができるようになる。	○担任、生徒の自己紹介 ○学級・個人目標の設定 ○学級委員長、副委員長の選出 ○週番、日直の取り組み ○清掃当番の割り振り ○掲示物の作成	・自己紹介等により級友を知り、互いに協力することを意識する。 ・役割分担や班編成に偏りがいないか確認し、活動がスムーズに出来るように内容を明確にする。 ・社会人になる直前の大事な時期であり卒業までに身に付けるべきことの自覚を促す。 ・社会的自立と自律に向けて自分の課題を考えて目標設定ができるよう支援する。
			自分を知ろう 友達を知ろう	①自己紹介文を作成しながら自己理解や他者理解を深める。	○自己紹介スライドの作成 ○自己紹介の発表	・文章化やイラスト作成が難しい生徒には、写真や画像を使うなど、様々な表現方法を提案する。 ・互いの発表を聞きながら質問や拍手を行い、互いの考えや個性を尊重する心を育てる。
			連休の過ごし方	①有意義な連休をすごため、規則正しい生活や外出時の心得などを確認する。 ②事故や安全に気をつけ計画的かつ充実した連休を過ごせたか確認する。	○連休の計画 ○規則正しい生活 ○外出時や帰宅時間などの確認	・担任や生徒指導部の先生のお話を聞き、有意義な連休になるように計画を立てる。
	5月		新入生歓迎球技大会	① 新入生歓迎球技大会のねらいや意義を知る。	○実施方法やルールの確認 ○チーム編成について ○当日の諸注意	・協力して取り組むことにより、学級や兄弟学級の和を図る機会であることを意識する。
	6月		就業体験の心構え	① 就業体験の心得を確認する。 ②自分の課題や目標を確認する。	○基本的なマナーの確認 (身だしなみ、あいさつ、言葉づかい等) ○行動等について	・生徒個々の職業に関する能力、適性に応じて適切な進路指導を行う。 ・実習の評価、反省を基に生徒個々の課題を的確に捉え共通確認し学校教育活動全体で指導する。
			心身の健康と安全	① 歯の衛生週間の意義を知る。	○歯の健康と体の健康について	・衛生週間を通して歯の健康について正しい知識を身につける。
			慰霊の日について	①平和を愛する心を育てる。	○「慰霊の日」の意義を考える ○特設授業に参加し、感想文を書く	・慰霊の日は、沖縄戦で亡くなった人々の霊を慰める日であることを理解させる。 ・戦争の悲惨さと命の尊さを学び、平和を愛する心を育てる。
7月	1学期の反省と夏休みの過ごし方	① 1学期の学習や生活を反省する。 ② 自己の課題に気づき、2学期からの望ましい学校生活について考える。 ③ 有意義な夏休みにするための計画を立てる。	○1学期の学習面・生活面を自己評価する。 ○夏休みの生活指導、計画立案	・生徒指導部からの『夏休みの過ごし方』について確認する。 ・個人面談により個々の課題や問題点について話し合い指導や助言を行う。		
二学期	9月	16	2学期の目標と計画	① 1学期の反省を踏まえて、2学期の目標を立てる。	○2学期の自己目標の設定 ○諸行事への取り組み計画	・学級目標と個人の目標について関連づける。 ・2学期はいろいろな行事があり、自主的に活動することを自覚する。 ・個人面談により夏休みの過ごし方について話し合い課題や問題点について指導や助言を行う。
			職業と人生	①就労に向けた諸手続きについて知る。 ②卒業後の自分の進路について考える。	○ハローワークと就労継続支援センター ○希望する職種について	・障害者雇用のための支援機関や相談機関があり、登録方法などを一緒に確認する。 ・実習先や卒業後の希望進路先について調べることで、具体的な見通しが持てるようにする。
			陽明祭に向けて	① 陽明祭のねらいや意義を知る。	○実施方法の確認 ○望ましい参加態度について	・行事の一つであることを知り、行事への参加態度を指導する。 ・クラスが一丸となって協力するような雰囲気作りに努める。
	10月		本に親しむ	① 本に親しみ、読書意欲を高める。	○読書活動	・自分の好きな本を紹介することにより、読書活動の幅を広げる。 ・感想を発表し、読書活動の幅を広げる。
			自分の適性	① 適性の意味を考える。 ② 希望職種と適性に合う職種について考える。	○希望する職業の特色 ○将来の夢	・職業選択について好きな職種、やりがい、仕事内容、給料、地域等いろいろな角度から一緒に考え、助言を行う。
	11月		健康的な社会生活	① タバコの害を理解し、健康を維持する心を育てる。 ② 薬物乱用について知る。	○アンケート調査 ○タバコの害	・アンケート調査は生徒の実態に応じ慎重に行う。 ・具体的な事例を用いてわかりやすく説明する。
			特別支援学校体育大会に向けて	①特別支援学校体育大会の意義を知り、競技に参加できる。	○選手としてのマナーについて ○服装、行動、安全等について ○公共施設の利用について	・校内外の生徒との交流の機会でもあることを意識し積極的に参加ができるように指導する。 ・自主的に活動し仲間と協力して行事を成功させることを自覚する。 ・地域との交流の機会だということを確認する。
12月	2学期の反省と冬休みの過ごし方	① 2学期の学習や生活態度を振り返る。 ② 3学期に向けての自己の課題について考える。 ③ 有意義な冬休みするために計画を立てる。	○2学期の学習面・生活面を自己評価する ○冬休みの生活指導・計画立案	・生徒指導部からの『冬休みの過ごし方』について確認する。 ・個人面談により生徒個々の具体的な課題や問題点について話し合い、実態に応じて指導や助言を行う。		
三学期	1月	6	3学期の目標と計画	① 2学期の反省を踏まえて、3学期の目標を立てる。	○3学期の自己目標の設定	・3学期はまとめの学期であることを意識し卒業・就職を迎えるにあたり、自分の課題を再確認する。
	2月		卒業に向けて	① 卒業式に向けた学習活動を知る。 ②社会に出る前に知っておくことや注意することなどを理解し各種相談施設などを知ることで自己防衛や生活の安全管理ができるようにする。	○卒業式に向けての取り組み ※後輩へのメッセージなどの作成 ※学校内外の美化活動	・卒業の門出にふさわしい礼儀(聞く態度、姿勢、身だしなみ)について確認する。 ・高校生活を振り返り、自分の成長を感じる機会とする。 ・3年間お世話になった学校や先生・友だち・家族等への感謝の思いを持つ。
		総時数 35 時間				